

平成 30 年度 授業評価実施結果の概要について

(概要)

本学では、毎年度全授業科目について学生による授業評価を実施しています。この授業評価結果については、当該担当教員にフィードバックし学生の記述内容を確認いただいた後、各教員から調査結果に対する授業内容・方法への改善などを記述したレポートを、所属の学科長等に直接提出することとしております。

各学科長等はこれを受けて「考察」をまとめ「学部長等会議」で報告した後、授業評価結果と併せて公表しております。

- (1) 授業評価アンケートは、授業科目に対する評価をより正確に調査するため「講義・演習科目」と「実習・実験科目」によって質問項目を分けております。また、「この授業(実習・実験)を受けて良かったと思うことがありますか。」及び「この授業(実習・実験)の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。」を尋ねる記述式の質問項目を設けております。
- (2) 授業評価結果の各質問項目月の集計結果については、「そう思う」「ややそう思う」「どちらともいえない」「そう思わない」「全くそう思わない」「無回答」のそれぞれの割合(%)により表記しております。
自由記述は「授業に対する肯定的評価」「授業に対する要望等」「施設・設備等に関する要望等」について、その内容の主なものを表記しております。
- (3) さらに、「講義・演習科目」及び「実習・実験科目」における共通質問項目について、肯定的な回答の「そう思う」及び「ややそう思う」の割合を前年度と比較しており、主な項目は次のとおりです。

<医療保健学部・助産学専攻科>

	平成 30 年度	平成 29 年度
あなた自身について	77.0%	78.2%
授業内容について	72.4%	72.8%
教員の考え方・姿勢について	71.4%	72.2%

<東が丘・立川看護学部>

	平成 30 年度	平成 29 年度
あなた自身について	80.9%	83.7%
授業内容について	79.8%	82.1%
教員の考え方・姿勢について	77.3%	79.0%

＜千葉看護学部＞

	平成 30 年度
あなた自身について	84. 4%
授業内容について	79. 7%
教員の考え方・姿勢について	76. 2%

＜和歌山看護学部＞

	平成 30 年度
あなた自身について	83. 3%
授業内容について	77. 3%
教員の考え方・姿勢について	74. 1%

＜大学院医療保健学研究科＞

	平成 30 年度	平成 29 年度
あなた自身について	94. 6%	93. 1%
授業内容について	88. 2%	87. 5%
教員の考え方・姿勢について	91. 0%	89. 8%

＜大学院看護学研究科＞

	平成 30 年度	平成 29 年度
あなた自身について	85. 5%	69. 8%
授業内容について	88. 7%	74. 3%
教員の考え方・姿勢について	86. 9%	64. 5%

(4) 授業評価結果の経年比較では、各学部とも前年度よりいずれも低下しておりますが、これはアンケート項目の微改正による厳密な経年比較ができていないことが大きいと考えます。授業評価の実施によりその効果が確実に上がり学生及び教員の双方に、良い結果をもたらしていると考えております。
本学においては、これらの集計結果を公表し、教員の授業評価に対する理解推進・意識啓発及び授業内容・方法の改善・充実がより一層図られるよう、今後も努めてまいります。

平成 30 年度 医療保健学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部看護学科長
坂本 すが

1. 授業評価の結果について

- 1年生からのグループワークを取り入れることにより「自分の意見を積極的に言えるようになった」という感想があり、グループワークを意識的に取り入れている効果が出てきていると思われます。しかし、授業中の発言は多くないことも指摘されており、全員の前で自分の意見や質問を伝える力を持つことは、今後の課題となっています。
- 新カリキュラムが施行され 3 年目となり、1・2 年生科目の評価が高くなっています。基礎看護学実習については、ループリックを活用しながら、科目担当者・実習指導者の評価の統一が図れています。しかし、新カリキュラムの 3 年生と旧カリキュラムの 4 年生が混在していたことにより、上位学年の科目については、調整が不十分となっていたこともわかりました。今後、各科目で改善・工夫を重ねていきます。
- 授業内の提出物が多いことには、不満の意見も聞かれましたが、上位学年の実習への評価では、授業での記録物が役に立ったという評価もありました。学生への説明を十分に行い、考える・まとめる・書く力の醸成に努めていきたいと思います。

2. 授業において工夫した点について

- 授業内容の理解の程度を確認するため、講義内でミニテストを実施している科目が多くあります。3 年後期からの領域別実習で十分な学びを得られるよう、各科目で確実に知識を積み上げるための工夫を行っています。
- ループリック評価表を活用し、評価基準を明確化しています。評価表があることにより、教員間の共有が行われ、指導の改善につながっています。

3. 今後の授業への生かし方について

- 事例をもとにしたディスカッションを多く取り入れておますが、テーマによっては、答えが一つでなく、教員により考え方方が異なる場合もあります。学生が教員に答えを聞くのではなく、教員とディスカッションすることにより、多様な考え方を学ぶ機会を多く持つことができるようにならうとします。
- 領域別実習が複数領域合同の実習となり、二つの実習を統合しながら学びを深めていくカリキュラムとなっています。教員同士のディスカッションの機会を多く持ちながら、より良い科目運営を行っていきたいと思います。

4. その他

- 医療保健学部看護学科のビジョンを策定しましたので、今後は、教員それぞれが目標を共有しながら、より良い看護教育を行っていきたいと思います。
- 厳しい評価を頂いた項目については、学生の現状の能力や、多様なニーズに対応できるプログラムや資料を作成し、授業内容をわかりやすく伝える等、支援体制を検討していきたいと考えています。

平成 30 年度 医療栄養学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療栄養学科長
小西 敏郎

医療栄養学科では、社会で活躍できる優れた管理栄養士の育成を目指して、卒業時には学生全員が管理栄養士国家試験に合格できることを目標に授業を行っています。そのために、学科の教員全員が、毎年学生の皆さんから頂く授業評価を参考にして、それぞれが授業の改善・工夫の努力をしています。

開学以来 10 年経過した時点でカリキュラムを見直し、2 年前から新カリキュラムがスタートしました。この改訂カリキュラムでは医療現場の栄養士・管理栄養士の活動の実際を早く理解することが重要と考えて、早くから実験・実習科目を取り入れて、現場の管理栄養士の方から実際の業務を紹介して頂く機会を増やしました。1 年後期の「医学・医療概論」に病院見学の機会を設け、医療の現場を早期に体験・学習することで、将来目指す目標を早期に明確にできるようにしました。また「臨床栄養実践演習」「地域栄養学実習」などの在宅栄養管理に関する実践的な授業を取り入れて、管理栄養士としての資質を十分に備えるようにしました。病理学の授業時間を増やし栄養・食生活に関連する疾病を中心に多くの疾病の成因・病態生理・症候と診断・治療法について、人体の構造と機能に関係付けて系統的・総合的に理解できるようにしました。

4 年次生には栄養学研究の心構えと、研究手法を身に付けてもらうために、卒業研究においては全員に口頭発表の機会を設け、かつ自分たちで論文を完成するようにしています。

これらのカリキュラムにより、学生の皆さんのが社会において、強いリーダーシップをもって栄養サポートチーム (NST : nutrition support team) を支える管理栄養士として活躍できるようにしています。

1. 授業評価に関しての感想

学科では、全体的な評価点数だけでなく、個々の学生の意見も参考にして、学生が何を授業に期待しているか、どのような点を不満に感じているかを教員が判断しながら、毎年授業改善を図っています。多くの授業は非常に良い評価を受けていましたので、学生の多くは集中して授業に取り組めていると判断しています。しかし、厳しい評価の授業もあり、また具体的な問題点や改善希望の指摘も多く頂いたので、引き続き教員も、また学科としても授業改善のためにさらなる努力を重ねていきます。学生の皆さんには、授業中に感じた不満点を積極的に指摘したり、あるいは改善希望点を具体的に教員に提案してください。

2. 授業において工夫した点について

これまで、板書よりスライドを重視した授業を多く行つきましたが、逆に科目によっては皆さんにわかりやすいように、質問しやすいように板書による授業に変更した教員もいます。また、多くの教員がまとめのミニテストや宿題による予習・復習を取り入れることで、皆さんの実力の向上を図るようにしています。

さらに、配布するプリントは重要な部分を空白にして、授業中に学生自身が書き込むようにすることや、重要箇所はカラーや太字とすることなどで、学生の注意力・集中力を高めるようにしています。

授業によっては、授業の終わりに「まとめ」を行うことで学生の理解度が増してきているように感じている教員もいます。このように授業ごとに講義内容を整理する方法を変えていく工夫を取り入れています。

「アクティブラーニング」をもっと取り入れる必要があると感じて、授業の中に学生参加型スタイルを取り入れるように改善してきています。学生の皆さんも授業中にもっと発言したり、授業後でもよいのでもっと教員に質問したりしていただきたいと思います。

3. 今後の授業について

多くの教員は、同じ授業を同じように行っても、クラスによって学生の授業中の態度や授業に対する評価が異なることが少なくないと感じています。学年やクラスによって学生の傾向や雰囲気が異なることが今回の評価を分析してもよく理解できました。年度ごとに、あるいはクラスごとに授業中の学生の状態や反応を見極めて、同一の授業方法ではなく授業展開を変えていく工夫をしていきます。

また、基礎学力が足りないことから授業の理解が不十分で不満をもつ学生がいるのも確かなので、そのような学生を早く見出し、できるだけ多くの学生が理解できるような授業方法を考えていきます。

4. 学生に対して

社会で活躍できる優れた管理栄養士の育成を目指し、そして学生全員が管理栄養士国家試験に合格できることを目標に、全教員が熱心に学生の教育に取り組んでいますが、ただし教員は厳しく指導しているつもりでも、学生にとって叱責・非難と受け取られることが、ときには、あるいは学生によっては、起きるようです。このようなことには十分気を付けていきたいと思います。

アドバイザー制度を見直していくとともに、学生の皆さんにはオフィスアワーをもっと利用して授業に対する意見・希望を教員に伝えて頂きたいと思います。

平成 30 年度 医療情報学科の授業評価結果に対する考察

副学長・医療保健学部医療情報学科長
石原 照夫

1. 授業評価結果アンケート結果の感想

- 各評価項目の得点が全科目平均よりも低い評価の科目が少なくありません。
これまで、担当教員は評価項目の内容、自由記述等を参考に、改善に鋭意取り組んできましたが、まだ不十分な点が多いと受け止めております。
- 選択科目ではもともと学習意欲の高い学生が履修しているという選択バイアスがあり、選択科目と必修科目で評価に差が出ることは予想されますが、必修科目は学科として基礎的な科目でもありますので、各授業科目の特性を考慮しながら、授業の改善に真摯に取り組んでいきたいと考えています。
また、シラバスの評価が低い科目が見られ、今後、第三者評価を通して改善していきたいと考えています。
- 座学が中心になる科目では、その到達目標に応じて、より医療の現場に近い視点での授業内容を構成して興味を引き出すなど、学生の積極的な取り組みを促す工夫が必要と考えており、改善に取り組んでいきたいと思います。
- ほぼ同じ授業内容にもかかわらず年度によって評価が変動し、2 クラス編成ではクラスによって評価が異なっている状況が見られます。学生の理解度等を見ながら、隨時、進め方や難易度の調整が必要であると感じました。
また、学習環境への配慮が足りなかった点もあるようです。
今後の授業改善に生かしたいと考えます。
- 外部講師の多い授業科目で、厳しい評価を受けたものがありました。
担当教員で話し合いを行い、改善していきます。
- 1 年次、2 年次の臨床医学総論・各論等の医学的な内容に関する科目は、前年度と同様、低い評価になっています。専門性の高い内容、一方向的な座学中心の内容、時間の制約などが大きな原因と思われます。この学年での、臨床医学の授業は難しいとも考えますが、一方で、その後の学年で学修する応用臨床医学、診療情報論演習、医療管理総論等では、違った観点から同様の内容を扱う授業が組まれています。医学は反復して学習しないと修得できない面があるので、学習方法および他の授業科目との関連を十分に理解させながら、授業を進めるようにしていきたいと思います。
- レポート課題が負担であるという意見がありましたが、内容を要約して文章でまとめるという能力は社会に出て行くにあたって、基本的な能力と考えられます。その意義の理解が得られるよう努力していきたいと考えます。

2. 授業において工夫した点について

科目的特性を考慮に入れ、各担当教員によって以下のような工夫を行いました。評価の高かった取り組みについては、導入が可能な他の科目へ拡大していきたいと考えています。

○ 自学自習のための工夫

- ・自主的に学習できるような資料の作成。
- ・LMS を用いた知識内容の確認。
- ・授業の録画、「講義アーカイブ」サイトの設置。

○ 授業内容の工夫

- ・学生の理解を第一優先にして講義内容を調整。
- ・授業の初めに前回の授業の重点項目を復習。
- ・新しい IT 技術 (VR など) の紹介とその体験。
- ・配付資料の工夫 (厳選、重点項目を分かりやすく、あるいは学生自身に記入させる。)

○ 学生の理解度等のチェックと対応

- ・定期試験のみならず、小テスト、レポート等を活用した総合評価。
- ・提出課題に対するコメントの充実。

3. 今後の授業にどう生かすか

- 昨年度、担当教員の了解のもと一部の授業を公開し、他教員が見学して評価レポートを FD 委員に提出し、授業改善の一助にすることにしました。今後も継続していきたいと考えています。
- 本学科は、医学・医療に関連した情報分野で活躍する人材の育成をめざしています。この分野では、AI、VR、IoT 等クラウドなどの新しい情報通信技術が展開され、また医療ビッグデータの解析を行うデータサイエンティストの育成が喫緊の課題として提起されています。このような新しい動きを反映した授業の充実にも努めてまいります。
- カリキュラムの全体像、授業科目間の関連性を明確にするように取り組んできましたが、まだ不十分なようですので更に徹底致します。なお、厳しい評価を受けた授業科目については、根本的に内容を変更することも考えています。
- 医療情報の重要な発生源の一つである診療記録を通じて、人体の構造・機能や病態、生理を考え、診療情報の奥深さに興味を持てるように支援したいと思います。
- 新カリキュラムで必修化にしたインターンシップについては、引き続き、実習先の確保、実習内容の充実に全力をあげて取り組みます。

4. その他

- 授業の改善は、教員のみの努力では達成できません。学生自身も授業に能動的に参加し、授業に対する意見、授業内容に対する質問等を積極的に出して頂きたいと思います。アンケートでの自由記述が減少しているように思います。授業改善にあたっての重要な手がかりになりますので、忌憚のない意見をお寄せください。また、各教員のオフィスアワーも積極的に活用してください。
- 授業評価を次年度の授業に生かせるように、結果が早く(当該年度3月末)出るようなアンケート法を考えて頂けたらと思います。授業の印象が残っているうちに評価を頂くと、改善の取組みも円滑になるように思います。
- 集計結果に学科平均値、度数分布も知らせていただくと、分析、改善策の検討に役立つのではないかと思います。各質問に対する評価も、レーダーチャートに表示すれば全体像の把握がしやすいのではないかと考えますので、是非、検討頂きたいと思います。

平成 30 年度 助産学専攻科の授業評価結果に対する考察

助産学専攻科長 坂本 すが

1. 授業評価の結果について

- 助産学専攻科の科目全体において高評価でした。しかし、教員の姿勢について、講義内容や授業展開などに関する指摘はありませんでしたが、実習に対する教員の関わりについて、ご批判を頂きました。今後も学生が授業や実習を理解し、実践できるような教育や指導を目指します。
- 周産期医療の最新の動きを理解するために、医師や多分野の講師による授業展開、また、授業の一環としてセミナーや学会に参加し、他大学の学生との交流などを盛り込む工夫は学生から高評価であり、新たな学修方法と考えます。

2. 授業において工夫した点について

- 授業等では、授業と演習科目の連動を意識し、進行状況に合わせて具体的な支援方法について教員間であらかじめ詳細にすり合わせをして授業に臨むことを継続しています。演習形式の授業は、学生の理解度が図れるように、デモンストレーションや質問への対応などのため、複数の教員で対応しています。
- 実習開始後に全体で帰校する日程を調整し、全学生に対して臨地実習における実際例での分娩記録などの展開に関する問題や課題を検討し、施行の訓練などを実施しています。分娩時の助産診断などの理解に繋いでいます。
- 学生の実践力を高めるために、シナリオディベイトなどを導入して、実践の中から学生の聞く力や伝える力、考える力などの育成に反映させており、上記の 2 点の工夫など含めて、学習の効果に繋がってきていていると考えますので継続して参ります。

3. 今後の授業への生かし方について

授業や実習及び研究の評価を分析し、課題やグループワーク、研究などの学生の負担感についても、教員間で教育目標や指導方針を十分に共有してよい授業や教育・実習が行えるように発展させていきます。

4. その他

今後も、助産師として学生が自ら考え行動できる能力を培える教育を探求できるように、支援していきたいと考えます。助産学専攻科の学習は厳しいと思いますが、応援しておりますので、頑張ってください。

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○全科目数 363科目 ○調査対象者数 22,616人（延人数）
 ○総回答数 19,799枚（回答率 87.5%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は平成29年度アンケート結果〉

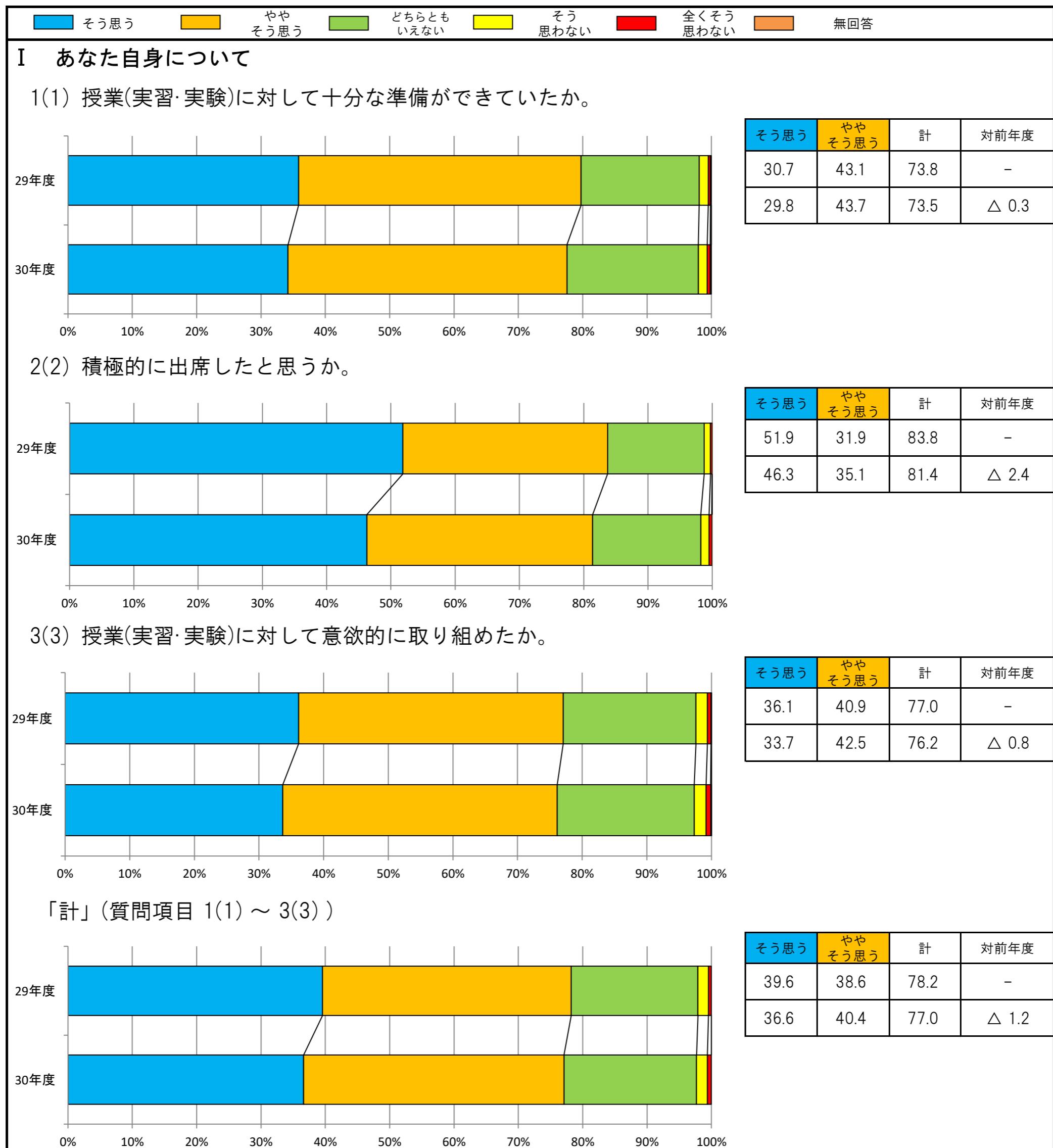
質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(30.7) 29.8	(43.1) 43.7	(23.5) 23.8	(2.1) 1.9	(0.6) 0.7	(0.0) 0.1	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(51.9) 46.3	(31.9) 35.1	(15.0) 16.8	(1.0) 1.3	(0.2) 0.4	(0.0) 0.1	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(36.1) 33.7	(40.9) 42.5	(20.5) 21.2	(1.8) 1.8	(0.6) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
計	(39.6) 36.6	(38.6) 40.4	(19.7) 20.6	(1.6) 1.7	(0.5) 0.6	(0.0) 0.1	(100) 100
II 授業内容について							
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(24.7) 24.7	(45.3) 45.3	(25.2) 25.1	(3.8) 3.5	(0.9) 1.3	(0.1) 0.1	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(30.7) 30.9	(43.6) 43.0	(21.9) 22.2	(3.0) 2.7	(0.8) 1.1	0.0 0.1	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(30.7) 30.3	(41.3) 41.6	(23.7) 23.8	(3.2) 2.9	(1.0) 1.3	(0.1) 0.1	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(34.1) 33.0	(40.7) 41.1	(21.3) 21.9	(2.8) 2.5	(0.9) 1.2	(0.2) 0.3	(100) 100
計	(30.1) 29.7	(42.7) 42.7	(23.0) 23.3	(3.2) 2.9	(0.9) 1.2	(0.1) 0.2	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について							
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(25.4) 24.7	(38.3) 38.7	(30.2) 30.6	(4.1) 3.8	(1.9) 2.1	(0.1) 0.1	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(32.6) 32.6	(40.9) 40.6	(22.0) 22.3	(3.4) 3.1	(1.0) 1.3	(0.1) 0.1	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(36.1) 34.7	(37.5) 37.7	(19.5) 20.7	(3.8) 3.6	(1.6) 1.7	(1.5) 1.6	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(33.3) 31.5	(38.2) 39.1	(23.3) 24.2	(3.7) 3.3	(1.3) 1.6	(0.2) 0.3	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(36.1) 34.2	(38.6) 39.4	(21.1) 21.8	(3.0) 2.9	(1.1) 1.5	(0.1) 0.2	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(38.9) 37.4	(38.5) 38.8	(19.6) 20.3	(2.1) 2.2	(0.8) 1.1	(0.1) 0.2	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(32.3) 31.5	(39.0) 38.9	(23.1) 23.8	(3.8) 3.6	(1.5) 1.9	(0.3) 0.3	(100) 100
計	(33.5) 32.4	(38.7) 39.0	(22.7) 23.4	(3.4) 3.2	(1.3) 1.6	(0.4) 0.4	(100) 100
IV 総合評価							
16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(32.2) 31.3	(39.5) 39.9	(20.7) 21.0	(3.2) 3.2	(1.2) 1.5	(3.2) 3.1	(100) 100
全質問項目の平均	(33.7) 32.4	(39.8) 40.4	(22.1) 22.6	(3.0) 2.8	(1.0) 1.3	(0.4) 0.5	(100) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

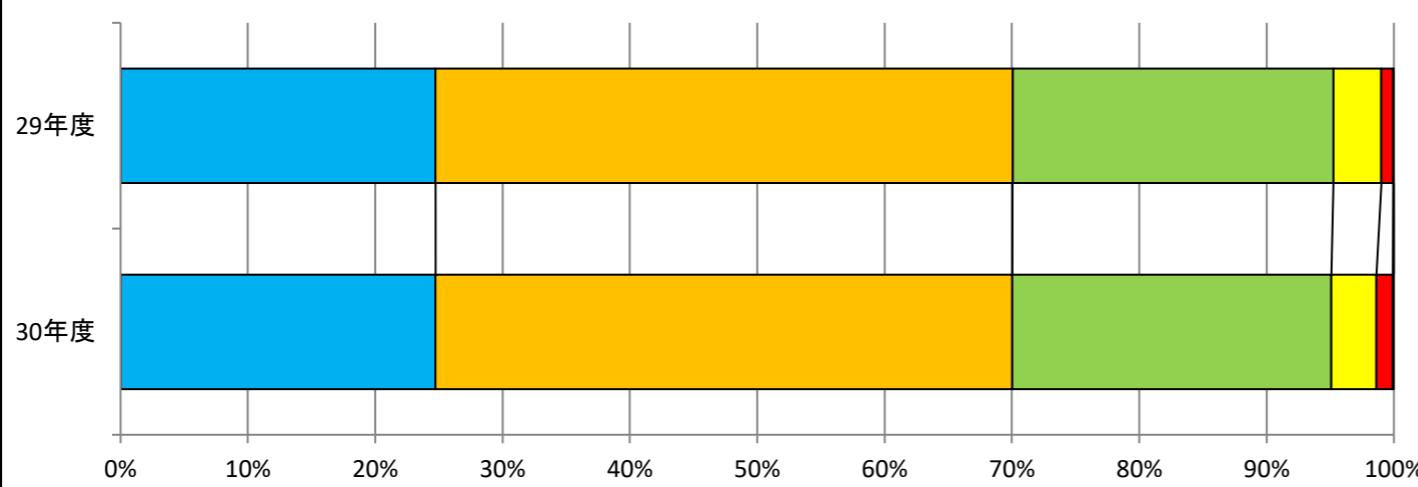
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	327科目	340科目	340科目	348科目	363科目
調査対象者数	25,157人	24,002人	23,623人	23,367人	22,616人
総回答数(回答率)	22,510枚(89.5%)	20,563枚(85.7%)	20,274枚(85.8%)	19,759枚(84.6%)	19,799枚(87.5%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

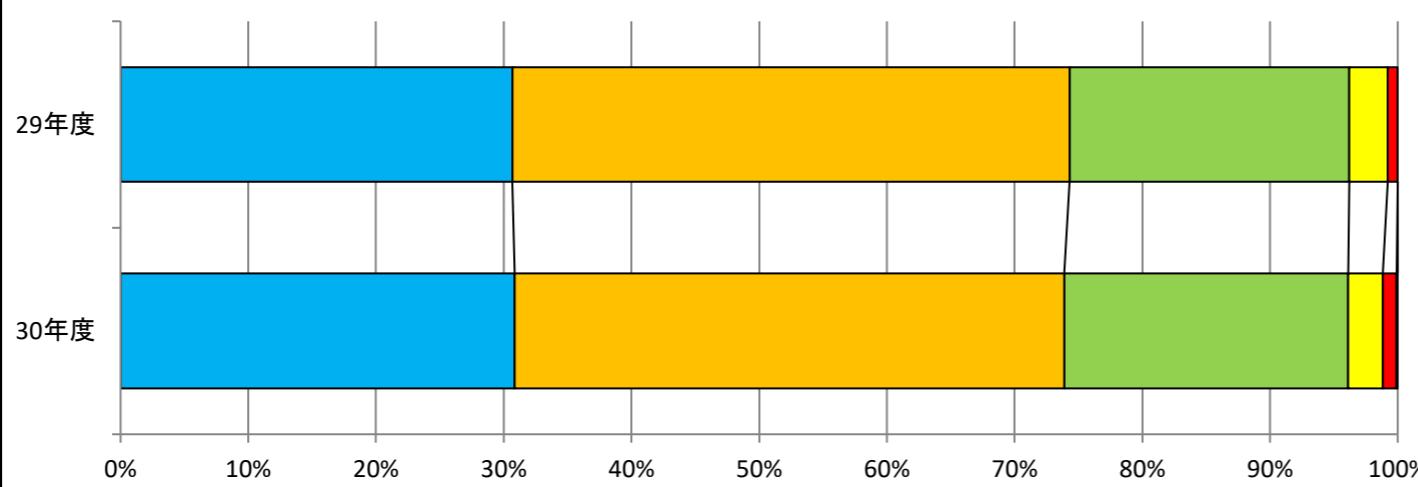


II 授業内容について

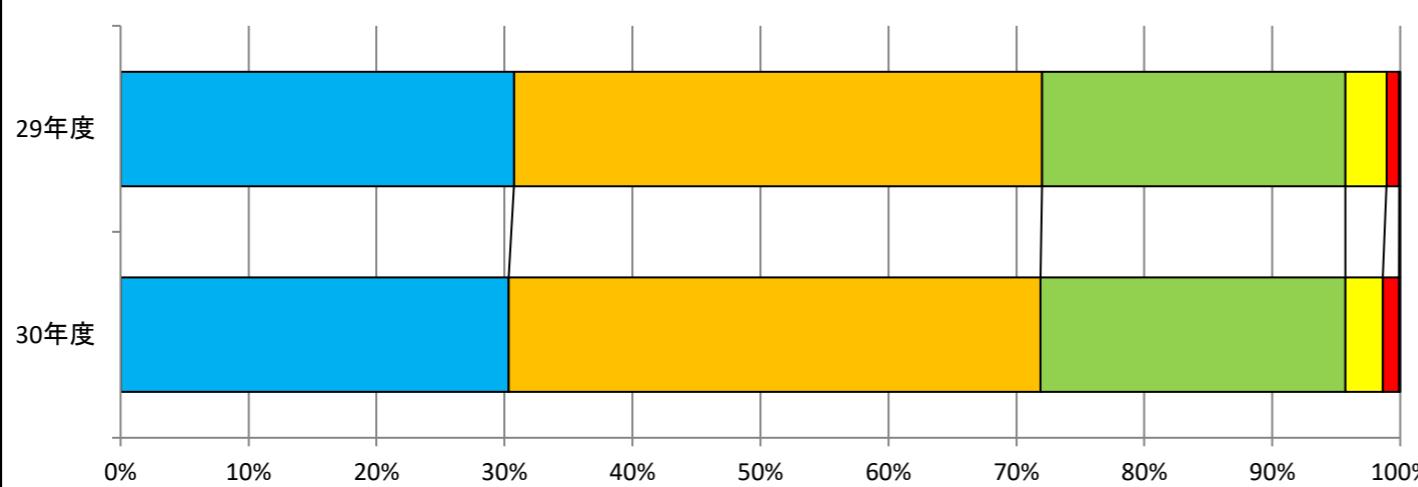
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



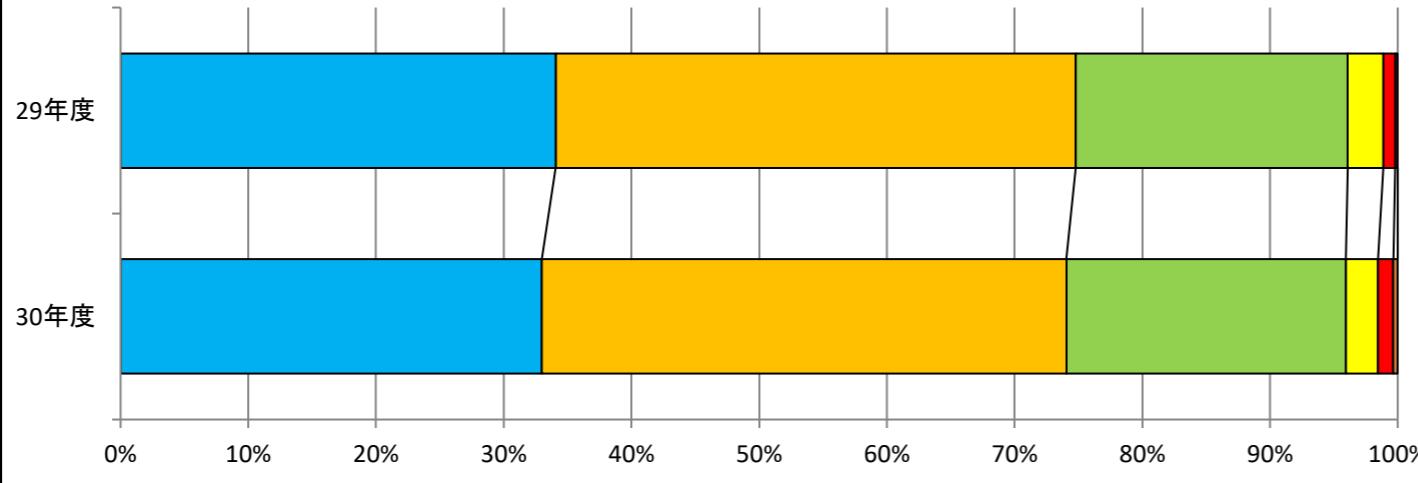
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



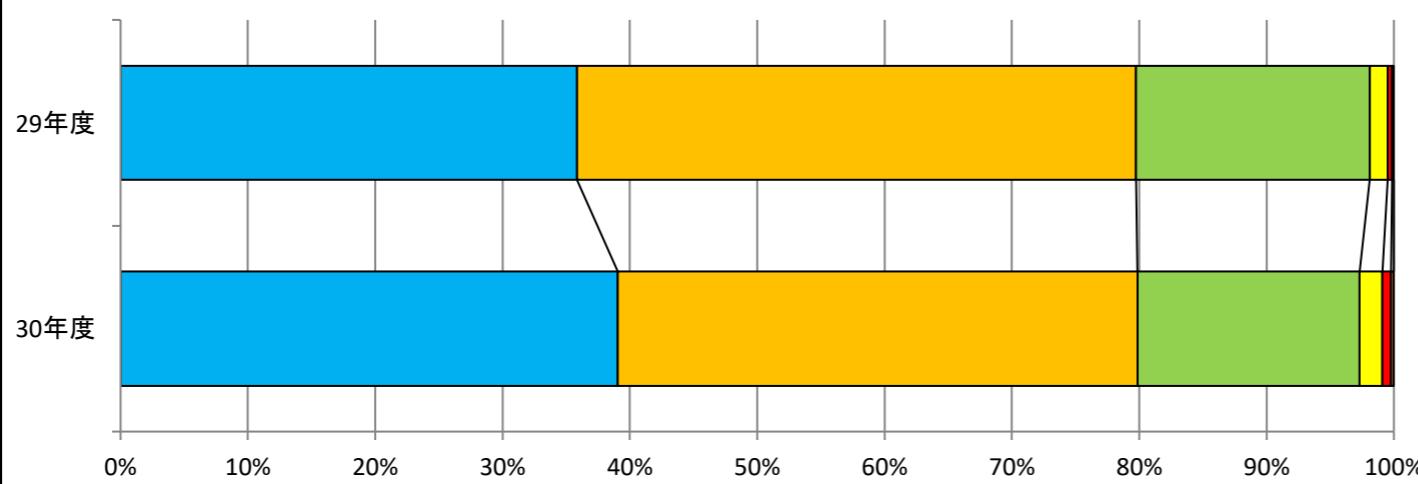
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。

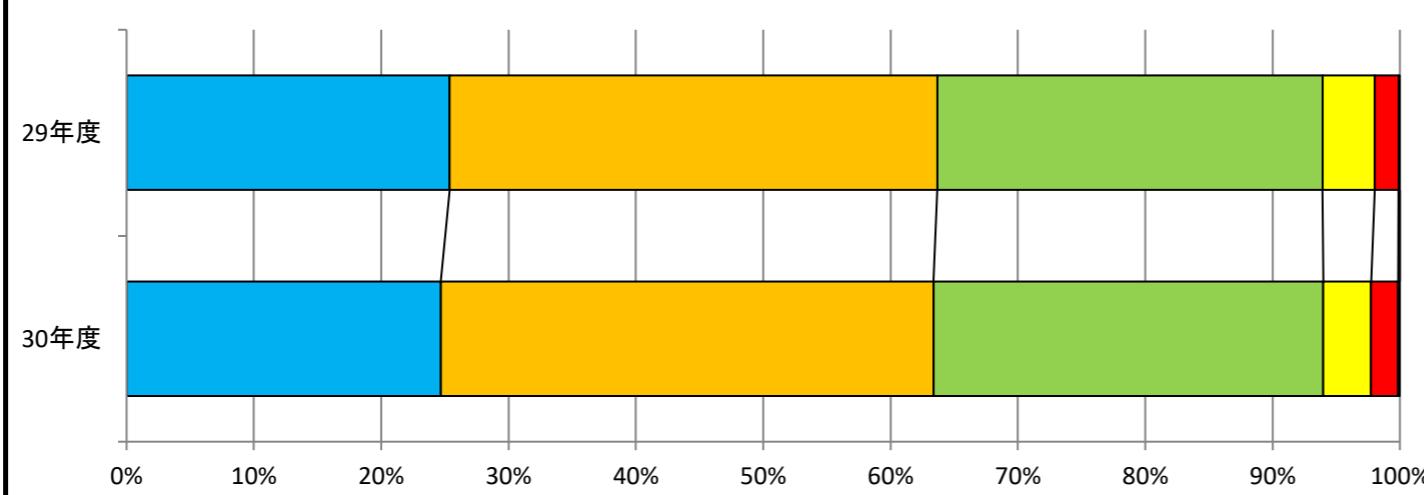


「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



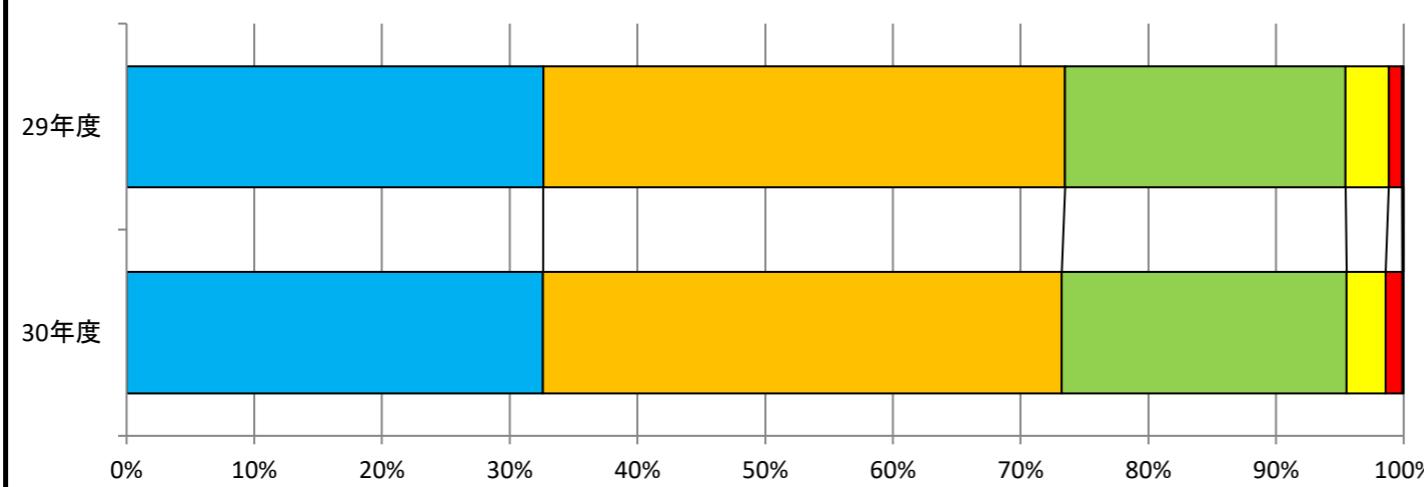
III 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



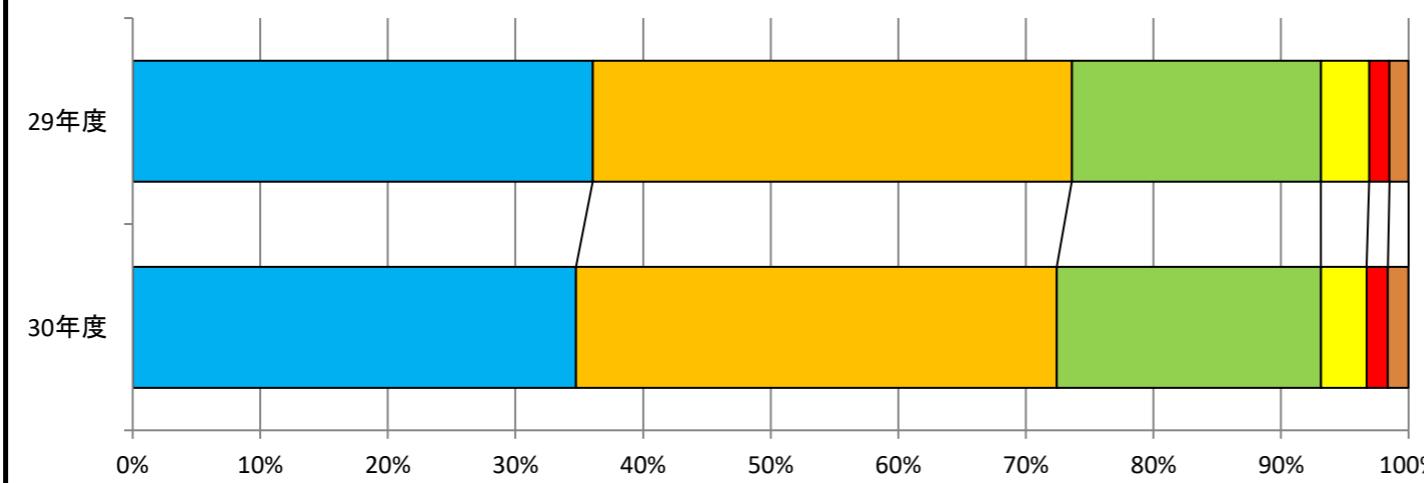
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
25.4	38.3	63.7	-
24.7	38.7	63.4	△ 0.3

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



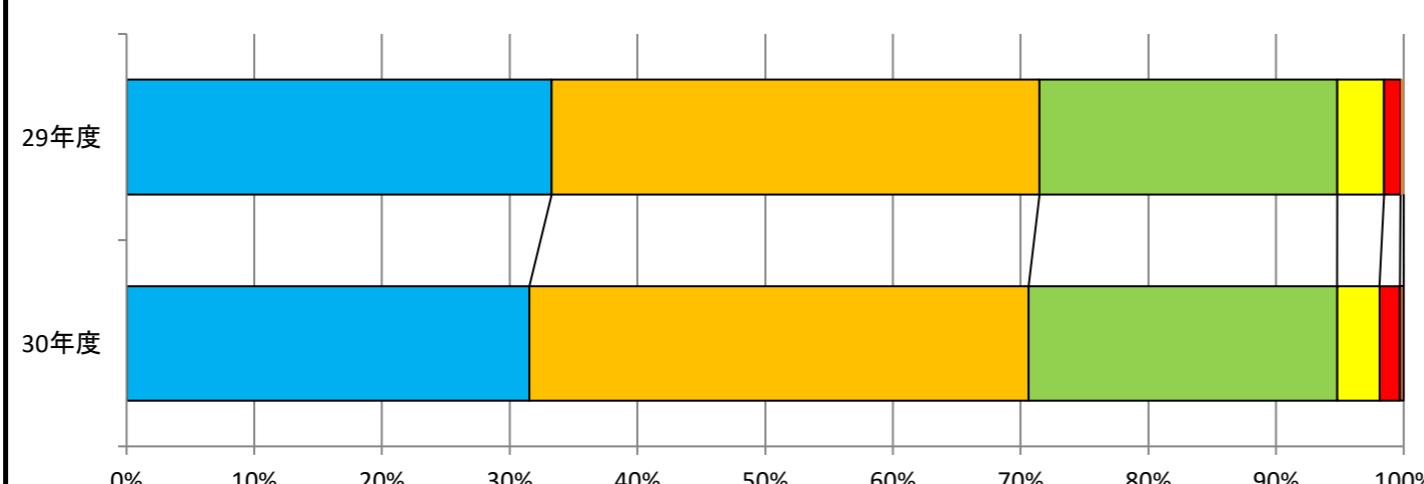
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.6	40.9	73.5	-
32.6	40.6	73.2	△ 0.3

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



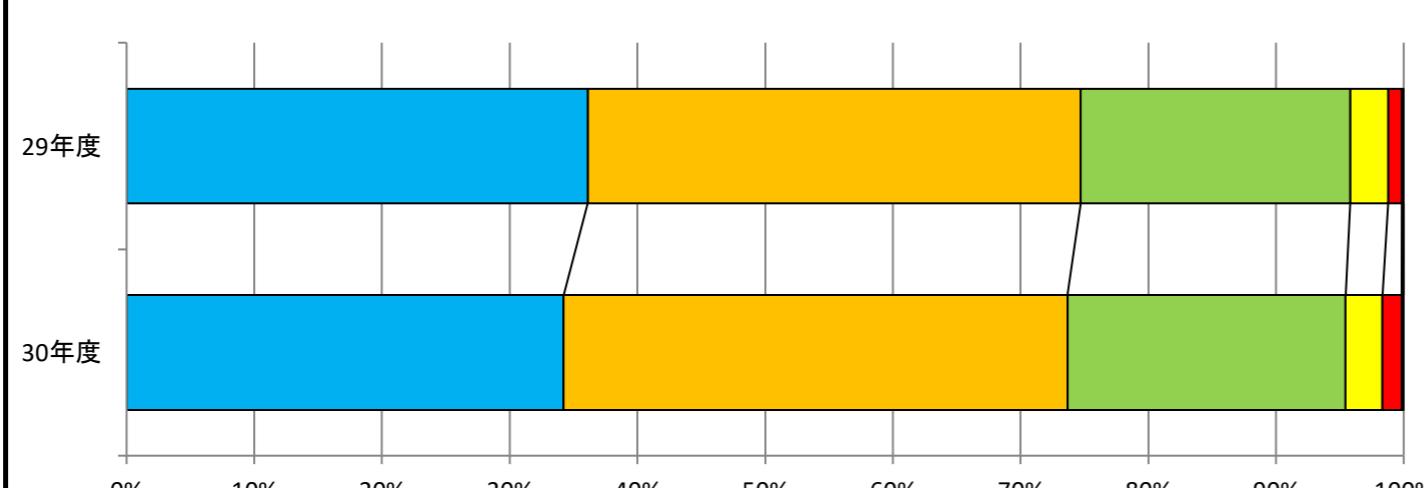
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.1	37.5	73.6	-
34.7	37.7	72.4	△ 1.2

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



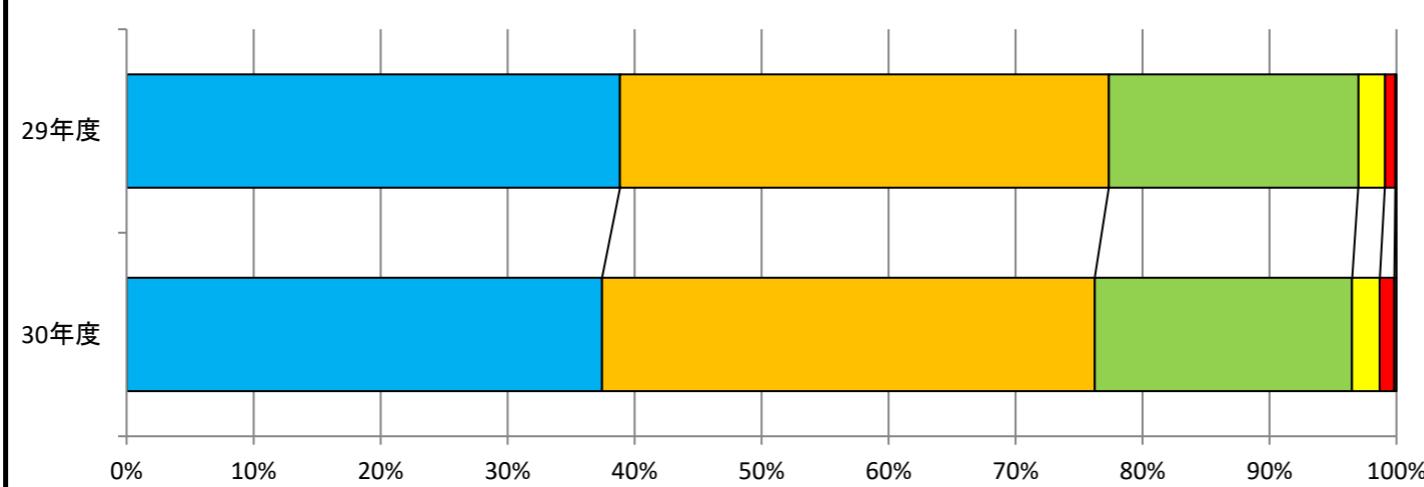
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
33.3	38.2	71.5	-
31.5	39.1	70.6	△ 0.9

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。

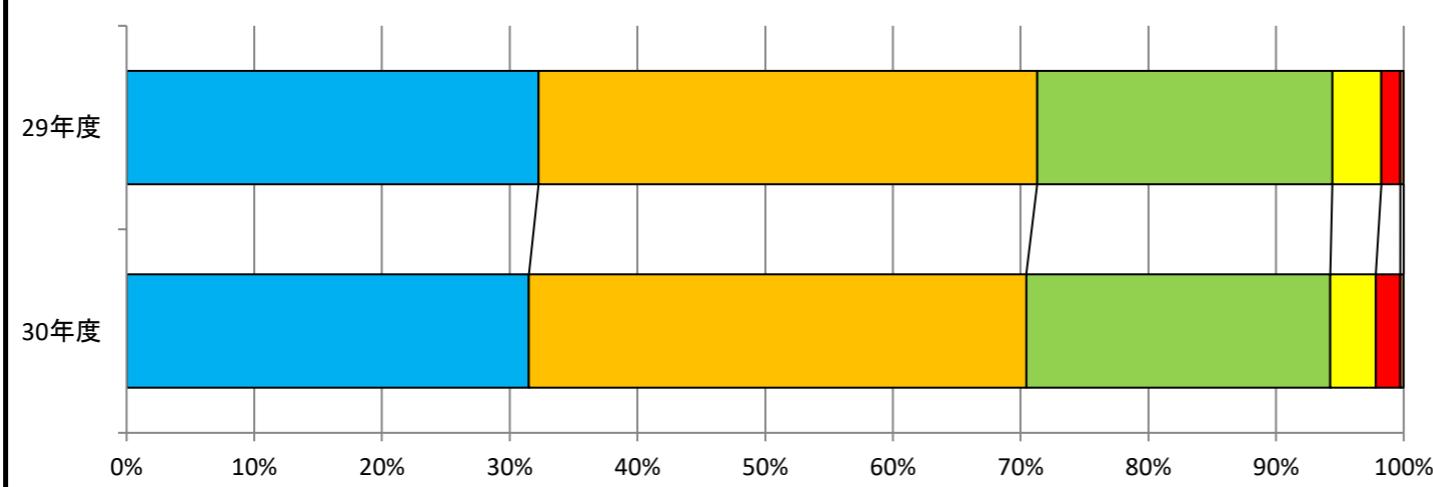


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.1	38.6	74.7	-
34.2	39.4	73.6	△ 1.1

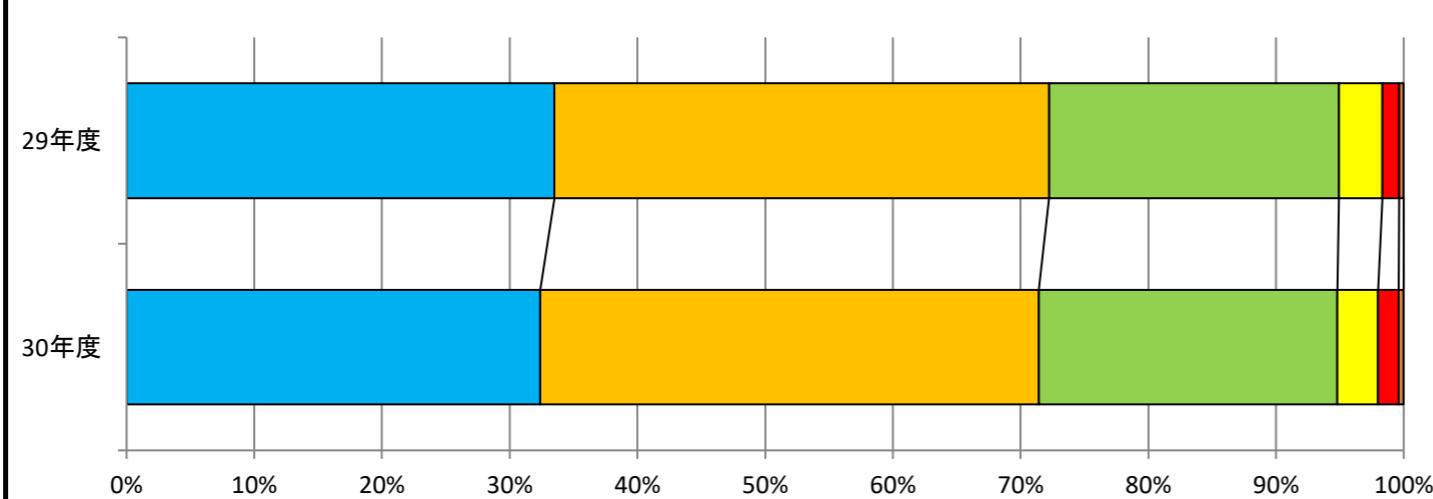
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。

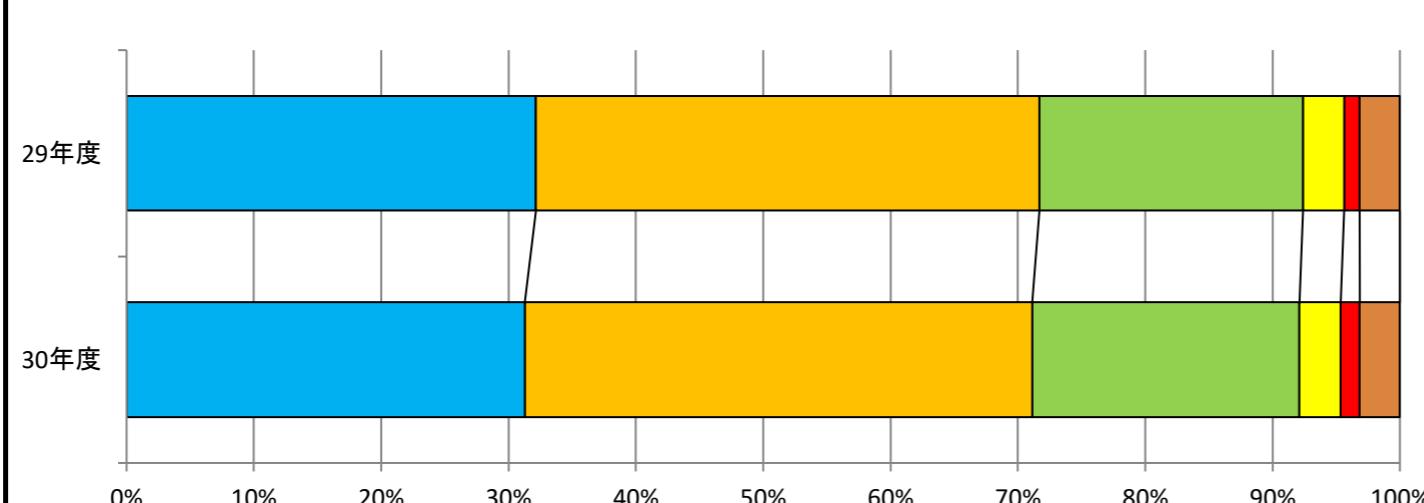


「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))

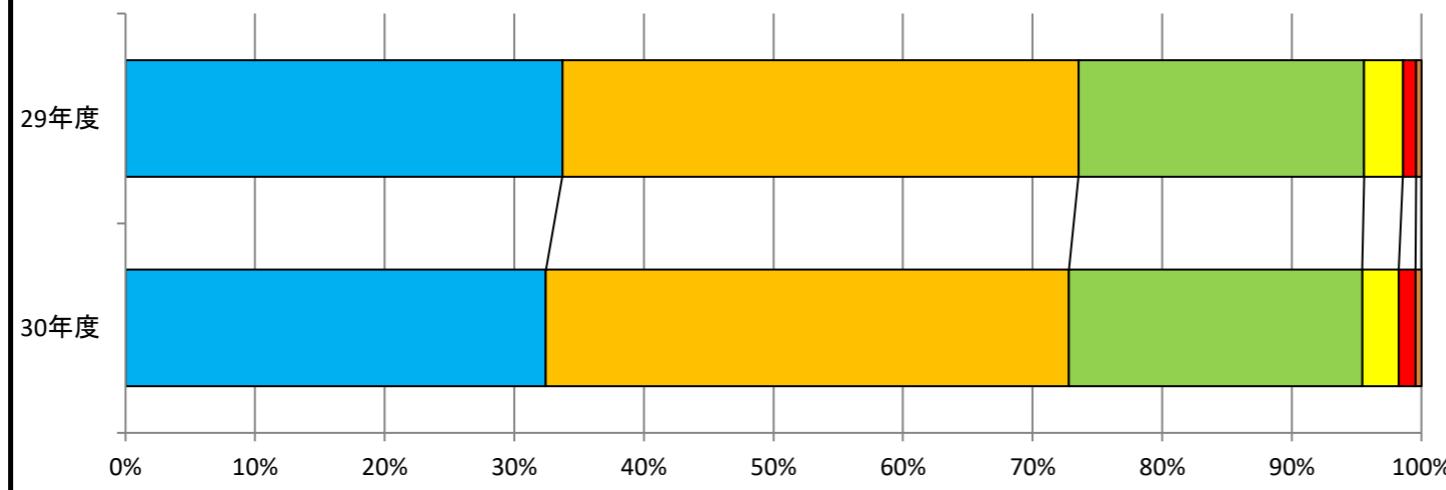


IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



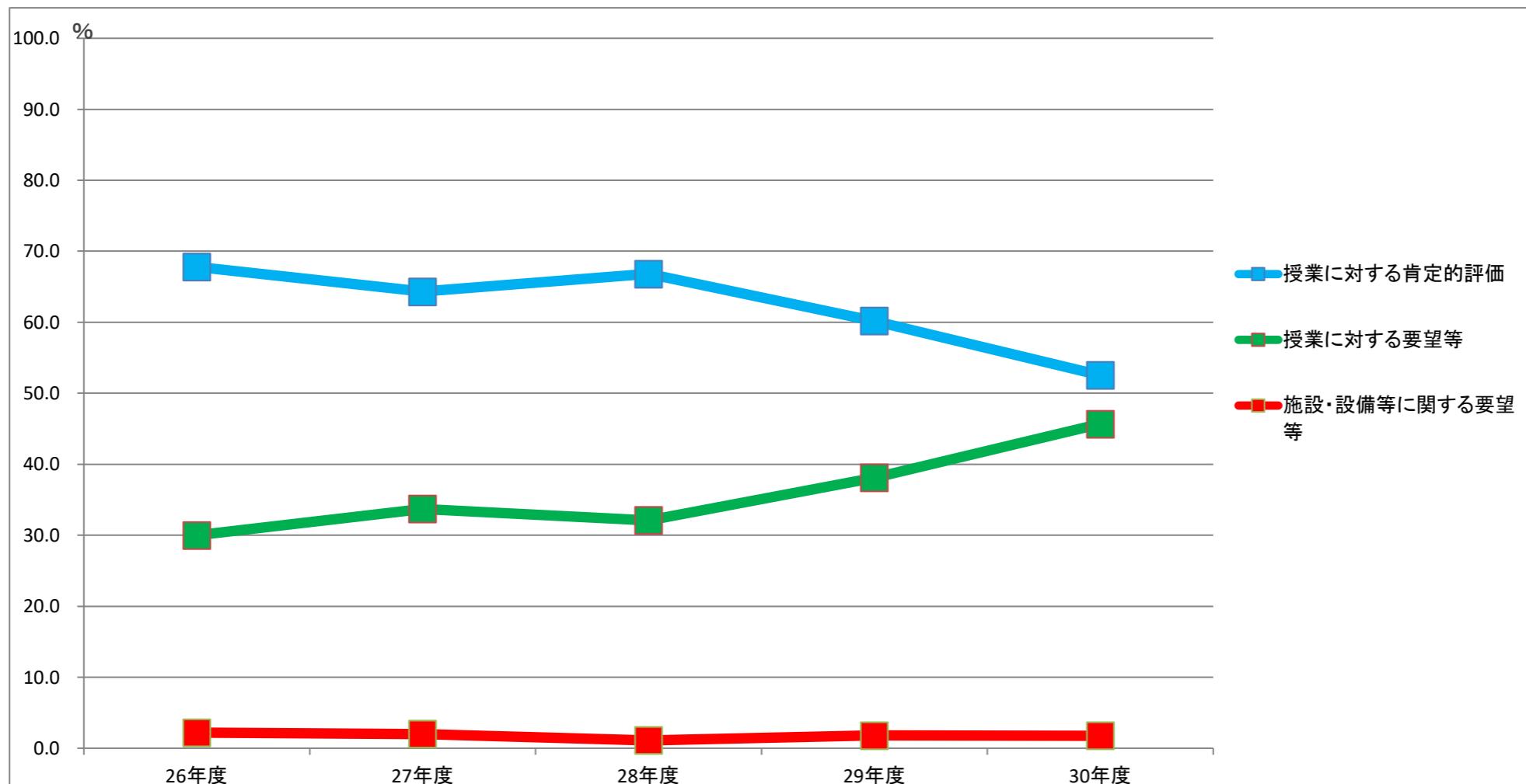
全質問項目の平均



◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
授業に対する肯定的評価	(67.8%) 429	(64.3%) 383	(66.8%) 427	(60.2%) 307	(52.5%) 207
授業に対する要望等	(30.0%) 190	(33.7%) 201	(32.1%) 205	(38.0%) 194	(45.7%) 180
施設・設備等に関する要望等	(2.2%) 14	(2.0%) 12	(1.1%) 7	(1.8%) 9	(1.8%) 7
総件数	(100.0%) 633	(100.0%) 596	(100.0%) 639	(100.0%) 510	(100.0%) 394

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	207	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動や、国家試験の勉強、単位の取得など、できていなかったことが多くありました。日程の調整や、就職の相談や支援をしてくださいました。また、統合実習での準備やレポート作成で何度も面談をしてくださったのがとてもありがたかったです。 ・講義において、考えを改めなくてはいけないと考えることが多々あり、とても楽しかったです。 ・がんについての話が面白かったですし、生物と病気を関連づけて学べてより興味をもちました。 ・先生の授業は声が大きくて眠気もなくなるし、覚えやすいようにゴロ合わせを教えてくれたのがおもしろくて覚えやすかったです。楽しく勉強できました。 ・厳しく指導して下さったお陰で今後のパワーポイント作りにおいて気をつけようと思いました。 ・とても面白く問題形式にしてくれたので興味がわいた。すごく受けやすい授業だった。 ・看護には統計と分析が必須なので学べてとても役に立った。
授業に対する要望等	180	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻の基準をもっと明らかにしてほしい。 ・講義中の飲食、恒常的な私語を注意してほしい。 ・先生が前の発言と全然違うことを言っていたり、話に統一性がない。 ・病院実習後に学びを深められる授業なので、来年は後期にやることがうらやましい。病院実習や就活でなかなか出席できないのが残念だった。 ・実習室で後ろの班まで声がきこえないため、常にマイクを使用して指示を出してほしい。 ・疑問点を聞きに行くときに、少し緊張してしまうため聞きに行きやすい雰囲気を作つてほしい。 ・急にマイクが来るとまだ知らない人ばかりの前で発言するのは怖かった。だからもう少しコミュニケーションをとってから「全員の前で発言する」という形の方がみんながたくさん意見を言うことができると思った。
施設・設備等に関する要望等	7	<ul style="list-style-type: none"> ・実習室のエアコンが強すぎて、コンロの火を揺らしてしまいました。 ・地下教室の空調がまったくきかない日もあれば寒すぎる日もありました。異臭（エアコン）がしたり、wi-fi環境が悪いところが残念でした。 ・地下教室の後方の席だとスライドが見にくいです。 ・板書の際、マーカーのインクが薄い。
計	394	

平成30年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○講義・演習科目数 304科目

○調査対象者数 19,967人(延人数)

○総回答数

17,236枚(回答率 86.3%)

◆ 質問項目別集計結果

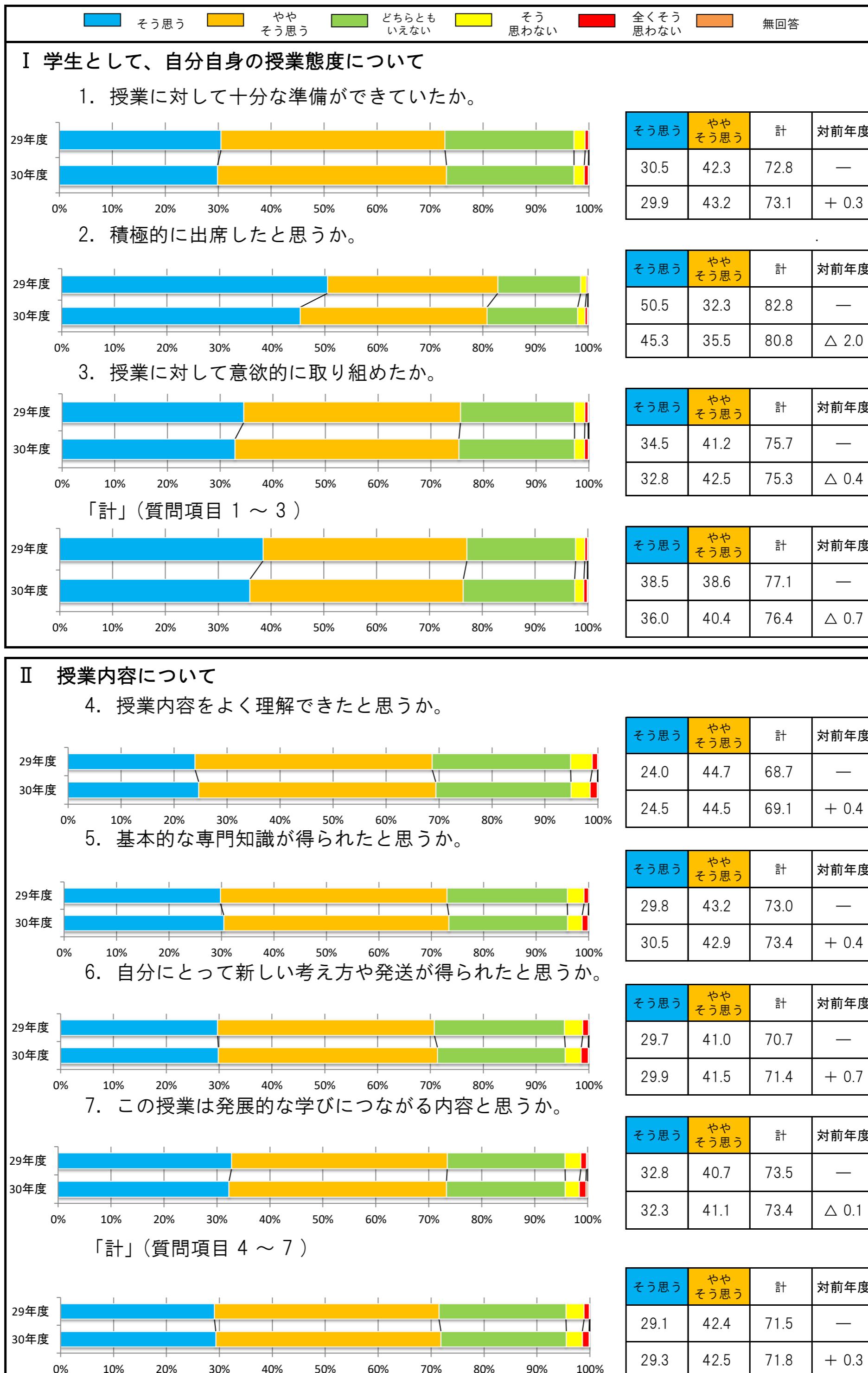
〈上段()は平成29年度アンケート結果〉

	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(30.5) 29.9	(42.3) 43.2	(24.4) 24.1	(2.1) 1.9	(0.6) 0.8	(0.1) 0.1	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(50.5) 45.3	(32.3) 35.5	(15.8) 17.2	(1.1) 1.4	(0.3) 0.5	(0.0) 0.1	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(34.5) 32.8	(41.2) 42.5	(21.7) 22.0	(1.9) 1.9	(0.6) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
計	(38.5) 36.0	(38.6) 40.4	(20.6) 21.1	(1.7) 1.8	(0.5) 0.6	(0.1) 0.1	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(24.0) 24.5	(44.7) 44.5	(26.1) 25.4	(4.1) 3.6	(1.0) 1.4	(0.1) 0.1	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(29.8) 30.5	(43.2) 42.9	(22.9) 22.6	(3.2) 2.8	(0.9) 1.1	0.0 0.1	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(29.7) 29.9	(41.0) 41.5	(24.6) 24.2	(3.5) 3.0	(1.1) 1.3	(0.1) 0.1	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(32.8) 32.3	(40.7) 41.1	(22.3) 22.4	(3.0) 2.6	(1.0) 1.3	(0.2) 0.3	(100) 100
計	(29.1) 29.3	(42.4) 42.5	(24.0) 23.7	(3.4) 3.0	(1.0) 1.3	(0.1) 0.2	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(24.8) 24.5	(38.0) 38.5	(31.0) 31.0	(4.1) 3.8	(2.0) 2.1	(0.1) 0.1	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(32.0) 32.4	(40.8) 40.5	(22.5) 22.7	(3.4) 3.0	(1.1) 1.3	(0.2) 0.1	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(35.3) 34.2	(37.3) 37.6	(20.1) 21.1	(3.9) 3.6	(1.7) 1.7	(1.7) 1.8	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(28.5) 28.1	(38.2) 37.4	(25.6) 25.6	(4.2) 4.4	(1.8) 2.0	(1.7) 2.5	(100) 100
11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(31.7) 31.6	(39.5) 39.4	(22.1) 22.6	(4.2) 3.6	(1.4) 1.6	(1.1) 1.2	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(32.6) 31.1	(37.9) 39.2	(24.2) 24.5	(3.7) 3.4	(1.3) 1.5	(0.3) 0.3	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(35.6) 33.9	(38.6) 39.5	(21.7) 22.2	(2.9) 2.8	(1.1) 1.4	(0.1) 0.2	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(38.3) 37.1	(38.4) 38.9	(20.4) 20.6	(2.0) 2.1	(0.8) 1.1	(0.1) 0.2	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(31.6) 31.1	(38.8) 39.1	(23.9) 24.1	(3.9) 3.5	(1.5) 1.9	(0.3) 0.3	(100) 100
計	(32.3) 31.5	(38.6) 38.9	(23.5) 23.8	(3.6) 3.4	(1.4) 1.6	(0.6) 0.8	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(31.2) 30.9	(39.3) 39.6	(21.5) 21.4	(3.4) 3.3	(1.3) 1.5	(3.3) 3.3	(100) 100
全質問項目の平均	(32.5) 31.8	(39.5) 40.0	(23.0) 23.2	(3.2) 3.0	(1.2) 1.4	(0.6) 0.6	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

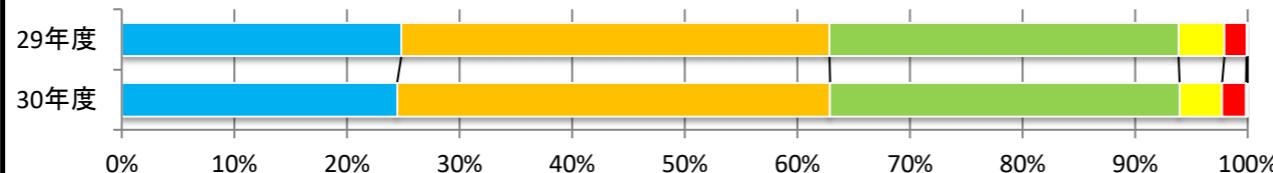
	29年度	30年度
全科目数	300科目	304科目
調査対象者数	20,065人	19,967人
総回答数（回答率）	17,042枚 (84.9%)	17,236枚 (86.3%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



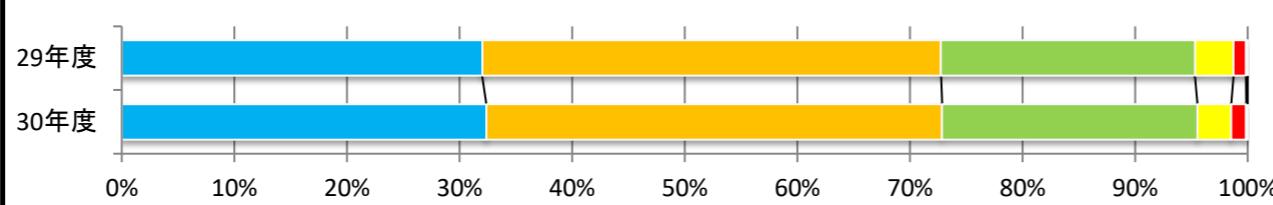
III 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



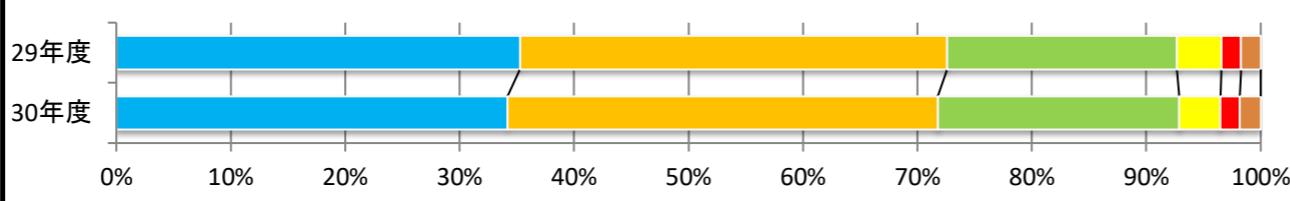
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
24.8	38.0	62.8	—
24.5	38.5	63.0	+ 0.2

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



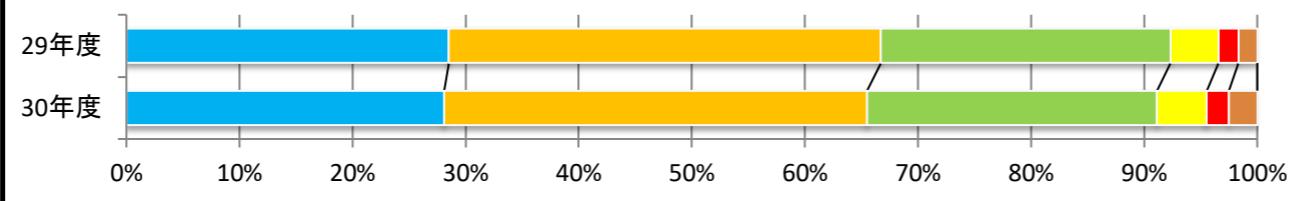
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.0	40.8	72.8	—
32.4	40.5	72.9	+ 0.1

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



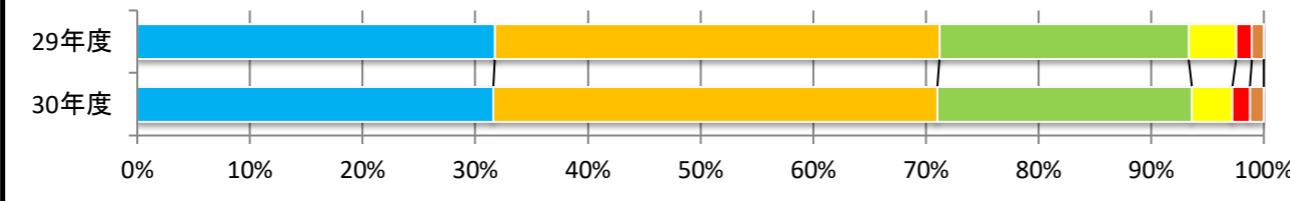
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.3	37.3	72.6	—
34.2	37.6	71.8	△ 0.8

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



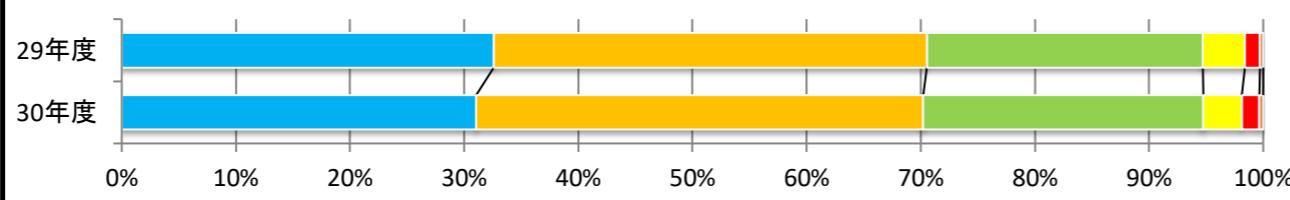
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
28.5	38.2	66.7	—
28.1	37.4	65.5	△ 1.2

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



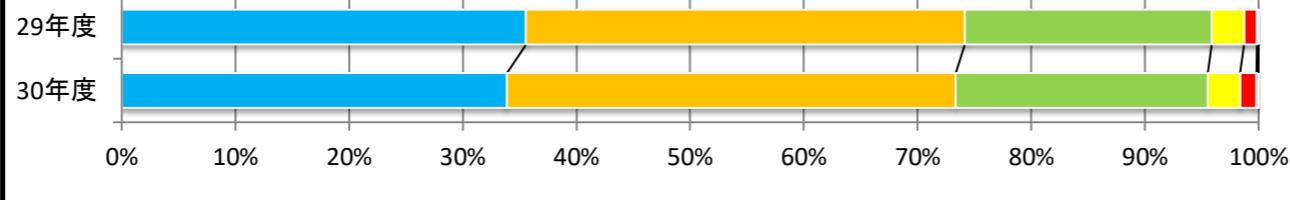
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.7	39.5	71.2	—
31.6	39.4	71.0	△ 0.2

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



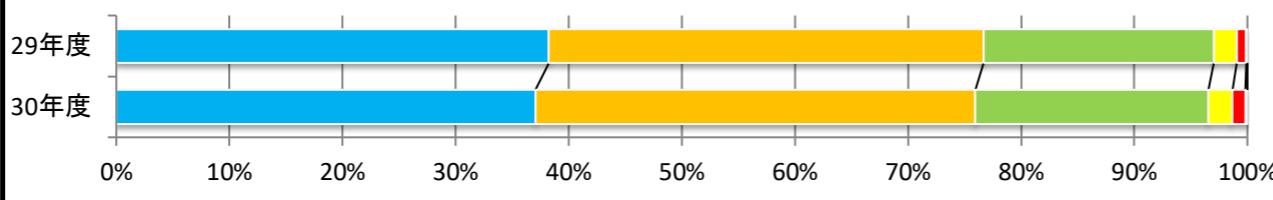
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
32.6	37.9	70.5	—
31.1	39.2	70.3	△ 0.2

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



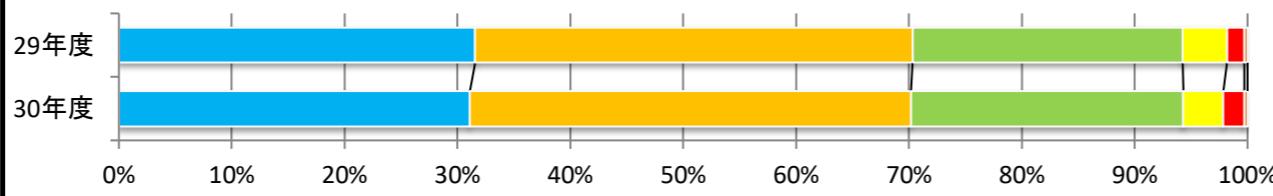
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
35.6	38.6	74.2	—
33.9	39.5	73.4	△ 0.8

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



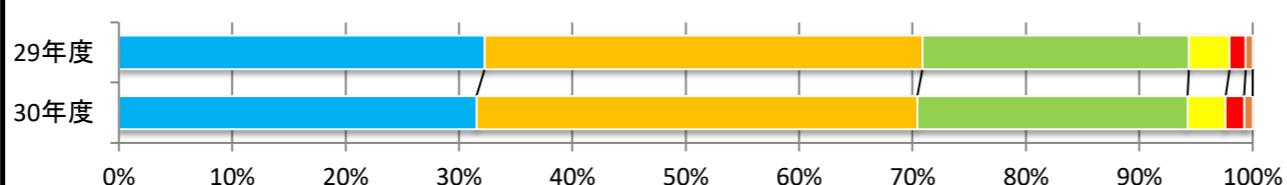
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.3	38.4	76.7	—
37.1	38.9	76.0	△ 0.7

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
31.6	38.8	70.3	—
31.1	39.1	70.2	△ 0.1

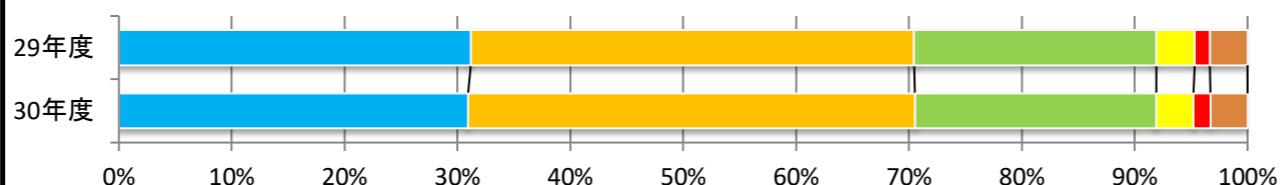
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.3	38.6	70.9	—
31.5	38.9	70.4	△ 0.5

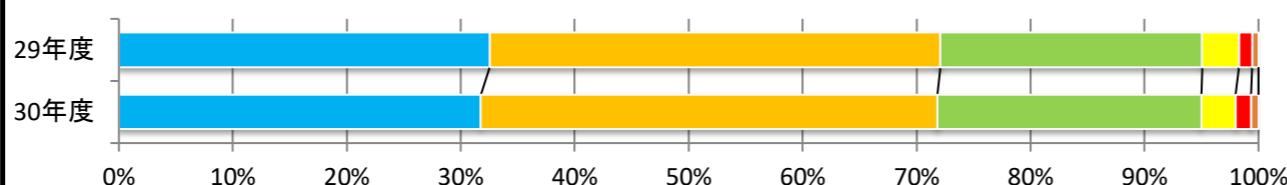
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
31.2	39.3	70.5	—
30.9	39.6	70.5	0.0

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
32.5	39.5	72.0	—
31.8	40.0	71.8	△ 0.2

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 444】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	クリティカル・シンキング I 【1年次前期】	5	様々な思考価値観があることを具体的に知れた。いつもは、人の講義やニュースを聞いても、ふーんでおわっていたが考えるようになった。
			論理的な思考や、物事をそのまま受け入れることなく、一拍考えるような思考力が身につけられました。
			普段から冷静に批判的にものごとを判断できる力がすこしは身についたと感じました。様々な視点から物事を考えることの楽しさ、大切さが分かったためよかったです。
	チーム活動論 【3年次後期】	4	チームとしてのレベルアップのやり方と必要性がわかりました。集団の見方が変わったと思います。
			短時間で分かりやすく説明して下さったこと。チーム医療の必要性を改めて確認できたことがよかったです。
医療栄養学科	臨床検査学 【4年次前期】	4	先生の人柄が良く、質問しやすい環境であった。あやふやにしていた所がはっきりした。解剖生理の復習になった。
			わかるまで繰り返し説明して下さったおかげで、今まで全然わからなかった所が理解できるようになりました。
	給食経営管理論 I 【2年次前期】	4	小テストで強制的に覚えないといけない感じになるところがよかったです。
			小テストをやってくれたので、テスト勉強の時も勉強しやすかったので、助かりました。
			毎回のミニテストはよかったです。ちゃんと解説をいってくれたのがよかったです。
	総合学習 I 【1年次前期】	4	将来の管理栄養士になるための知識としてとても役立ったと思う。
			自分が国家試験にかかるためにはどんなことをしなくてはならないのか分かった。
			栄養学をおおまかに知ることができ、栄養にかかわる専門的な知識を得られた
医療情報学科	社会福祉総論 【1年次前期】	4	全然関係のない職業でもつながれることがわかった。
			社会の現状について深く学び、とても考えさせられました。
	社会福祉総論 【2年次後期】	1	福祉の分野に興味がもてた。手話を学べた。
医療情報学科	情報数学 【1年次前期】	3	物事を考えるときに、より論理定な考え方ができるようになった
			初步的な所や考え方まで丁寧に教えて下さりよかったです。数学的な考えが学べた。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 491】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	疾病治療論Ⅲ 【2年次前期】	12	パワーポイントをすべてコピーしてほしい。コピーできないのなら、もっとゆっくりスライドを見せてほしい。
			2~3コマで2冊の教科書をやろうとしていて速すぎてどこが大切だか分からずだった。板書の図が分かりづらかった。
			レジュメのプリントがある方が、先生の話もかけるので、いいなと思います。板書をかくのでいっぱい、あせって話をまとめられなかつたように思いました。
看護学科			PPTをプリントして配布するのを全日統一してほしい。写真を撮る音がうるさいので迷惑になっている。
地域保健活動演習 【2年次前期】	9	時間外の労働が多くて他の授業に支障ができる。グループによって難易度の差があり、公平でない。先生によって指導の内容がバラバラ。修正点は一度にいっていただかないと改善しにくい。	
		「学生主体」というスタンスにも関わらず、教員が学生に無許可（報告なし）に行動するが多くやり辛かった。不備を指導するならば、事前に情報共有する機会を作るべきであるし、「学生が主体」とただ学生に投げるのではなく、学生が主体としてできるように指導するべきであったと思う。	
		先生それぞれ言っていることが違つて混乱したときが多くあったので改善をお願いします。授業外にも関わらず出席をとっているのはいかがなものかと思いました。後付けが多くメールでの報告が多かったです。	
医療栄養学科	疾病治療論Ⅱ 【2年次前期】	9	レジュメがいただけるなら、授業前に欲しいです。板書の文字が見えにくいので、読める字で、大きく、もしくはモニターにも投影して欲しいです。
			こんなに一気にやらずに1年生のころからもっとバランスのいい、時間割にしてほしいです。
			授業中に書き込めるようレジュメを先に配っていただきたいです。またレジュメの量が多すぎて特に重要な部分が分からなかつたです。
医療栄養学科	総合学習Ⅱ 【2年次前期】	12	解答を考えさせて自分たちで解答を出すのは良いと思うが、分からぬ場合もっと詳細に分かりやすく教えてほしい。
			マイクが声をひろえていない時が何回かあったのでもう少し声を大きくしていただければありがたいです。
			声が小さくて聞き取れない。学生が騒しくしてたらたまには、注意した方が良いと思う。
医療情報学科	給食経営管理論Ⅰ 【2年次前期】	7	早すぎて全然頭に入りません。もう少し生徒が質問しやすくしてほしいです。自分の考えの発展につながりませんでした。
			パワーポイントの文字や文章量を調節してほしい。量が多くて、覚えきれない。少し授業スピードが速く、先生の言っていることがメモしにくかった。
医療情報学科	栄養教育論Ⅱ 【2年次後期】	10	スライドとレジュメの空欄があつてない、全然書ききれない、自分で分かってるのだから直してほしい。
			書く所が多すぎて重要点が不明。書く文字数に対してプリントの枠が小さいです。
			配付プリントの余白が短くて入りきらない。適切な長さにしてほしい。
医療情報学科	コンピュータシステムⅠ 【1年次前期】	6	パワーポイントが見づらく、授業資料にパワーポイントを使ってる時点でおかしいと思う。理解できないし、見づらいし、分かりづらかった。
			ブランクは分かりやすく示してほしい。ex.ブランクの部分は赤などで書いてほしい。パワーポイントの誤字・脱字が多いのが気になった。
			パワーポイントの使い方がおかしい。あれは文字をぎっしりとめて、写し出す物ではないため、使用法が違う。また、間違いも目立つた。
医療情報学科	臨床医学各論Ⅰ 【1年次後期】	5	もう少しあつきり話してください。後の席の人達がうるさいので、もっと注意してほしい。
			出席、態度などの方法が甘いが、小テストは良いと思う
医療情報学科	医療情報総合演習Ⅱ 【2年次後期】	3	声が小さすぎる。周りがうるさいどうのこうの関係なく聞こえない。マイクを使っても聞こえない。レポートの提出期限が去年のままになっていたり、バラバラなので統一してほしい。
			大変だと思いますが、講師の方と打ち合わせをして資料や事後課題を作ったほうがいいと思います。

平成30年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 医療保健学部・助産学専攻科

○実習・実験科目数 59科目

○調査対象者数 3,168人(延人数)

○総回答数 2,563枚(回答率 80.9%)

◆ 質問項目別集計結果

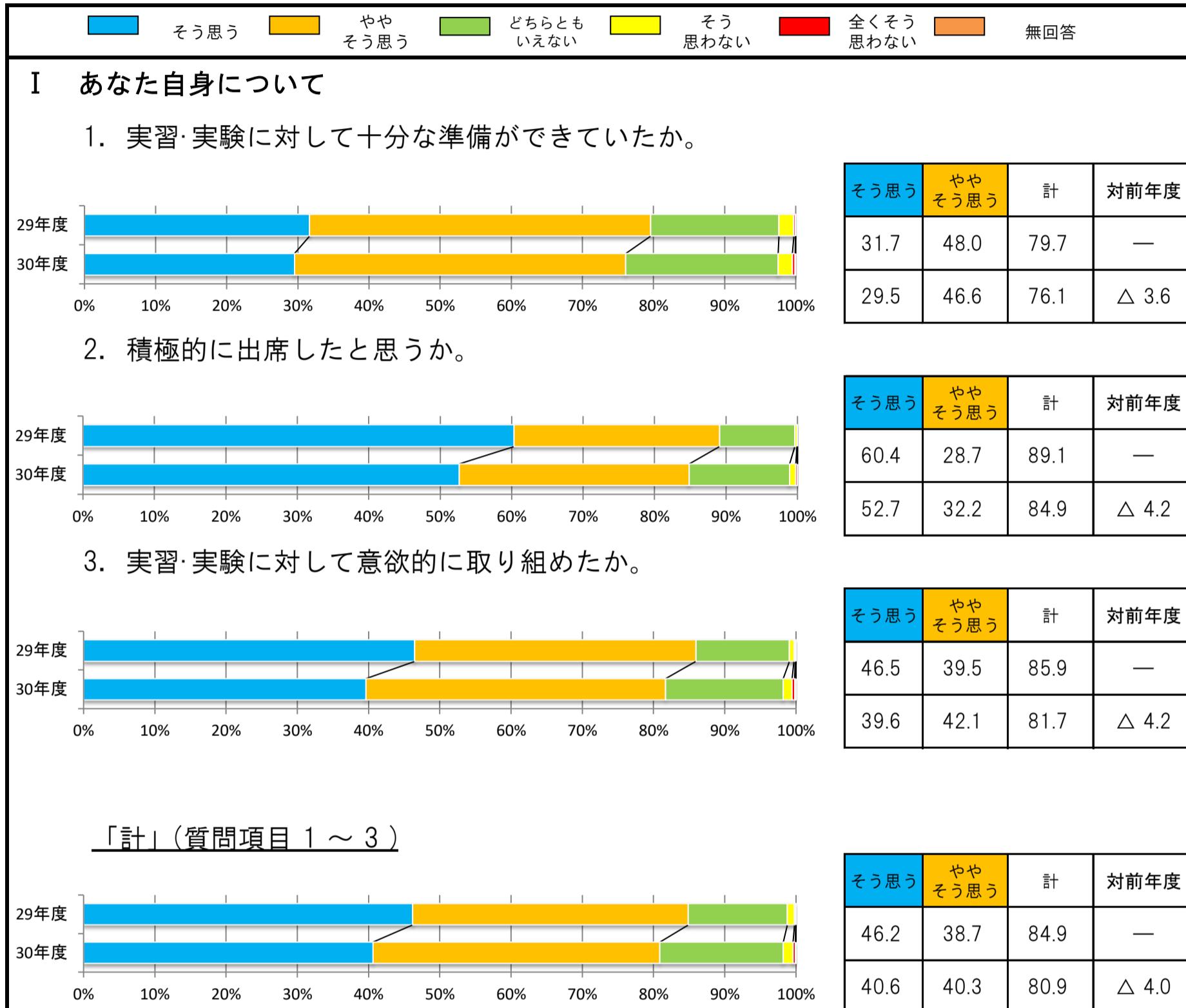
〈上段()は平成29年度アンケート結果〉

質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全く そう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(31.7) 29.5	(48.0) 46.6	(18.0) 21.4	(2.1) 2.0	(0.2) 0.4	(0.0) 0.1	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(60.4) 52.7	(28.7) 32.2	(10.5) 14.0	(0.3) 0.9	(0.1) 0.2	0.0 0.0	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(46.5) 39.6	(39.5) 42.1	(13.1) 16.5	(0.6) 1.2	(0.2) 0.4	(0.1) 0.2	(100) 100
計	(46.2) 40.6	(38.7) 40.3	(13.9) 17.3	(1.0) 1.4	(0.2) 0.3	(0.0) 0.1	(100) 100
II 実習・実験内容について							
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(29.7) 26.1	(48.9) 47.3	(19.2) 22.8	(1.8) 3.0	(0.4) 0.8	(0.0) 0.0	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(36.3) 33.7	(46.2) 43.9	(15.5) 19.5	(1.7) 2.2	(0.3) 0.7	0.0 0.0	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(37.2) 33.4	(42.8) 42.0	(17.9) 21.5	(1.6) 2.3	(0.5) 0.8	(0.0) 0.0	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(42.3) 37.7	(40.7) 41.1	(15.0) 18.1	(1.4) 1.7	(0.4) 1.0	(0.2) 0.4	(100) 100
計	(36.4) 32.7	(44.6) 43.6	(16.9) 20.5	(1.6) 2.3	(0.4) 0.8	(0.1) 0.1	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(28.8) 26.1	(40.0) 40.3	(25.5) 27.8	(4.3) 3.6	(1.3) 2.1	(0.1) 0.1	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(36.5) 34.2	(41.7) 41.5	(18.2) 20.1	(3.0) 3.0	(0.5) 1.1	(0.1) 0.1	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(41.0) 38.6	(38.9) 38.2	(16.0) 18.2	(3.2) 3.4	(0.8) 1.6	(0.1) 0.0	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(37.7) 34.6	(40.0) 38.8	(17.6) 21.6	(3.6) 3.0	(1.1) 2.0	(0.0) 0.0	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(39.5) 36.4	(38.8) 39.3	(16.7) 19.3	(3.8) 3.2	(1.1) 1.8	(0.1) 0.0	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(42.8) 40.2	(38.9) 37.8	(15.0) 18.1	(2.5) 2.5	(0.7) 1.3	(0.1) 0.1	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(36.6) 34.2	(40.9) 38.1	(17.9) 21.6	(3.3) 3.6	(1.2) 2.3	(0.1) 0.2	(100) 100
計	(37.5) 34.9	(39.9) 39.1	(18.1) 20.9	(3.4) 3.2	(1.0) 1.8	(0.1) 0.1	(100) 100
IV 総合評価							
15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(38.1) 33.5	(41.1) 41.6	(15.8) 18.3	(2.2) 2.9	(0.7) 1.5	(2.1) 2.2	(100) 100
全質問項目の平均	(39.0) 35.4	(41.0) 40.7	(16.8) 19.9	(2.4) 2.6	(0.6) 1.2	(0.2) 0.2	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

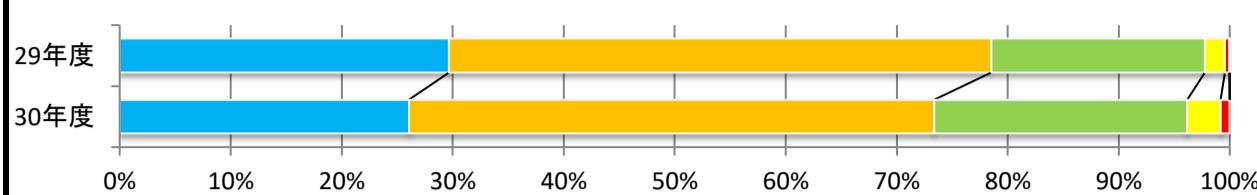
	29年度	30年度
全科目数	47科目	59科目
調査対象者数	3,302人	3,168人
総回答数（回答率）	2,717枚 (82.3%)	2,563枚 (80.9%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



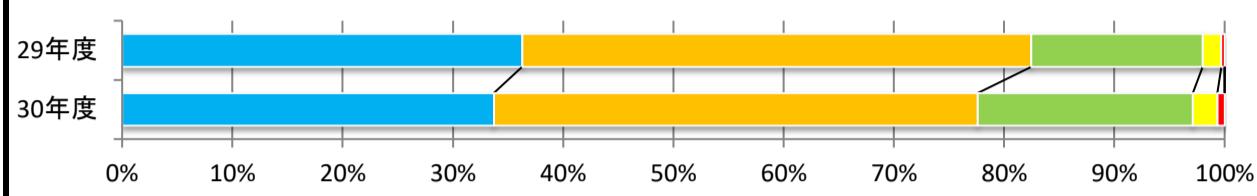
II 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



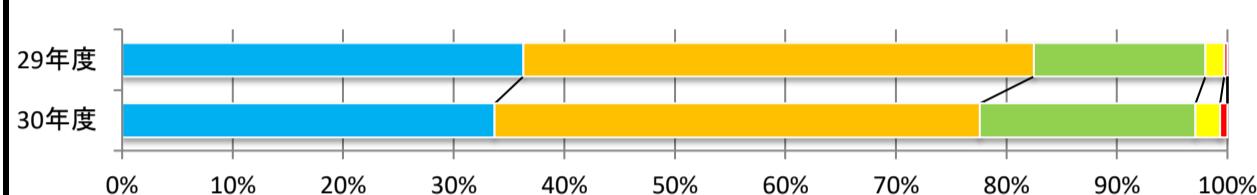
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
29.7	48.9	78.6	—
26.1	47.3	73.4	△ 5.2

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



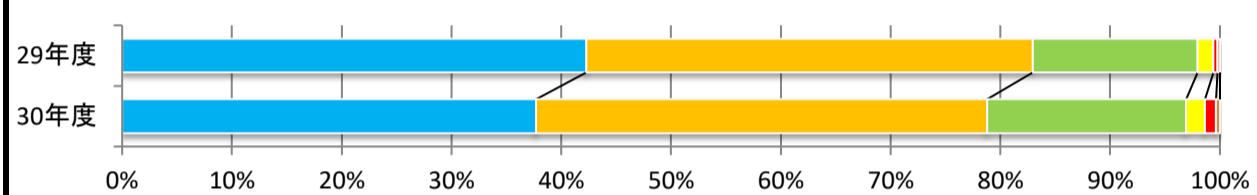
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	46.2	82.5	—
33.7	43.9	77.6	△ 4.9

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



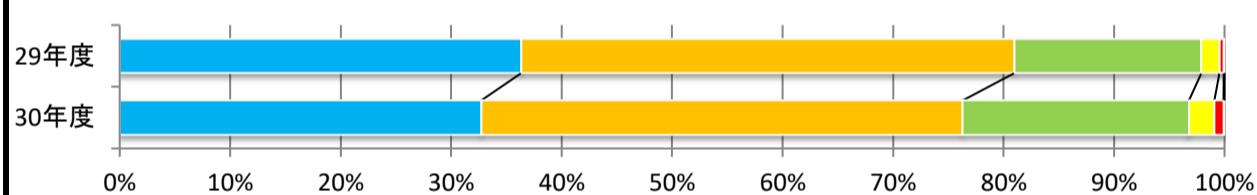
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.2	42.8	80.0	—
33.4	42.0	75.4	△ 4.6

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.3	40.7	83.0	—
37.7	41.1	78.8	△ 4.2

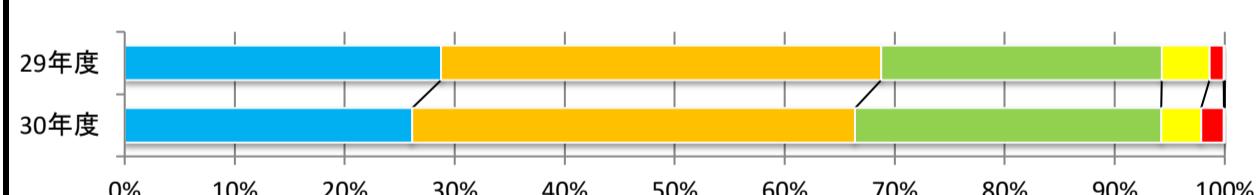
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.4	44.6	81.0	—
32.7	43.6	76.3	△ 4.7

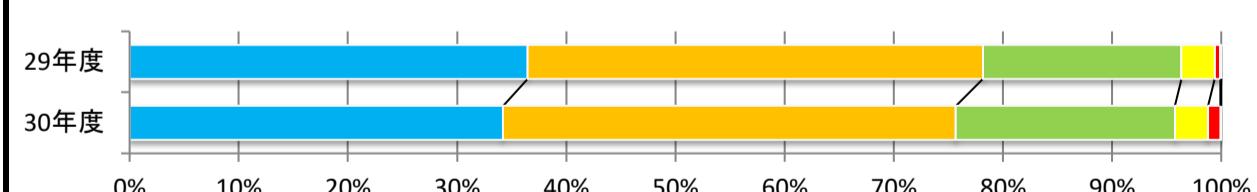
III 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



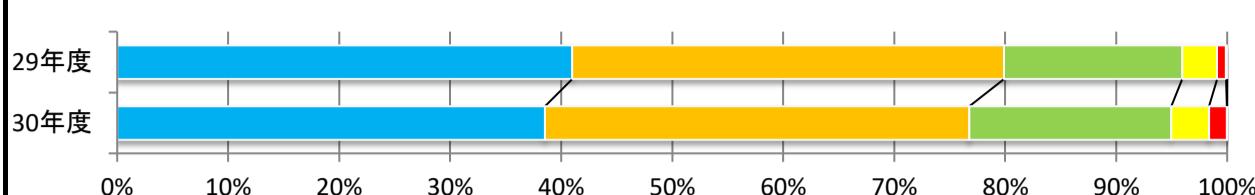
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
28.8	40.0	68.8	—
26.1	40.3	66.4	△ 2.4

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



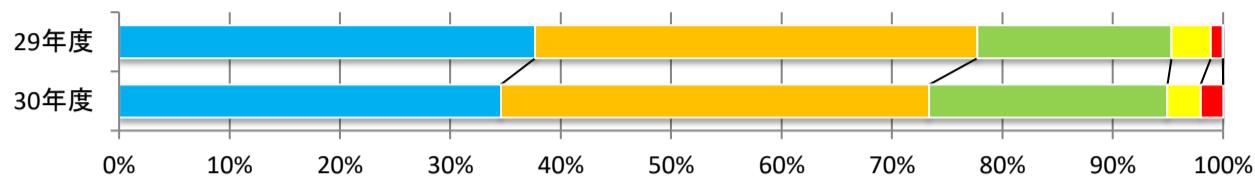
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.5	41.7	78.2	—
34.2	41.5	75.7	△ 2.5

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



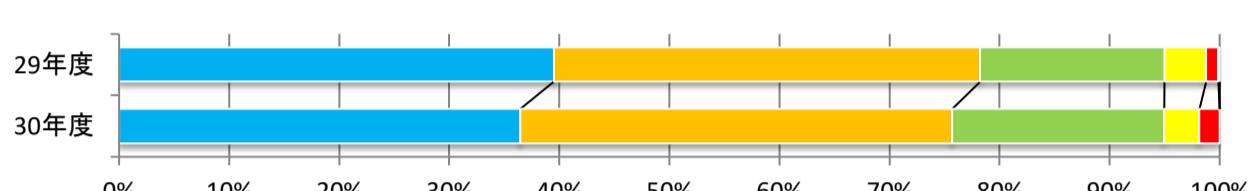
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.0	38.9	79.9	—
38.6	38.2	76.8	△ 3.1

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



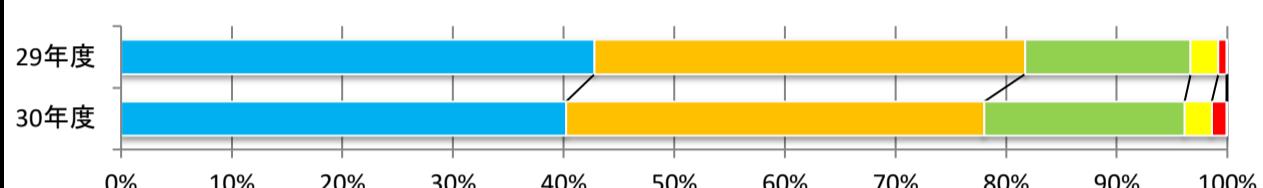
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.7	40.0	77.7	—
34.6	38.8	73.4	△ 4.3

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



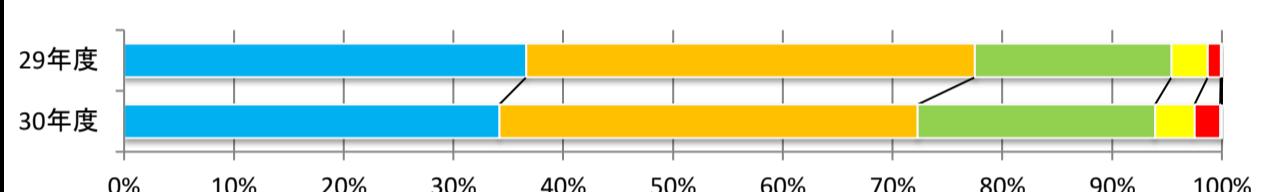
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	38.8	78.3	—
36.4	39.3	75.7	△ 2.6

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



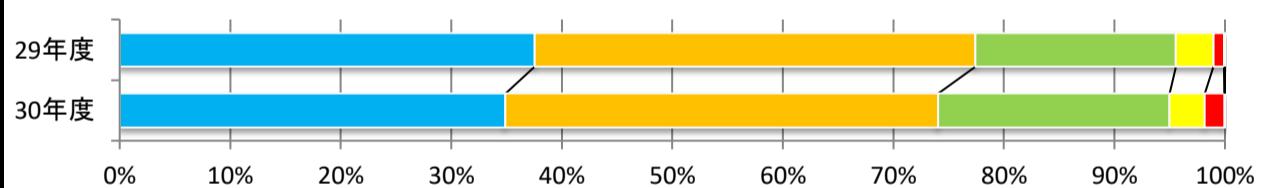
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
42.8	38.9	81.7	—
40.2	37.8	78.0	△ 3.7

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.6	40.9	77.5	—
34.2	38.1	72.3	△ 5.2

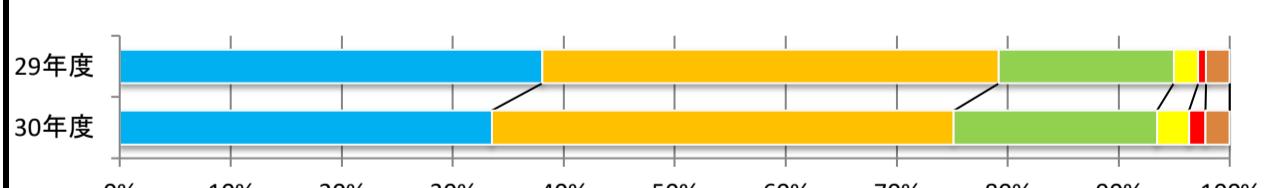
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.5	39.9	77.4	—
34.9	39.1	74.0	△ 3.4

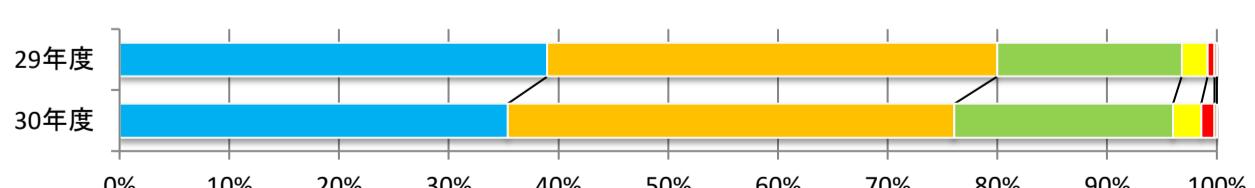
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.1	41.1	79.2	—
33.5	41.6	75.1	△ 4.1

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.0	41.0	80.0	—
35.4	40.7	76.1	△ 3.9

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。【総数 43】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習 I 【1年次後期】	4	実際患者さんと直接ケアを通してふれあうことで、看護機能の重要さを五感を通して実感できた。
			実際に臨地に行ってわかったことがいくつかあった。臨地での活動看護の実態に触れられ、自分の将来の明確化になった。
			初めての実習で緊張している私たちの心情を理解してくださり、寄り添ってくれたので助けられた。
	基礎看護援助実習 II 【2年次後期】	2	メンタルが強くなった。専門的な知識を得ることができた。
医療栄養学科	看護の統合実習 【4年次前期】	10	人との関わりにより工夫が必要な領域だと思いますが、その関わりについて苦戦しながらも学ぶことができたのは絶対他にも活用できるスキルだと思い良かったと思った。
			興味がある分野だったので、今までの実習で1番頑張れた。忙しい中、何度も面談の時間を作ってくださり、手厚い指導をしてくださいました。
			個別面談が複数回あったことで自分のやりたいことがズレずに取り組むことができた。自分の興味あることが行えるように先生方が全力で協力して下さり、とても良かったです。
	調理学実習 I 【1年次前期】	4	いろいろな知識を得た。調理の基本が身についた人間として成長した。料理が上達したが、もっと調理の技術を身につけようと思った。
医療情報学科	食品化学実験 【1年次前期】	10	高校ではそんなに実験をしていなく、計算や定義みたいなものが多かったので、実験を通して改めて理解することができたのでよかったと思う。
			高校や中学でやった器具の名前や使い方、用途などを復習できたため良かった。また、新たな実験方法を学ぶことができて良かった。
	調理科学実験 【2年次前期】	3	ただ調理するのではなく、科学的変化など具体的に味や色・テクスチャーから得られた結果を資料を見て理解することができた。
医療情報学科			コメントなし

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 68】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習 I 【1年次後期】	8	実習終了からレポート提出までの期間が短すぎる。自習2日目と3日目の日にちが経ち過ぎて、初日のような感覚だったためあまりあけないでほしい。
			バイタルのテストの時、先生の威圧がすごくやりにくそうだった。私は他の先生が担当だったが、自分がその先生にあたったら嫌だと感じた。いくら練習したとはいえ、緊張することを理解してリラックスしてできる雰囲気を作つてほしい。
	基礎看護援助実習 II 【2年次後期】	3	基礎看護学の担当でない先生の様式やカンファに関する知識が足りなさすぎてグループに差ができる。レポート提出の日が早すぎると思った。
			技術演習する時間がもっと欲しかった。実習が必ず時間がのびてしまっていたので、時間配分をしっかり考えてほしかったです。
	看護の統合実習 【4年次前期】	14	効率がよく、自分で考えながら行うことができた。けれど、最後の発表のしかたに工夫した方が良いという意見が下の学年からもあり、私達も短い時間で伝えることが難しかったので、何か工夫が必要だと思った。
			メールで時間指定をしているのにその時間を超えて話し合うならその旨をメールにあらかじめ記載してほしい。1時間半の話し合いが、3時間にまで及ぶことが多かった。
			ICU、HCUだけでなく病棟などの選択肢を増やしてほしい。決められた中で探求課題を見出すことは難しい。
			それぞれの教員の指導の方針が異なり苦しんでいる学生がいたので、方針をそろえるべきだと思った。
			記録用紙が複数あり、どのように書くのかより詳しく説明をしてくれるともっと良くなると思った。
医療栄養学科	栄養生理学実験 【3年次後期】	6	予備実験または下実験をしてほしい。時間を守って下さい。レポートを目的だけでなく内容も見てほしい。
	公衆栄養学実習 【3年次前期】	6	小テストの解説をしてほしかった。エクセルの使い方を事前に確認しておいてほしかった。
			やる内容をしつかり決めてから、授業を進めてほしかったです。クラスや班によって聞いている内容が異なるため、混乱しました。
	調理科学実験 【2年次前期】	6	後期にデータ解析の授業があるが、先生がPCが苦手なように見えたので、PCが得意な先生がもう一人いれば良いと思う。
医療情報学科			声が聞きとりづらい。レポートの再提出者と再提出者でない人の基準がバラバラであった。レポートが何点満点で評価しているか毎回知りたかった。
			もう少し、注意点などを知らせてもらえると、実験の失敗が少なくなったかなと思う。レポートの修正箇所を、わかるように教えてもらいたい。
			コメントなし

平成 30 年度 東が丘・立川看護学部の授業評価結果に対する考察

副学長 学部長 山西 文子
副学長 草間 朋子

- 授業評価の対象になった科目数は臨床看護学コース、災害看護学コース合わせて 195 科目で、授業評価に係る質問に回答した学生数は延べ 18,798 人（回答率:91.4%）であった。例年とほぼ同様の回答率を維持しており、授業評価に対する学生の関心・意識が高いことを示しています。自由記述の内容も含めて授業評価の結果を、授業のあり方等の改善に反映していくことが、教員には求められますので鋭意取り組んでまいります。
- 学生の自己の授業態度（事前の準備、積極的な出席、意欲）については、3 つの質問項目とともに、約 80% の学生が肯定的な回答（「そう思う」及び「ややそう思う」）をしています。例年と同様に、否定的な回答（「どちらともいえない」を含む）をした学生が約 20% であり、これらの学生のモチベーションをどのように引き出し、高めていくかが今後の課題と受け止めています。
本学部が、開設以来、毎年、継続して実施してきた「学生生活実態調査」では、1 日当たりの自主学習時間（シラバス上に明示されている事前学習・事後学習も含む）が、全国の文系・理系を合わせた大学生を対象にした調査の結果と比べて短い、深夜にわたるアルバイトをしている学生がかなりの割合いるという結果が得られています。医療の高度化、患者ニーズの多様化などに多職種と連携・協働して対応していくことができる能力を習得するためには、自主学習の時間を充分確保し、授業に意欲的に取り組むことができる学生生活のあり方について、保護者と連絡を取り、学生の個別性に配慮した指導・支援を強化していく必要があります。
- 授業内容（4 項目）に関する質問については、約 80% の学生が肯定的な回答をしています。しかし、「授業の内容を理解できたか」「基本的な専門知識が得られたか」の質問項目に対して、講義・演習科目（168 科目）では約 20% 、実習・実験科目（27 科目）では約 10% の学生が、「どちらともいえない」と回答し、講義・演習科目の中には「理解できない」「専門知識が得られなかった」と、ネガティブな回答をした学生が少数ではあるが存在します（実習・実験科目に対してネガティブな回答をした学生はいない）。
看護師国家試験 100% 合格を目指す本学部としては、全ての科目について授業内容を理解できない学生「ゼロ」を目指していく必要があります。
- 教員の考え方・姿勢に関する質問（8 項目）に対しては、講義・演習科目では約 80% 、実習・実験科目では約 90% の学生が肯定的な回答をしています。しかし、「シラバスは学修するうえで役に立ったと思うか」の質問に対する肯定的な回答は、他の質問項目に比べて低く、70% 以下でした。現在、シラバスの電子化に向けての検討が進められています（本学部では 1 年次生以外はすでに電子化）が、授業に先立ち全ての学生が目を通し、事前学習、事後学習に「役立つ」シラバスにしていく必要があります。

- 講義の際に、配布する資料について学生からの要望が毎年繰返し出されています。講義資料は学生の理解を助けるうえでの重要な教材であり、教員個人のレベルで改善できることは早急に改善していく必要があります。
- 「講義・演習」に比べて、参加型の授業である「実習・実験」科目に対してはすべての質問項目の評価結果が高く、本学部が、臨床看護学、災害看護学コースごとに全実習施設の関係者に参加いただき実施してきた「実習施設説明会」や、臨床看護学コースは東京医療センター、災害看護学コースは災害医療センター、村山医療センター及び立川共済病院との間で「よい実習」を目指して進めている「実習連携会議」を通して実習指導者との間で検討してきた成果ではないかと考えています。
自由記載の中にありました「実習で目標とする看護師さんに出会えた」との記述は、施設の実習指導者や教員を元気づけてくれます。
- 本学部が、1年次前期セメスターから基礎看護実習を取り入れ、1~4年次の全ての学年に「実習」を配置していることに対して、学生から高い評価を得ています。この点に関しては、就職支援委員会が中心となって進めています。「卒業生と語る会」においても卒業生から高く評価されています。
- 実習における指導教員、特に、人材派遣会社を通して雇用した非常勤助手の指導内容・学生からの相談への対応について、本学の指導教員との違いを指摘し、改善を求める意見が毎年出されています。少ない教員数の下で運営していくためには非常勤の実習助手に頼らざるを得ないのが現状ですので、雇用、オリエンテーション、就労条件等を検討していく必要があります。
- 授業評価以外の本学部の教育全体に対する指標として「卒業時の看護技術の到達目標の達成レベル」「看護師国家試験の合格率」をあげることができます。「卒業時の看護技術到達度」(173項目)に関しては臨床看護学コース、災害看護学コースともに、目標レベルをほぼ100%達成しており、講義、演習・実習の連携等が効果的・効率的に進められています。また、「看護師国家試験の合格率」(臨床看護学コース:97.2%、災害看護学コース:96.6%)に関しては目標の100%を達成することはできませんでしたが、全国看護系大学の平均合格率を上回っており、授業評価結果と合わせて、効果的、効率的な授業の提供ができていると考えています。
本学部が目標に掲げてる「tomorrow's Nurse の育成」を目指して教職員一同、教育の質の向上にさらに努めてまいります。
- 学習環境とくに講義室の整備に対して学生から毎年改善の要望が出されているので大学経営側に働きかけていきます。
本学部は、2020年度から東が丘看護学部および立川看護学部の2つの学部として運営されます。この機会に、両学部の教育環境の整備・充実を図ってまいります。
- 最近、体調不良、単位未履修などの理由で、留年、休学、退学する学生が増加傾向にあります。一人ひとりの学生は、健康に関わる専門職を目指していることをしっかりと認識し、セルフコントロール能力を高めていくことが必要であり、大学として支援を強化してまいります。

以上

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○全科目数 195科目 ○調査対象者数 18,794人（延人数）
 ○総回答数 17,185枚（回答率 91.4%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果
 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉
 〈上段()は平成29年度アンケート結果〉

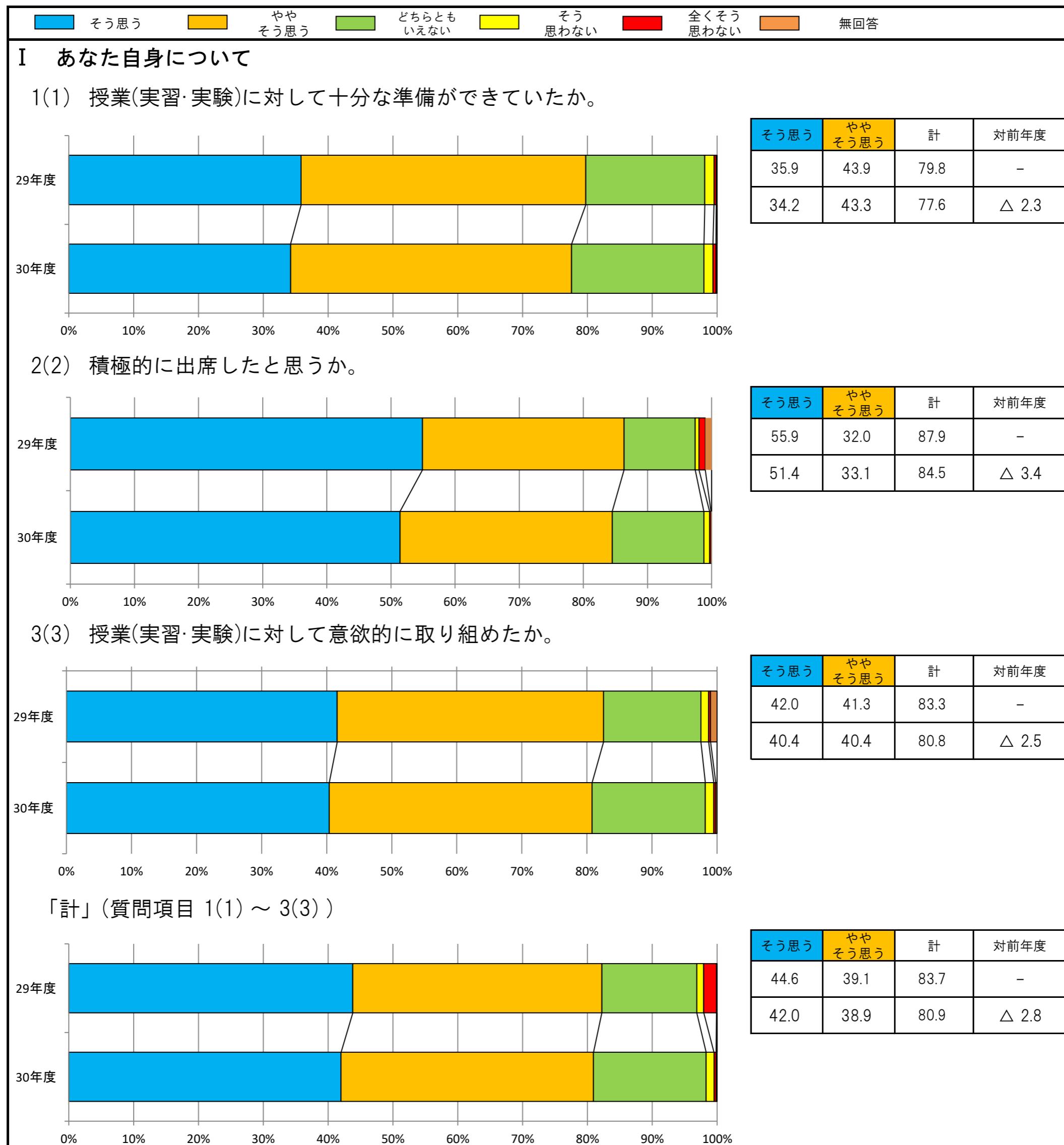
質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	(35.9) 34.2	(43.9) 43.3	(18.4) 20.4	(1.4) 1.4	(0.3) 0.5	(0.1) 0.2	(100) 100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	(55.9) 51.4	(32.0) 33.1	(11.3) 14.3	(0.6) 0.9	(0.1) 0.2	(0.1) 0.1	(100) 100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	(42.0) 40.4	(41.3) 40.4	(15.1) 17.4	(1.2) 1.3	(0.3) 0.3	(0.1) 0.2	(100) 100
計	(44.6) 42.0	(39.1) 38.9	(14.9) 17.4	(1.1) 1.2	(0.2) 0.3	(0.1) 0.2	(100) 100
II 授業内容について							
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	(33.0) 33.4	(46.7) 44.3	(17.2) 19.2	(2.4) 2.3	(0.6) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(38.4) 39.9	(44.2) 41.0	(14.8) 16.7	(1.9) 1.6	(0.6) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(39.0) 40.5	(41.9) 39.5	(16.1) 17.3	(2.2) 1.8	(0.6) 0.7	(0.2) 0.2	(100) 100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(41.4) 42.4	(40.7) 38.4	(15.0) 16.6	(1.8) 1.5	(0.7) 0.7	(0.4) 0.4	(100) 100
計	(38.0) 39.0	(43.4) 40.8	(15.7) 17.5	(2.1) 1.8	(0.6) 0.7	(0.2) 0.2	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について							
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(31.4) 31.7	(39.2) 36.3	(24.4) 26.0	(3.4) 3.9	(1.4) 1.9	(0.2) 0.2	(100) 100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(38.1) 38.9	(41.6) 39.0	(16.7) 18.7	(2.6) 2.4	(0.8) 0.8	(0.2) 0.2	(100) 100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(42.0) 41.9	(38.2) 36.6	(14.7) 16.8	(2.4) 2.2	(1.0) 0.9	(1.7) 1.6	(100) 100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(39.6) 40.3	(39.0) 36.6	(17.5) 19.0	(2.7) 2.7	(0.9) 1.1	(0.3) 0.3	(100) 100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	(41.5) 43.2	(40.1) 37.2	(15.1) 16.8	(2.3) 1.8	(0.8) 0.8	(0.2) 0.2	(100) 100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(44.4) 44.9	(38.8) 36.5	(14.3) 16.2	(1.6) 1.5	(0.6) 0.7	(0.3) 0.2	(100) 100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	(39.6) 40.4	(39.3) 37.4	(17.0) 18.4	(2.6) 2.3	(1.1) 1.2	(0.4) 0.3	(100) 100
計	(39.5) 40.2	(39.5) 37.1	(17.1) 18.8	(2.5) 2.4	(0.9) 1.1	(0.5) 0.4	(100) 100
IV 総合評価							
16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	(40.1) 40.8	(39.4) 37.0	(14.3) 16.0	(2.1) 2.0	(0.9) 0.9	(3.2) 3.3	(100) 100
全質問項目の平均	(40.2) 40.3	(40.4) 38.4	(16.1) 18.0	(2.1) 2.0	(0.7) 0.8	(0.5) 0.5	(100) 100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

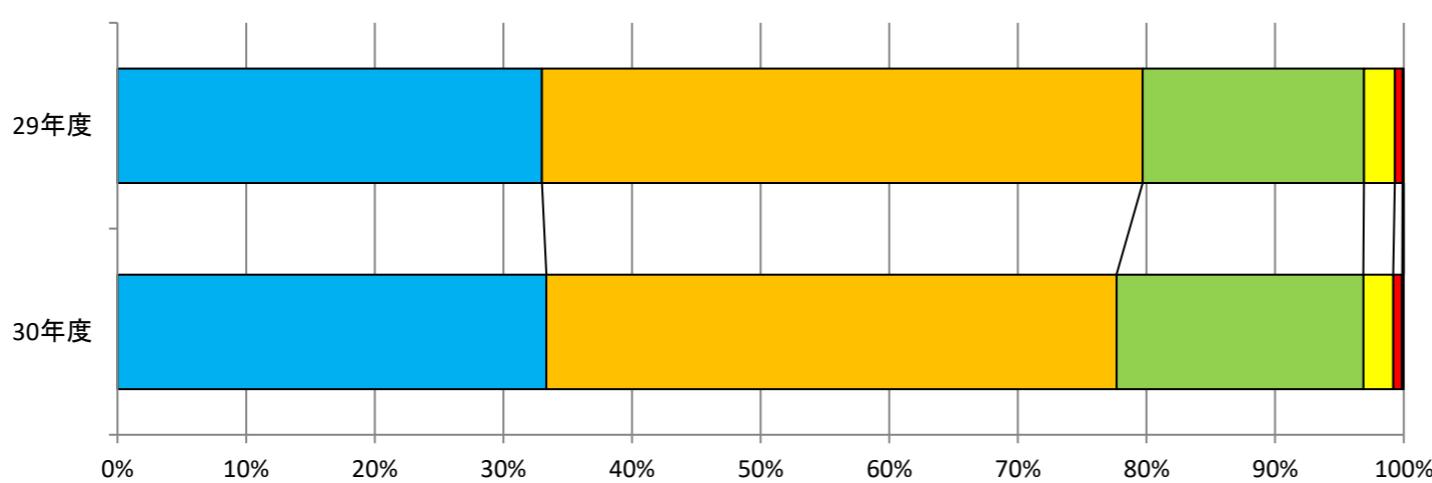
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	119科目	157科目	190科目	211科目	195科目
調査対象者数	12,915人	14,772人	18,836人	20,005人	18,794人
総回答数(回答率)	12,360枚(95.7%)	14,383枚(97%)	17,709枚(94.0%)	17,180枚(85.9%)	17,185枚(91.4%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

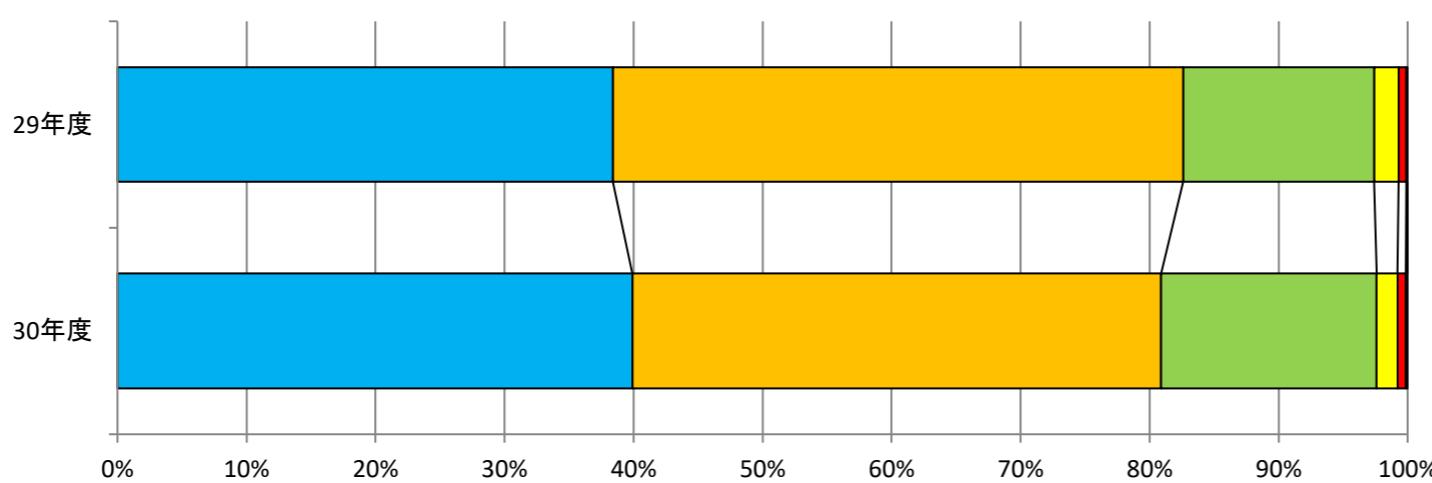


II 授業内容について

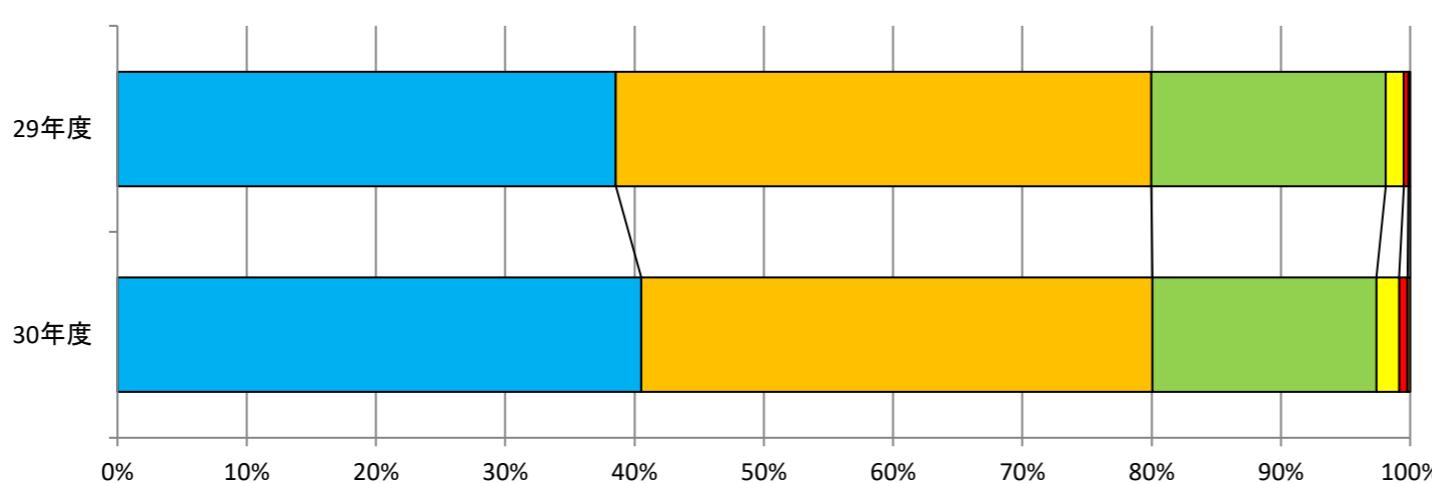
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



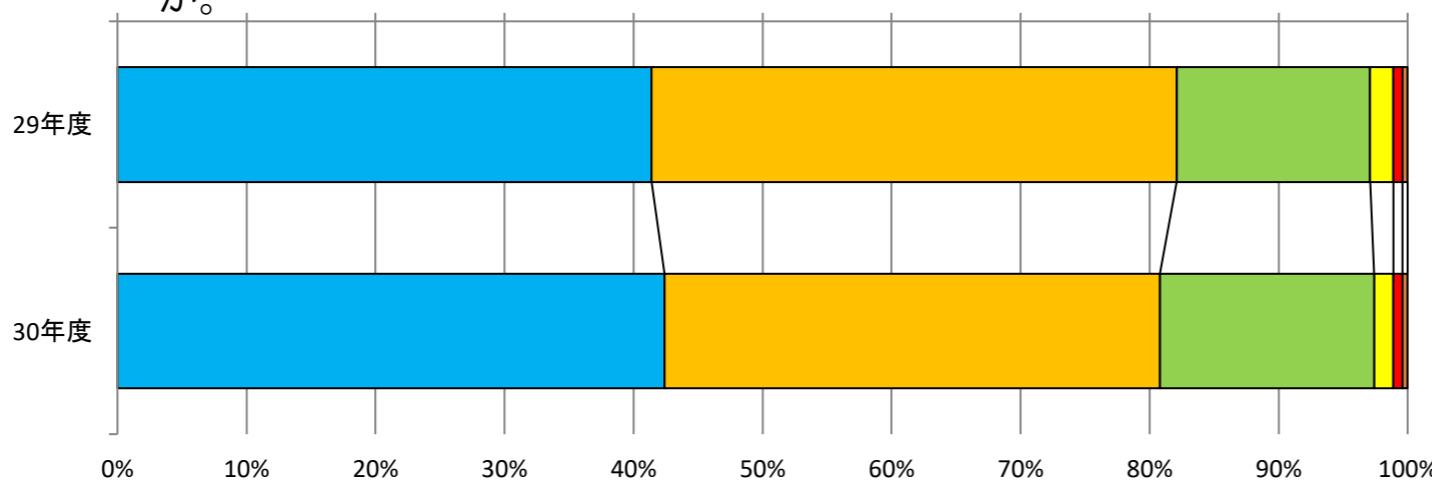
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



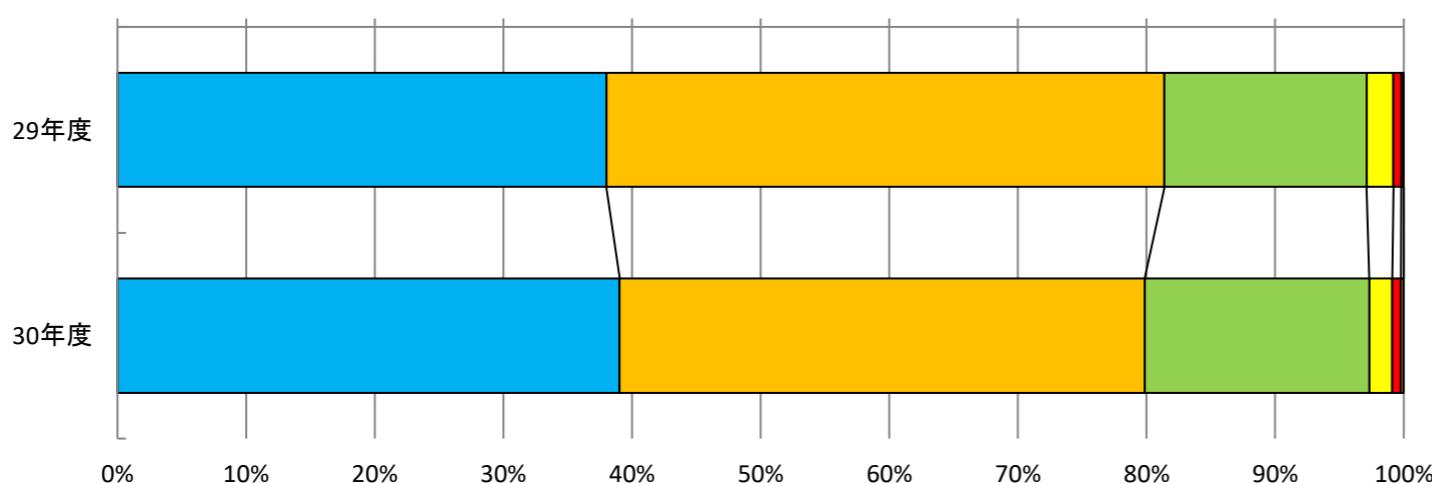
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。

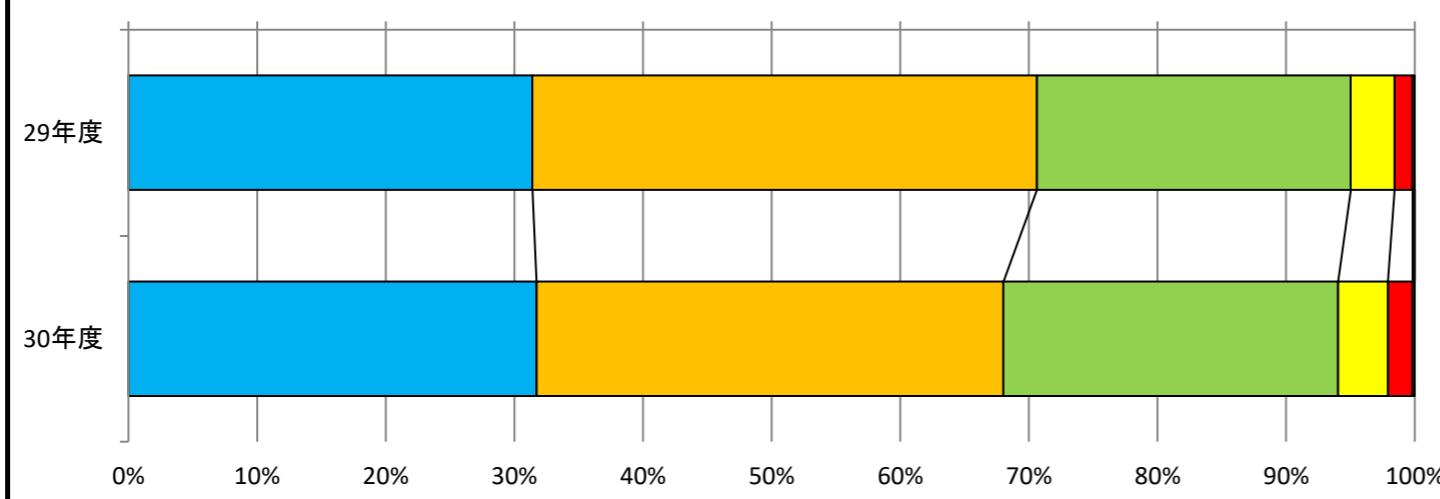


「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))

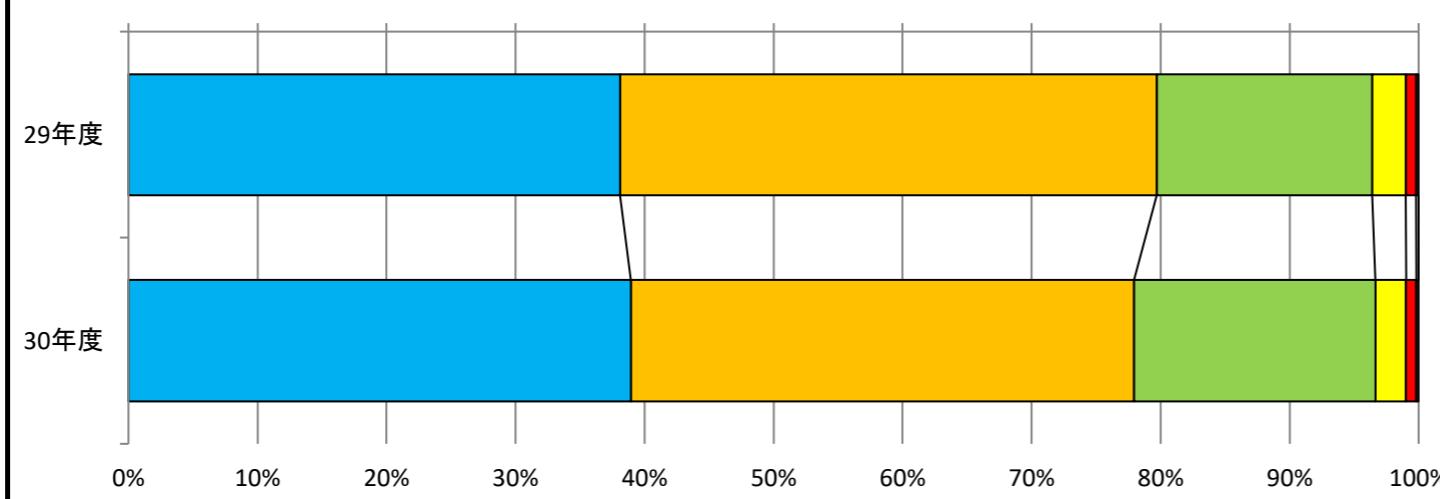


III 教員の考え方・姿勢について

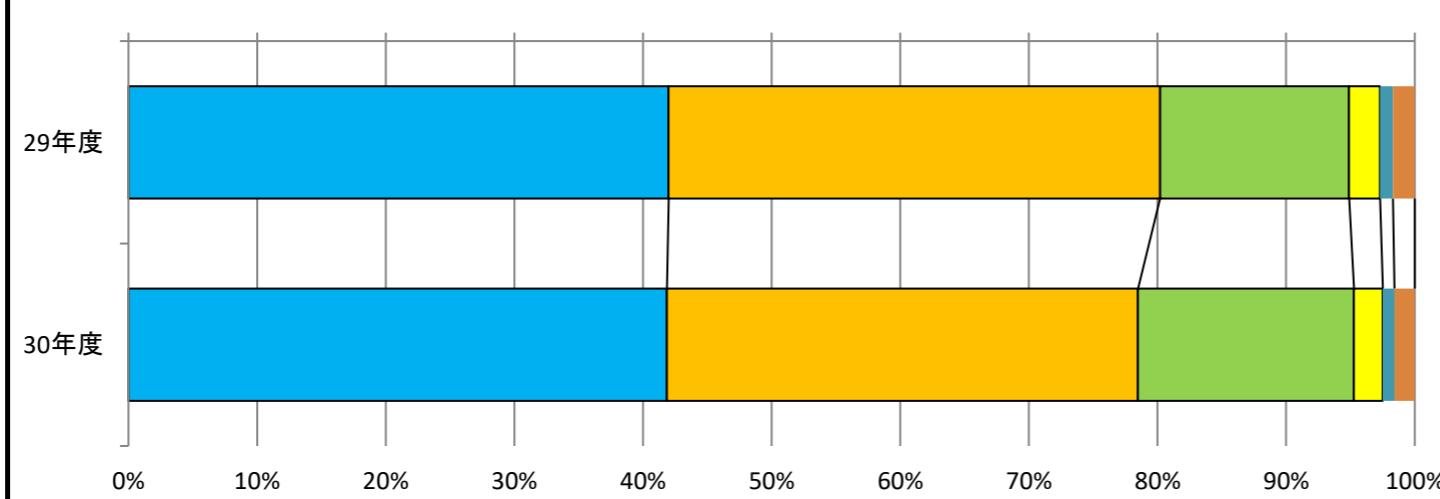
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



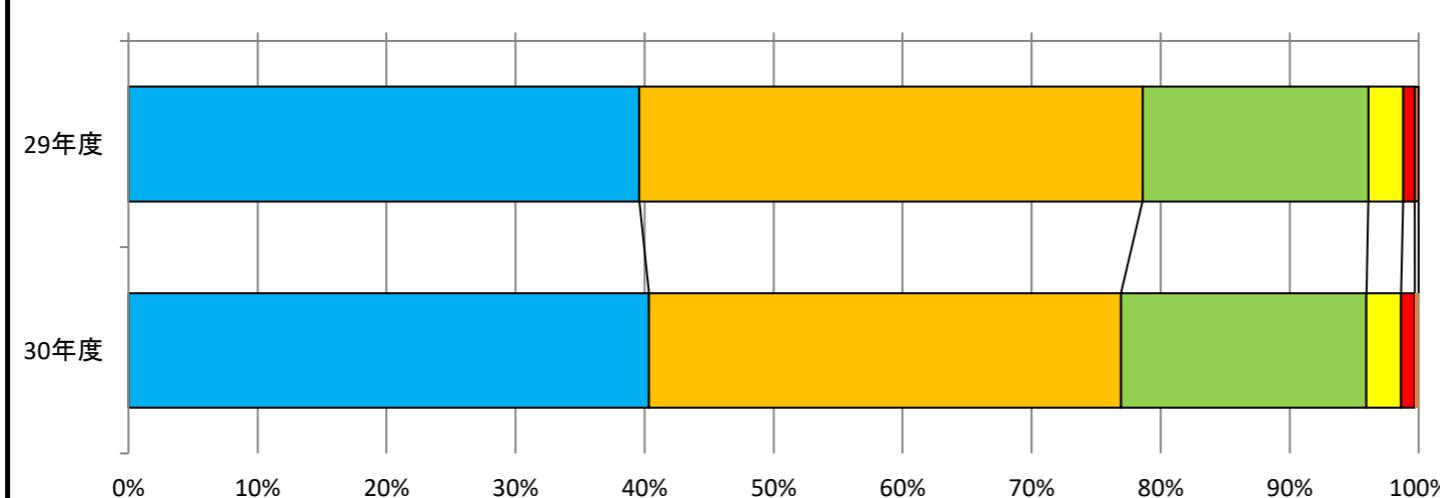
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



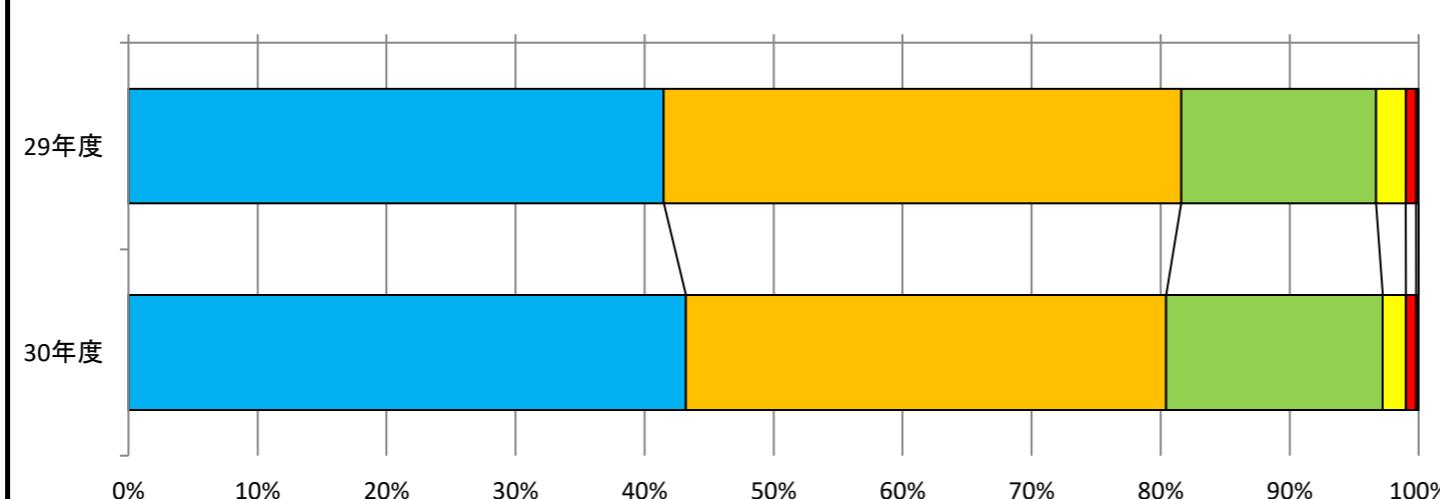
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



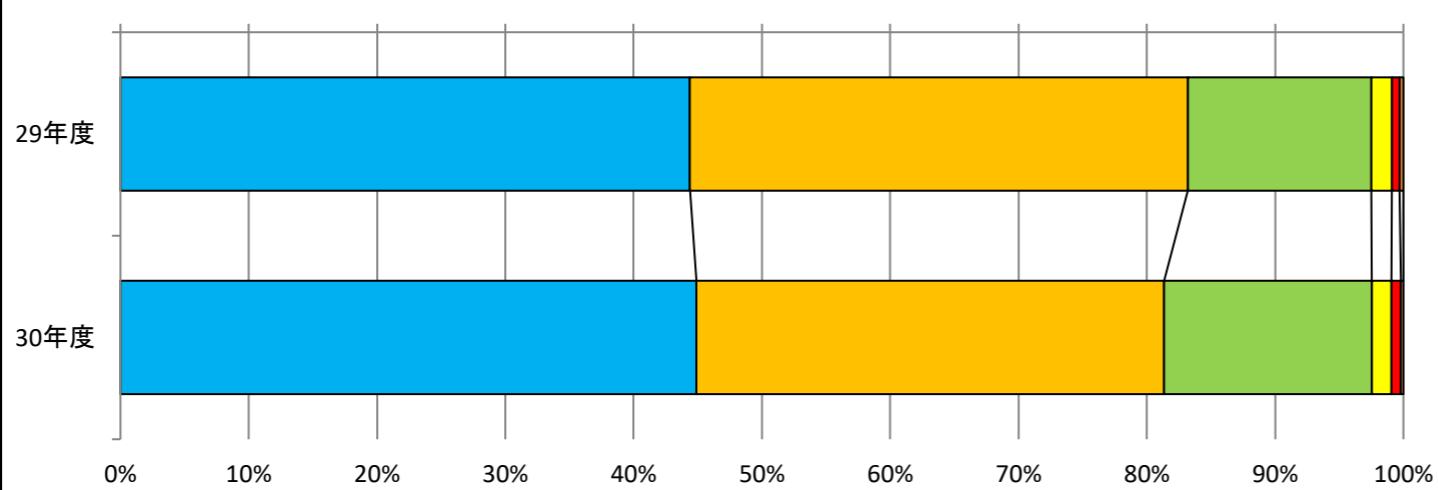
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



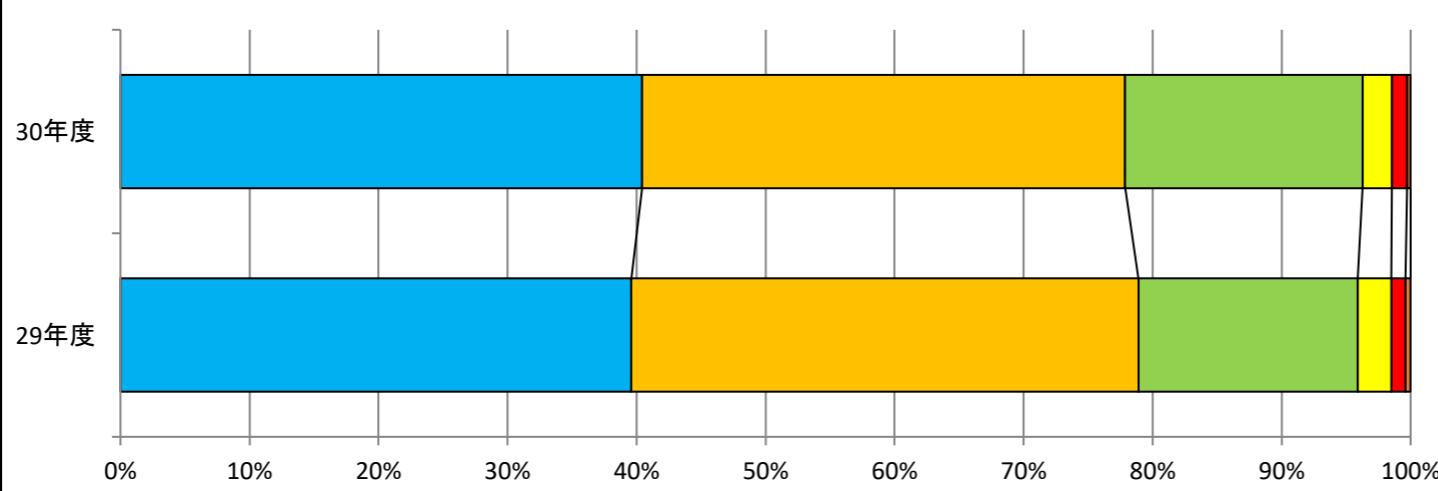
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



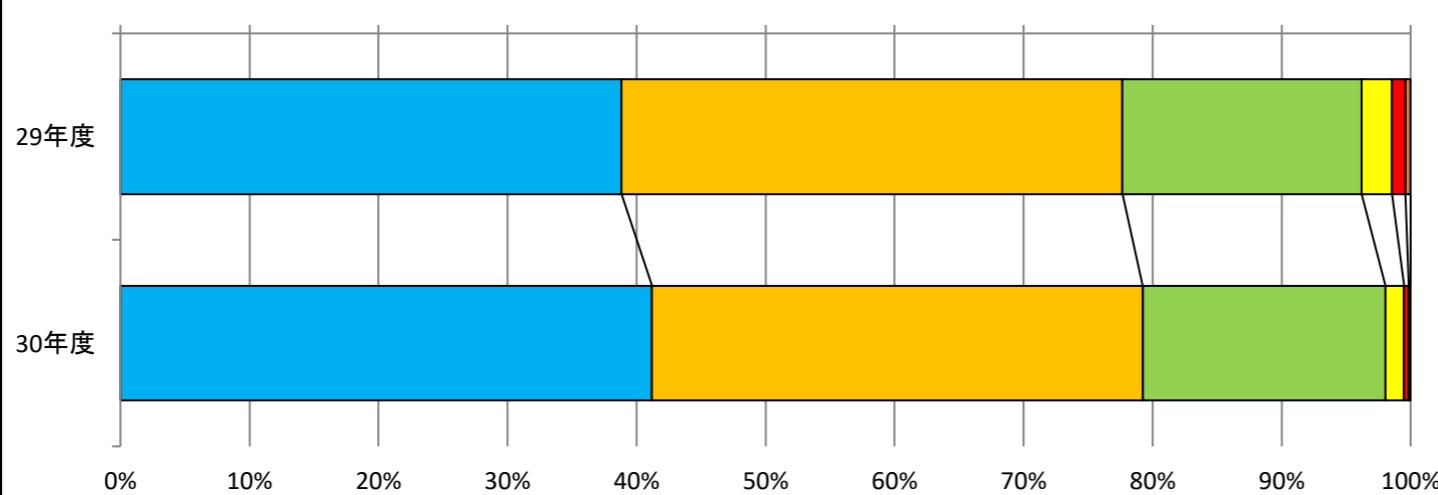
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。

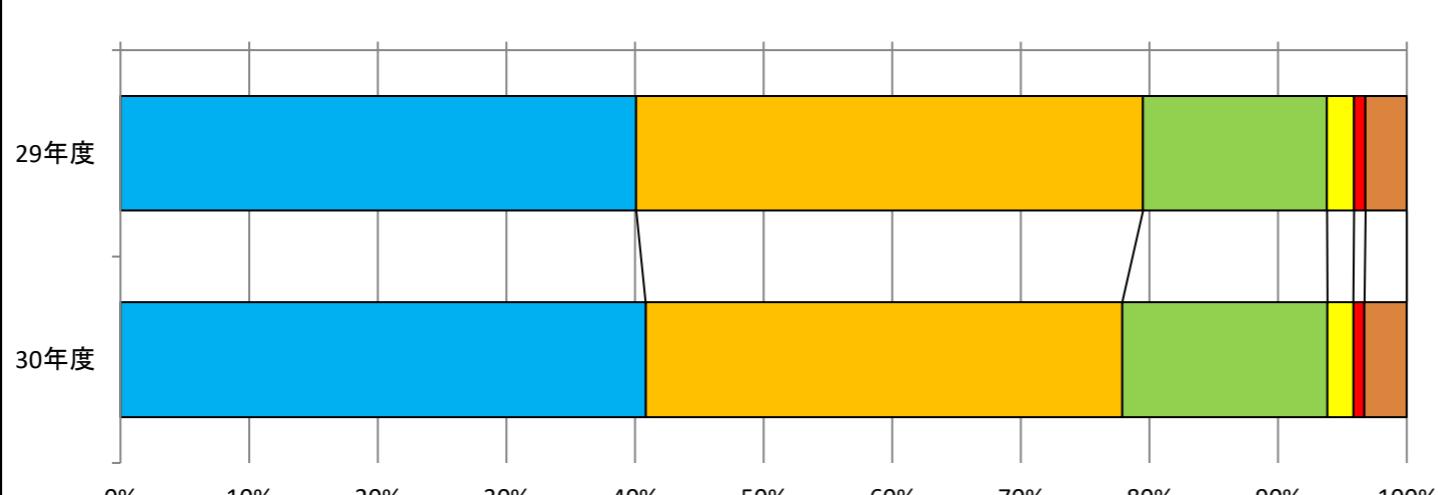


「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))

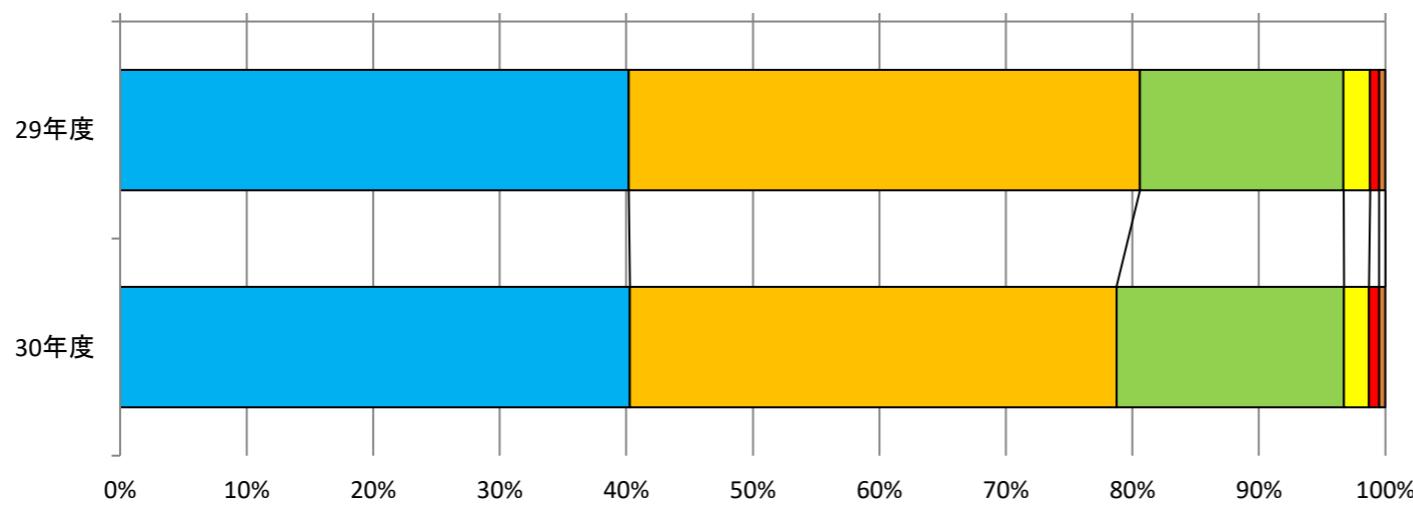


IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



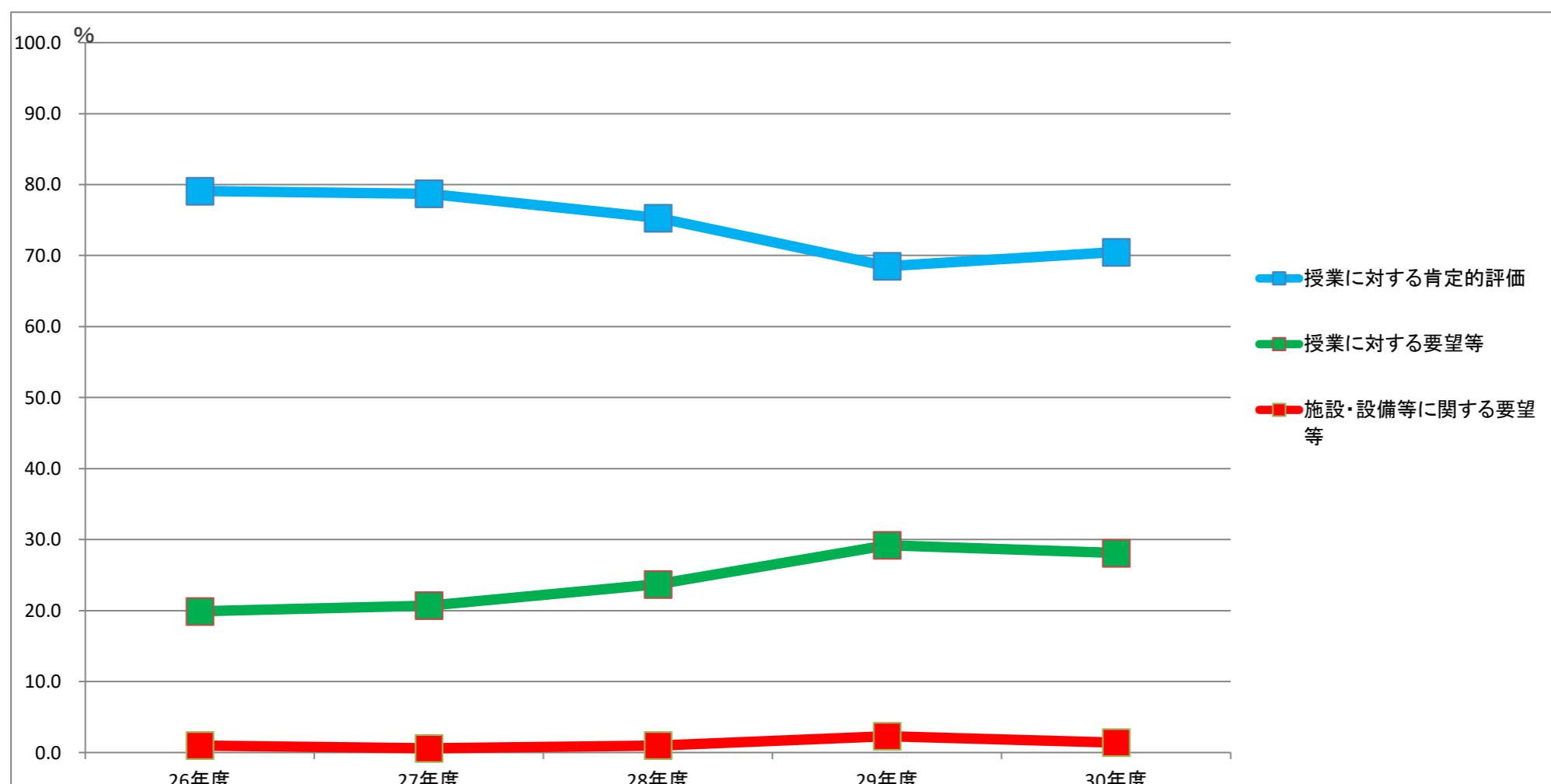
全質問項目の平均



◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
授業に対する肯定的評価	(79.1%) 743	(78.7%) 373	(75.3%) 492	(68.5%) 268	(70.5%) 246
授業に対する要望等	(19.9%) 187	(20.7%) 98	(23.7%) 155	(29.2%) 114	(28.1%) 98
施設・設備等に関する要望等	(1.0%) 9	(0.6%) 3	(1.0%) 6	(2.3%) 9	(1.4%) 5
総件数	(100.0%) 939	(100.0%) 474	(100.0%) 653	(100.0%) 391	(100.0%) 349

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	246	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、新しいことを勉強しようと思える授業だった。 ・間に5分ほどの休けいがあって良かった。 ・私には少し難しい内容でしたが将来目指すにあたってとても参考になった。 ・大切なところを強調してくれるので分かりやすい。 ・新しい知識を楽しく覚えていくことができた。
授業に対する要望等	98	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメが欲しかったです。 ・発表資料があった方がみやすく、理解しやすいと思います。 ・GWの時間をもう少しあってほしかったです。 ・講義資料を印刷してほしいと思いました。
施設・設備等に関する要望等	5	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントが光って、ほぼ何も見えていなかった。 ・この椅子で講義を受けると、腰痛がひどくなってしまったので、改善してほしいです。
計	349	

平成30年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○講義・演習科目数 168科目

○調査対象者数 15,985人(延人数)

○総回答数 14,788枚(回答率 92.5%)

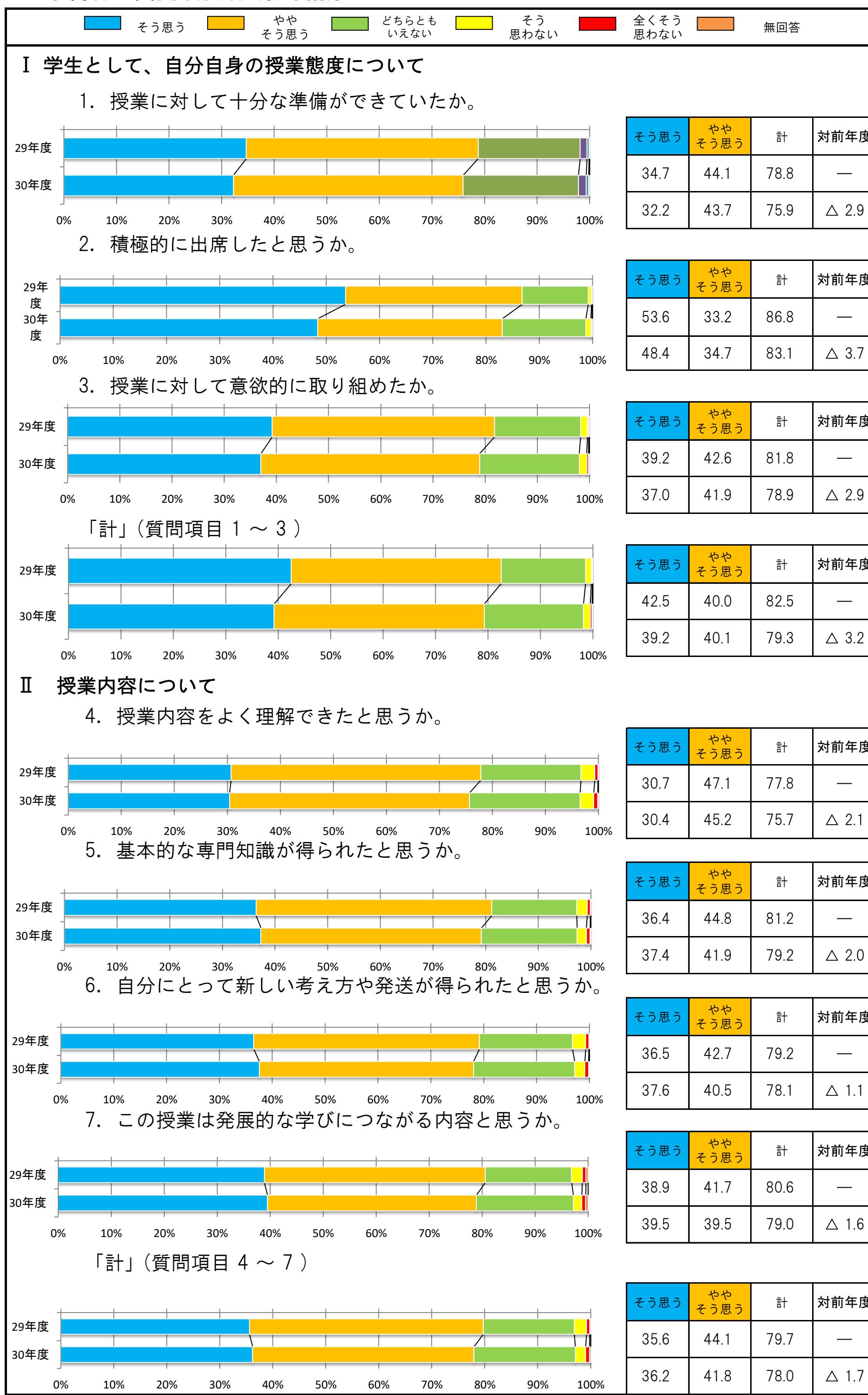
◆ 質問項目別集計結果

	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	(34.7) 32.2	(44.1) 43.7	(19.4) 21.9	(1.3) 1.5	(0.4) 0.5	(0.1) 0.2	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(53.6) 48.4	(33.2) 34.7	(12.4) 15.7	(0.6) 0.9	(0.1) 0.2	(0.1) 0.1	(100) 100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	(39.2) 37.0	(42.6) 41.9	(16.5) 19.1	(1.3) 1.4	(0.2) 0.4	(0.2) 0.2	(100) 100
計	(42.5) 39.2	(40.0) 40.1	(16.1) 18.9	(1.1) 1.3	(0.2) 0.3	(0.1) 0.2	(100) 100
II 授業内容について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	(30.7) 30.4	(47.1) 45.2	(18.9) 20.9	(2.6) 2.6	(0.6) 0.8	(0.1) 0.1	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(36.4) 37.4	(44.8) 41.9	(16.1) 18.2	(2.0) 1.7	(0.6) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(36.5) 37.6	(42.7) 40.5	(17.6) 19.1	(2.5) 1.9	(0.6) 0.7	(0.1) 0.2	(100) 100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(38.9) 39.5	(41.7) 39.5	(16.3) 18.3	(2.0) 1.6	(0.7) 0.7	(0.4) 0.4	(100) 100
計	(35.6) 36.2	(44.1) 41.8	(17.2) 19.1	(2.3) 2.0	(0.6) 0.7	(0.2) 0.2	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(30.3) 30.2	(39.2) 36.4	(25.5) 27.2	(3.5) 4.0	(1.3) 2.0	(0.2) 0.2	(100) 100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(36.3) 36.7	(42.1) 39.8	(18.0) 20.0	(2.7) 2.5	(0.7) 0.8	(0.2) 0.2	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(40.4) 39.9	(38.6) 37.1	(15.8) 17.9	(2.4) 2.4	(0.9) 0.9	(1.9) 1.8	(100) 100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	(33.8) 32.1	(40.6) 37.1	(18.1) 22.2	(2.8) 3.0	(1.2) 1.3	(3.5) 4.3	(100) 100
11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	(39.9) 38.8	(39.4) 38.4	(16.0) 17.6	(2.7) 2.8	(0.9) 1.0	(1.1) 1.4	(100) 100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(37.6) 38.0	(39.5) 37.2	(19.0) 20.6	(2.8) 2.8	(0.8) 1.1	(0.3) 0.3	(100) 100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	(39.9) 41.5	(40.8) 37.8	(16.1) 17.9	(2.3) 1.8	(0.7) 0.8	(0.2) 0.2	(100) 100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	(42.9) 43.1	(39.5) 37.2	(15.1) 17.2	(1.6) 1.6	(0.6) 0.7	(0.3) 0.2	(100) 100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	(37.8) 38.2	(39.8) 38.1	(18.2) 19.9	(2.7) 2.3	(1.1) 1.2	(0.4) 0.3	(100) 100
計	(37.6) 37.6	(40.0) 37.7	(18.0) 20.0	(2.6) 2.6	(0.9) 1.1	(0.9) 1.0	(100) 100
IV 総合評価	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	(38.1) 38.5	(40.0) 38.0	(15.5) 17.1	(2.1) 2.1	(0.9) 0.9	(3.4) 3.4	(100) 100
全質問項目の平均	(38.1) 37.6	(40.9) 39.1	(17.4) 19.4	(2.2) 2.2	(0.7) 0.9	(0.7) 0.8	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

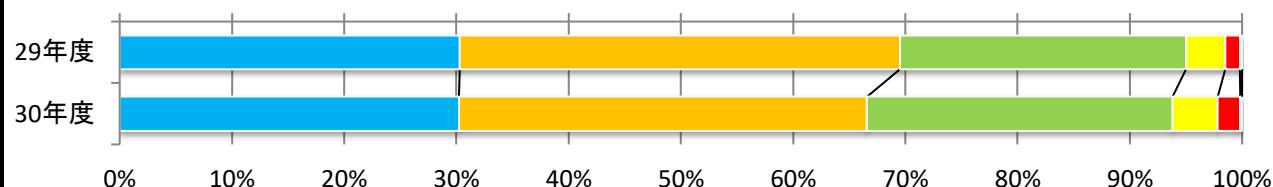
	29年度	30年度
全科目数	184科目	168科目
調査対象者数	17,367人	15,985人
総回答数（回答率）	15,103枚 (87.0%)	14,788枚 (92.5%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



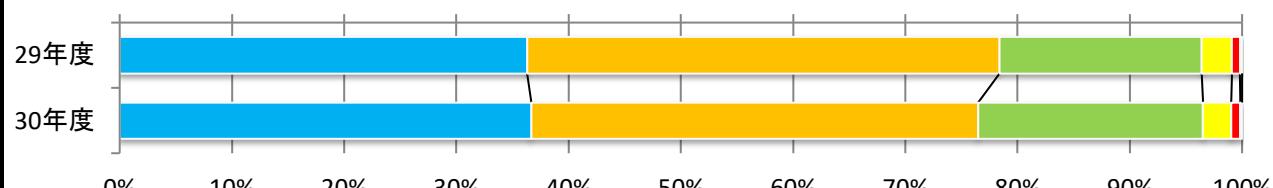
III 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
30.3	39.2	69.5	—
30.2	36.4	66.6	△ 2.9

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



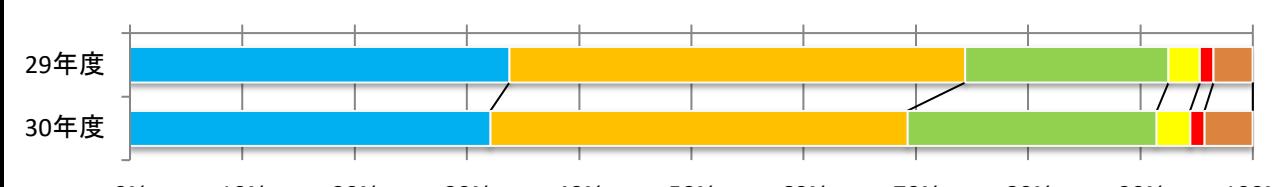
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
36.3	42.1	78.4	—
36.7	39.8	76.5	△ 1.9

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



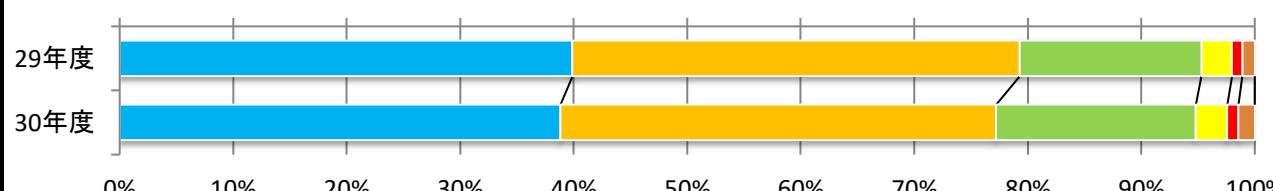
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.4	38.6	79.0	—
39.9	37.1	77.0	△ 2.0

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



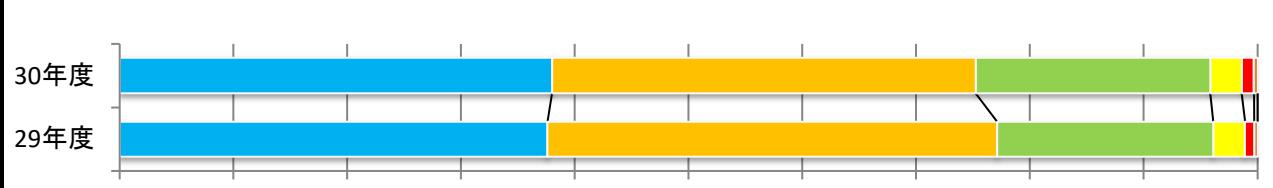
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
33.8	40.6	74.4	—
32.1	37.1	69.2	△ 5.2

11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



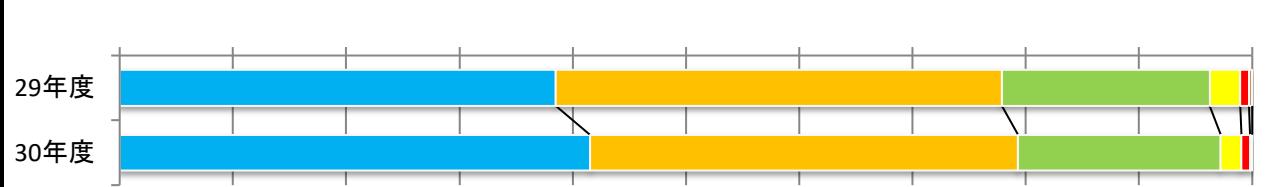
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.9	39.4	79.3	—
38.8	38.4	77.2	△ 2.1

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



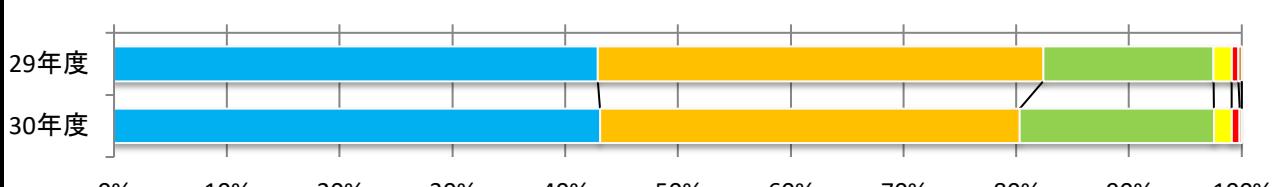
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.6	39.5	77.1	—
38.0	37.2	75.2	△ 1.9

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



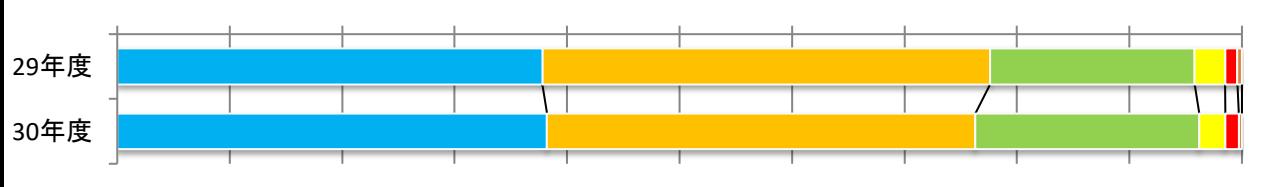
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.9	40.8	80.7	—
41.5	37.8	79.3	△ 1.4

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
42.9	39.5	82.4	—
43.1	37.2	80.3	△ 2.1

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.8	39.8	77.6	—
38.2	38.1	76.3	△ 1.3

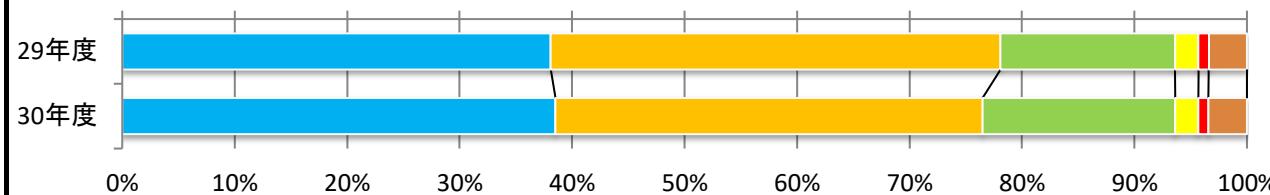
「計」（質問項目 8 ~ 15)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
37.6	40.0	77.6	—
37.6	37.7	75.3	△ 2.3

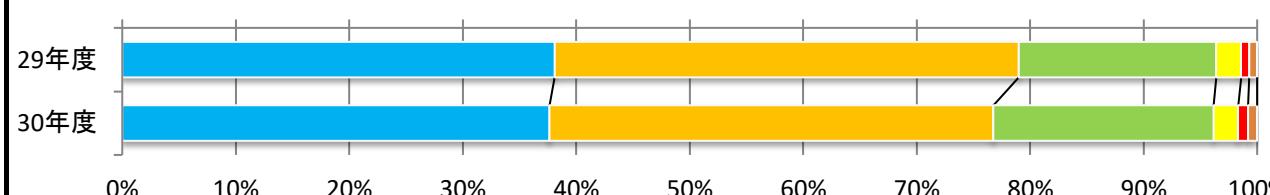
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	40.0	78.1	—
38.5	38.0	76.5	△ 1.6

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
38.1	40.9	79.0	—
37.6	39.1	76.7	△ 2.3

◆ VI この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 429】

主な科目名	件数	主な内容
ヘルスアセスメント 【1年次前期：災害看護学コース】	8	<ul style="list-style-type: none"> ・専門知識が身に付けられた ・バイタルサインについて一通り理解できました。
小児看護学概論 【2年次後期：災害看護学コース】	5	<ul style="list-style-type: none"> ・先生の体験談も多く聞けて、楽しくわかりやすい授業でした。 ・先生の経験や、関連した話を聞いておもしろかったのと、参考になるもので非常に良かったと思います。
自然科学の基礎 【1年次前期：臨床看護学コース】	19	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な知識を得られたのが良かったです。 ・物理基礎しか学んでこなかったので、理解が深まったし、看護と大きく関わっていることが知れてよかったです。
障害者看護論 【3年次前期：臨床看護学コース】	7	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的にていねいで分かりやすかったです。 ・先生たちがとても優しく課題やテストを配慮してくれる。

◆ VII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 198】

主な科目名	件数	主な内容
看護理論 【2年次後期：災害看護学コース】	3	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり最後のGWの時間が短すぎて、自分たちでもあまり深めた満足したものにできなかつた気がする。 ・他の領域のGワークがあったためとても多忙でした。課題をやる期間をもう少しほしいです。
卒業研究 【4年次後期：災害看護学コース】	3	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回講義の内容が似ていたので、その講義での新しい学びがわかりにくかったです。 ・グループワークの内容は個人で行う方が良かったと思う。
看護倫理 【1年次後期：臨床看護学コース】	3	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の進め方を改善するべきである。 ・淡々としすぎて、抑揚がない。
小児看護実践論 【3年次前期：臨床看護学コース】	5	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を印刷させるのは本当に勘弁して欲しい。 ・レジュメは先生から配って頂きたいです。生徒たちで印刷すると、プリンターがパンクしてしまいます。

平成30年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部

○実習・実験科目数 27科目

○調査対象者数 2,809人(延人数)

○総回答数 2,397枚(回答率 85.3%)

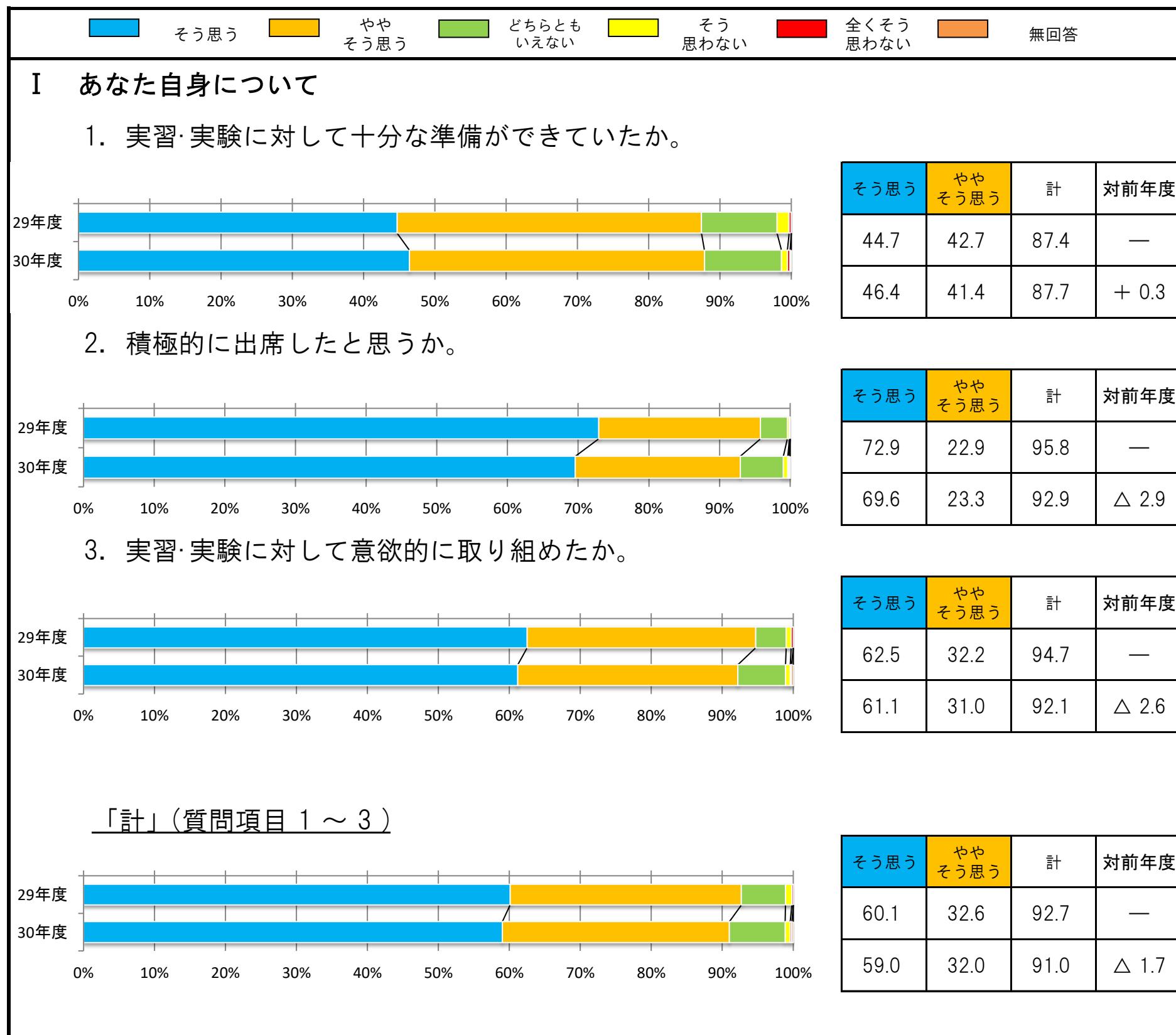
◆ 質問項目別集計結果

質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	(44.7) 46.4	(42.7) 41.4	(10.6) 10.8	(1.7) 0.8	(0.3) 0.4	(0.0) 0.2	(100) 100
2. 積極的に出席したと思うか。	(72.9) 69.6	(22.9) 23.3	(3.8) 6.1	(0.3) 0.6	(0.1) 0.2	(0.0) 0.2	(100) 100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	(62.5) 61.1	(32.2) 31.0	(4.3) 6.7	(0.7) 0.7	(0.3) 0.2	(0.0) 0.3	(100) 100
計	(60.1) 59.0	(32.6) 32.0	(6.2) 7.9	(0.9) 0.7	(0.2) 0.2	(0.0) 0.2	(100) 100
II 実習・実験内容について							
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	(49.0) 51.5	(43.6) 38.9	(6.2) 8.4	(0.8) 0.8	(0.4) 0.3	(0.0) 0.1	(100) 100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	(53.1) 55.4	(39.8) 35.2	(5.9) 8.3	(0.7) 0.8	(0.5) 0.2	(0.0) 0.1	(100) 100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	(57.4) 58.2	(36.1) 33.2	(5.2) 7.3	(0.6) 0.7	(0.6) 0.4	(0.1) 0.2	(100) 100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	(59.5) 59.9	(34.1) 31.5	(4.5) 7.2	(0.8) 0.7	(0.7) 0.3	(0.4) 0.4	(100) 100
計	(54.7) 56.3	(38.4) 34.7	(5.4) 7.8	(0.7) 0.7	(0.6) 0.3	(0.2) 0.2	(100) 100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	(39.0) 40.9	(38.8) 36.0	(17.4) 18.6	(2.7) 2.9	(2.0) 1.4	(0.1) 0.2	(100) 100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	(51.1) 52.7	(37.7) 33.8	(7.9) 10.9	(1.8) 1.7	(1.4) 0.6	(0.1) 0.3	(100) 100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	(53.5) 54.2	(35.4) 33.9	(7.8) 10.1	(2.1) 1.0	(1.1) 0.7	(0.1) 0.1	(100) 100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	(53.8) 54.8	(34.9) 32.7	(7.2) 9.2	(2.5) 2.2	(1.5) 0.9	(0.1) 0.2	(100) 100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	(53.1) 53.7	(35.2) 33.9	(7.7) 9.6	(2.5) 1.6	(1.3) 1.0	(0.2) 0.2	(100) 100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	(55.7) 56.2	(33.8) 32.0	(7.5) 9.3	(1.7) 1.3	(1.2) 0.9	(0.1) 0.3	(100) 100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	(52.7) 54.1	(35.6) 33.5	(7.9) 9.1	(2.0) 2.0	(1.5) 1.0	(0.3) 0.3	(100) 100
計	(51.3) 52.4	(35.9) 33.7	(9.0) 11.0	(2.2) 1.8	(1.4) 0.9	(0.2) 0.2	(100) 100
IV 総合評価							
15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	(54.6) 55.0	(34.6) 31.5	(6.6) 8.7	(1.5) 1.6	(0.9) 0.8	(1.8) 2.4	(100) 100
全質問項目の平均	(54.2) 54.9	(35.8) 33.4	(7.4) 9.4	(1.5) 1.3	(0.9) 0.6	(0.2) 0.4	(100) 100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

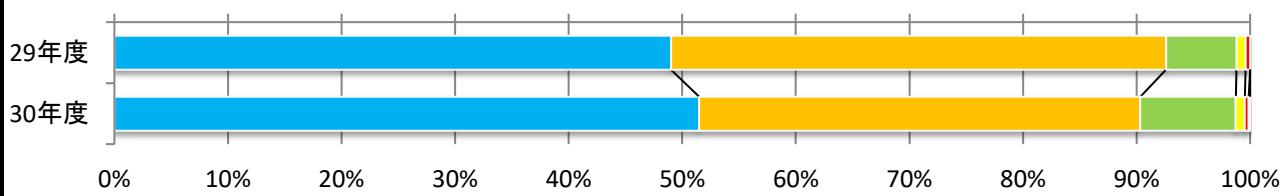
	29年度	30年度
全科目数	27科目	27科目
調査対象者数	2,638人	2,809人
総回答数（回答率）	2,077枚 (78.7%)	2,397枚 (85.3%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



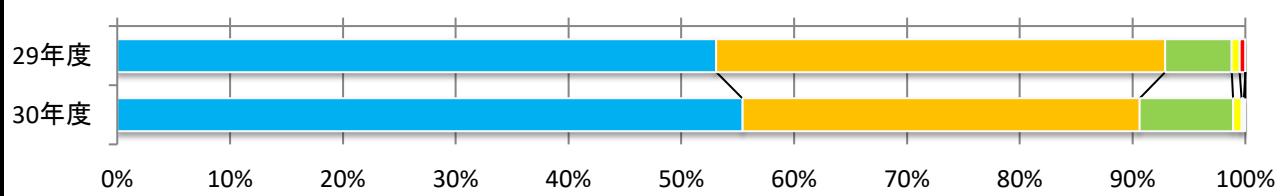
II 実習・実験内容について

4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



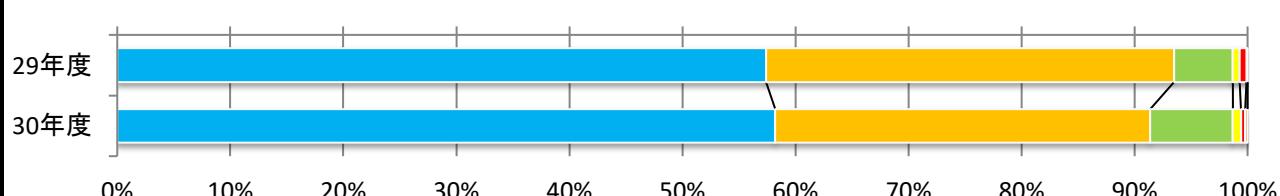
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
49.0	43.6	92.6	—
51.5	38.9	90.3	△ 2.3

5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



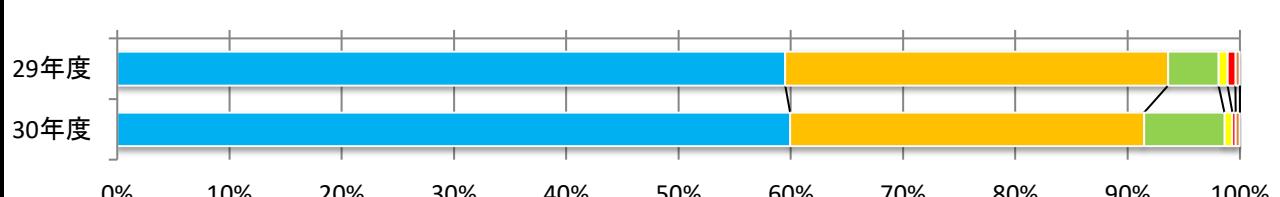
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
53.1	39.8	92.9	—
55.4	35.2	90.6	△ 2.3

6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



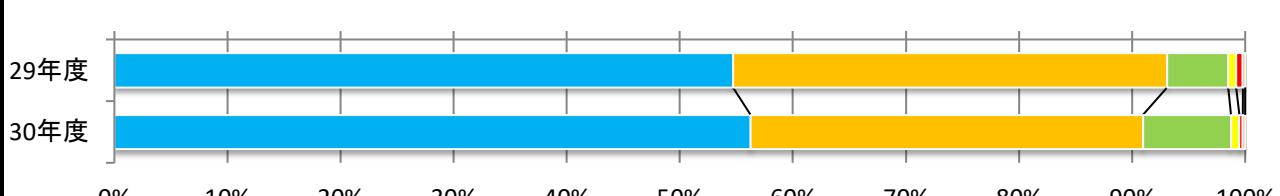
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
57.4	36.1	93.5	—
58.2	33.2	91.3	△ 2.2

7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
59.5	34.1	93.6	—
59.9	31.5	91.5	△ 2.1

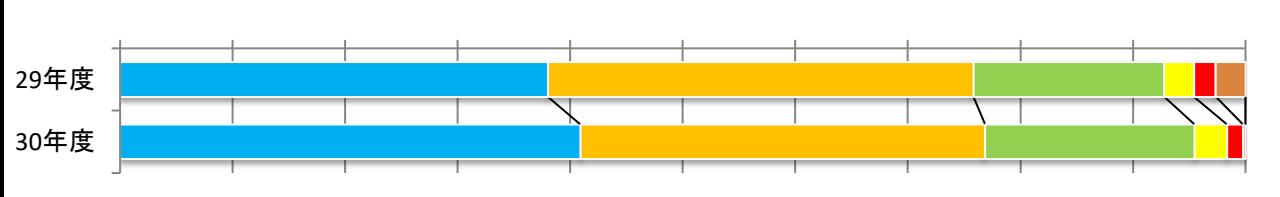
「計」(質問項目 4 ~ 7)



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
54.7	38.4	93.1	—
56.3	34.7	90.9	△ 2.2

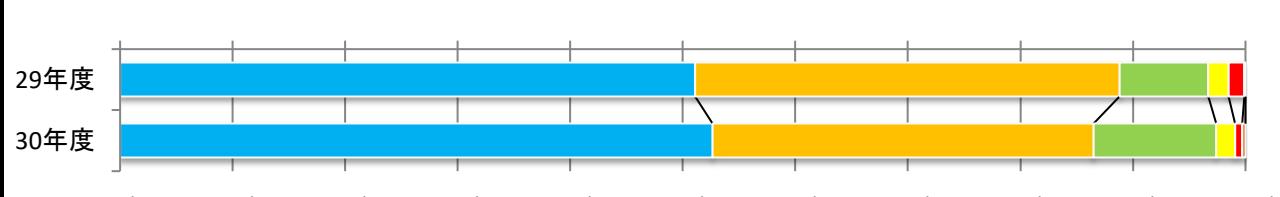
III 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



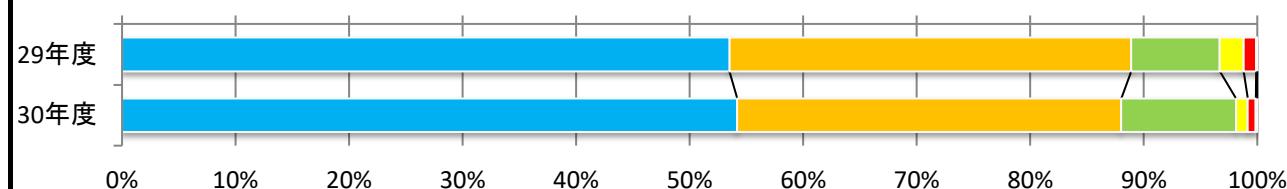
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.0	38.8	77.8	—
40.9	36.0	76.9	△ 0.9

9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



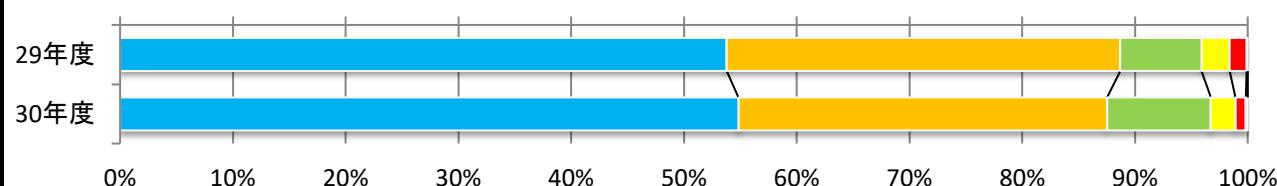
そう思う	ややそう思う	計	対前年度
51.1	37.7	88.8	—
52.7	33.8	86.5	△ 2.3

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



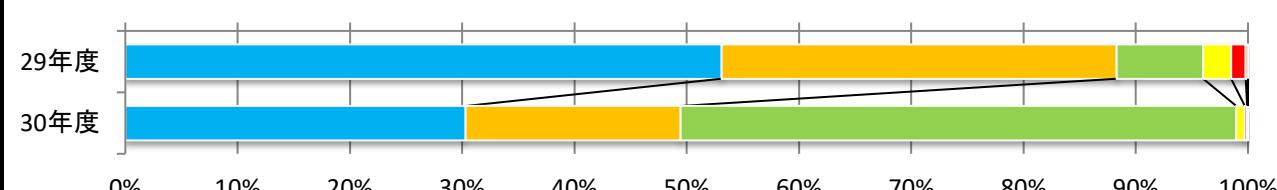
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.5	35.4	88.9	—
54.2	33.9	88.1	△ 0.8

11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



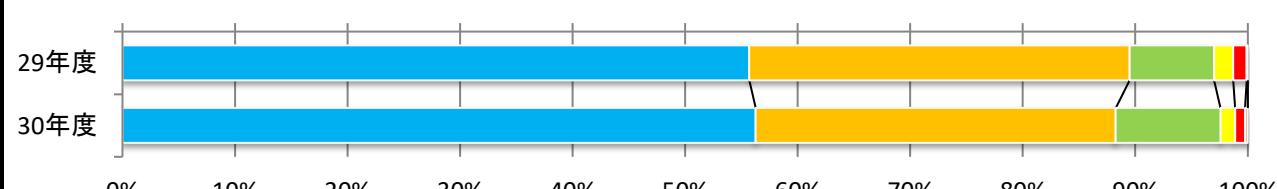
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.8	34.9	88.7	—
54.8	32.7	87.5	△ 1.2

12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



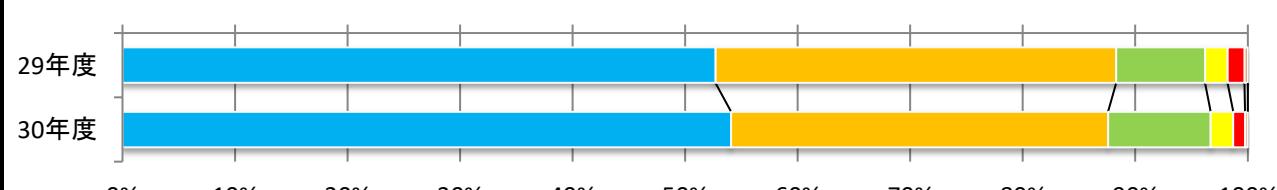
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
53.1	35.2	88.3	—
53.7	33.9	87.6	△ 0.7

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



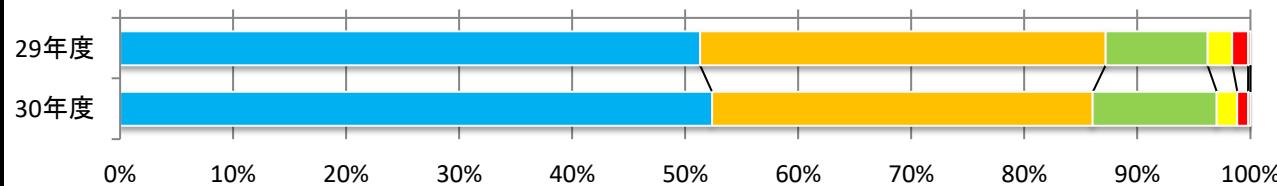
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
55.7	33.8	89.5	—
56.2	32.0	88.2	△ 1.3

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
52.7	35.6	88.3	—
54.1	33.5	87.6	△ 0.7

「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
51.3	35.9	87.2	—
52.4	33.7	86.0	△ 1.2

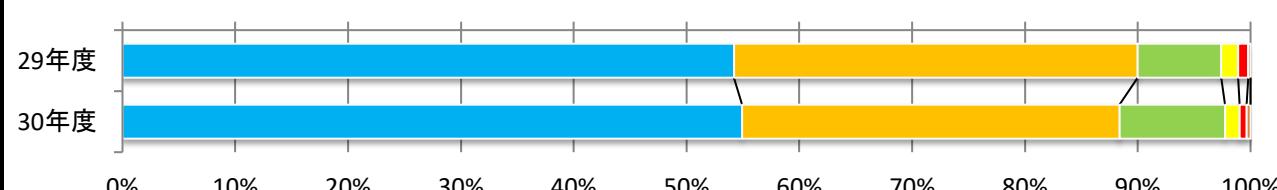
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.6	34.6	89.2	—
55.0	31.5	86.4	△ 2.8

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
54.2	35.8	90.0	—
54.9	33.4	88.4	△ 1.6

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。【総数 63】

主な科目名	件数	主な内容
看護学体験実習 【1年次前期：臨床看護学コース】	15	<ul style="list-style-type: none"> ・将来にむけての自覚が持てたのでよかったです ・患者と話す看護師の対応を間近で見れてよかったです。 ・これからどう学習を進めていけば良いのか、具体的な目標をつくることができた。
老年看護学実習 I 【2年次後期：災害看護学コース】	11	<ul style="list-style-type: none"> ・病院以外の他施設で学習ができるよかったです。目標とする看護師さんに出会えた。 ・施設がみられたこと。知識が深まった。 ・たくさんのコミュニケーションがとれた。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 79】

主な科目名	件数	主な内容
老年看護学実習 II 【3年次後期：臨床看護学コース】	3	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣の方の取り方を考えていただきたい ・事前課題の必要性をあまり感じなかった
看護過程展開実習 【2年次前期：災害看護学コース】	17	<ul style="list-style-type: none"> ・教員によって、課題に差がある所は改善すべきではないか。 ・インシデントのフィードバックをして、学生全体で共有すべきだと思う。

平成 30 年度 千葉看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・千葉看護学部学部長
宮本 千津子

1. 授業評価の結果について

- 授業評価結果の総合評価をみると 4.2 点と、ややそう思う(4 点)からそう思う(5 点)の間に位置しており、評価としては概ね良好といえると考えます。また、質問内容別では、授業に積極的に出席したと思うが 4.4 点と最も高く、次いで教員が授業に熱意をもって取り組んでいたかが 4.3 点となっており、学生・教員ともに前向きで真剣に授業に取り組んだことがわかりました。
- 総合評価の高かった科目には、選択科目が多く少人数授業において教員と親しく交流しながら、関心に応じた学修ができていたことがうかがわれました。
- 一方、最も低かったのは、シラバスは学修する上で役に立ったと思うかの 3.9 点であり、シラバスの内容と活用方法について、工夫の余地のあることがわかりました。また、板書やパワーポイントがわかりやすかったかもそれぞれ 4.0 点と評価が低く、学生の学修をより支援するものとするため検討が必要と考えます。
- 次に、総合評価が全科目的平均点以下であった科目について、科目ごとの点数を平均と比較してみると、①授業に積極的に出席できなかつたという科目については、授業内容がよく理解できなかつた、および、パワーポイント等の資料がわかりにくかつたと評価される傾向が見受けられました。
この中には、選択科目で、内容に関心があつたため選択したと回答されているものもありました。②また総合評価が低い科目の多くが、学生の理解度を確認しながら授業を行っているかの回答において、全科目平均より特に低くなっています。これらのことからは、授業の難易度が学生の学修状況に適していなかつたことが示唆されると考えます。一方、これらの科目の中には、教員からの評価として、授業中の私語が多いこと、説明したにも関わらず自由記載欄に改善すべき点として指摘されていることが記されており、学生の授業に出席する態度に関する課題も少なくないことも示されたと考えます。

2. 授業において工夫した点について

- いずれの科目でも、学生が身近に感じられる話題を用いたり、アクティブラーニングを取り入れるなど、高度な概念や知識を理解しやすくするための授業準備がされていました。加えて、知識を理論的な背景とともに解説し、単なる暗記ではない深い理解を促す工夫もされていました。
- また、時々にテスト形式のワークを行うなど、学生の理解度を確認しながら授業を進めていく努力もされていました。

3. 今後の授業への生かし方について

- 評価の高い内容については継続するとともに、評価の低い内容、たとえば資料がわかりにくい・多すぎる、教員の声が聞き取りにくい、等については、環境改善も含めて、具体的な改善につなげる必要があると考えます。
- 学生の私語については、ガイダンス等を通して学修に必要な態度について機会を設けて伝え、教員と学生とが協働して授業を作り上げるという考え方で、

進行していくようにしていきたいと考えます。

4. その他

- 開設直後でしたが、学生、教員ともに熱意をもって授業に取り組んだことが結果となって表れたと考えます。一方、慣れない環境で準備不足となった点は否めず、今回の評価を生かし、導入のためのガイダンスや授業途中での確認・調整も含め、改善を図っていきたいと考えます。また、非常勤講師との連携も課題とし、取り組んでいきたいと考えています。

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 千葉看護学部

○全科目数 44科目 ○調査対象者数 3134人（延人数）
 ○総回答数 3038枚（回答率 96.9%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

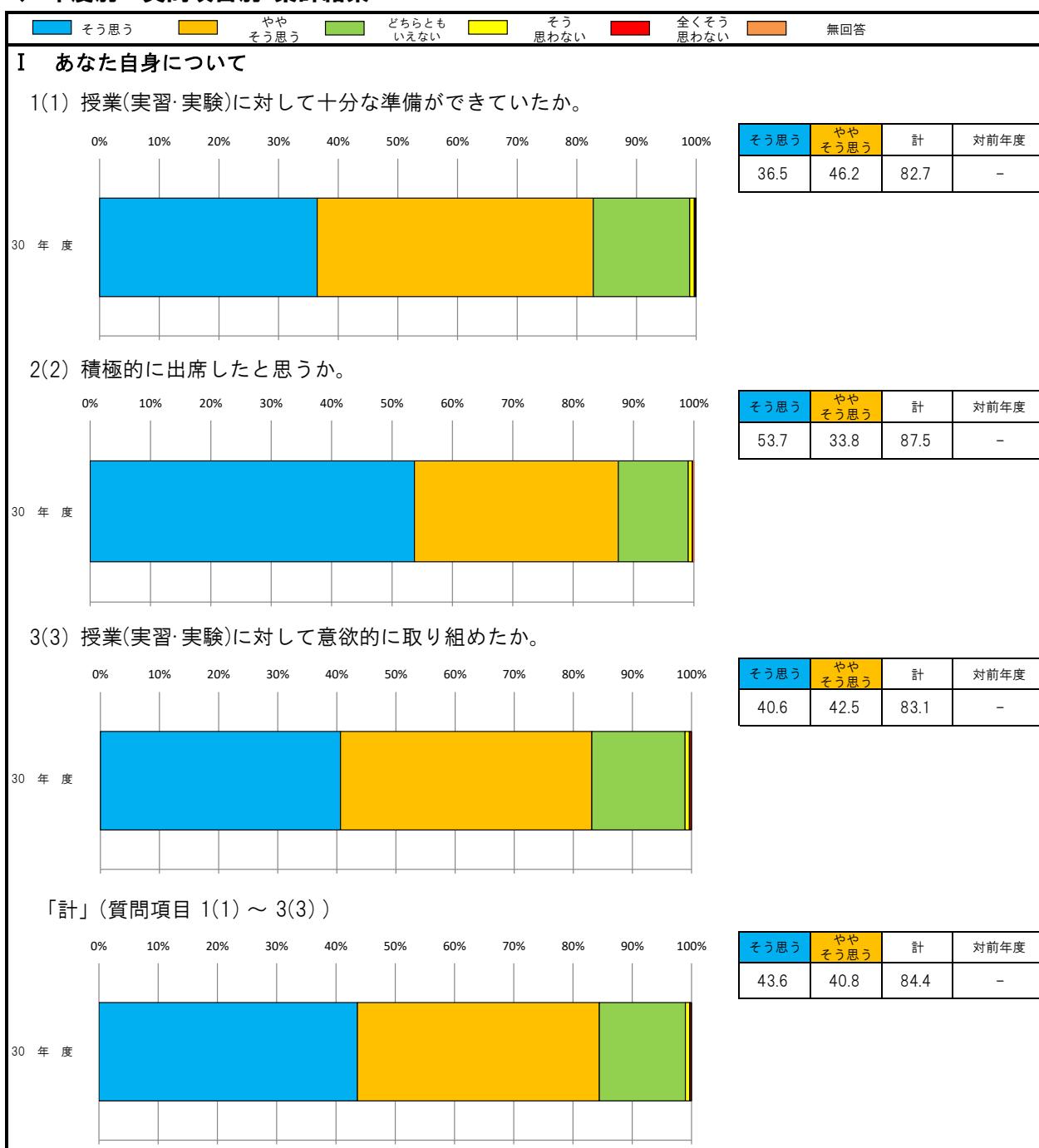
質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	36.5	46.2	16.2	0.8	0.2	0.1	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	53.7	33.8	11.6	0.7	0.2	0.0	100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	40.6	42.5	15.8	0.7	0.3	0.1	100
計	43.6	40.8	14.5	0.7	0.3	0.1	100
II 授業内容について							
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	31.9	44.7	19.4	3.1	0.8	0.1	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	40.0	41.4	15.6	2.4	0.5	0.1	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	38.2	41.1	17.3	2.7	0.6	0.1	100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容 と思うか。	41.3	40.2	15.2	2.3	0.8	0.2	100
計	37.9	41.8	16.9	2.6	0.7	0.1	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	27.0	39.4	28.9	3.4	1.0	0.3	100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境（静かな環境等） が保たれていたと思うか。	34.9	37.6	20.8	5.2	1.2	0.3	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思う か。	43.8	34.6	14.8	2.5	1.0	3.3	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮し たと思うか。	37.5	37.2	20.2	3.9	0.8	0.4	100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用し たと思うか。	44.2	36.5	15.5	2.6	1.1	0.1	100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでい たと思うか。	49.4	34.7	13.8	1.7	0.2	0.2	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験) を行ったと思うか。	39.3	37.7	18.1	3.3	1.4	0.2	100
計	39.4	36.8	18.9	3.2	1.0	0.7	100
IV 総合評価							
16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	39.7	39.3	15.0	2.8	1.2	2.0	100
全質問項目の平均	39.9	39.1	17.2	2.5	0.8	0.5	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

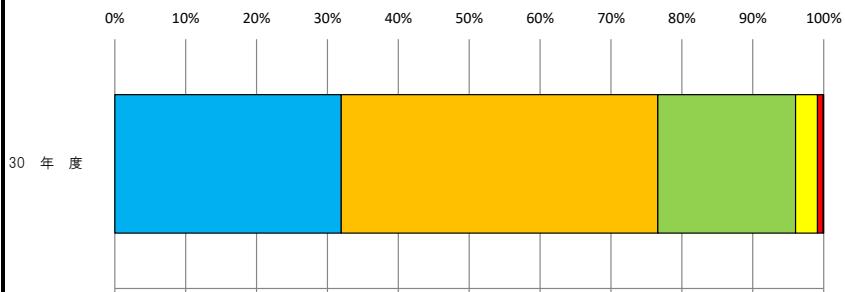
	30年度
全科目数	44科目
調査対象者数	3134人
総回答数(回答率)	3038枚 (96.9%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

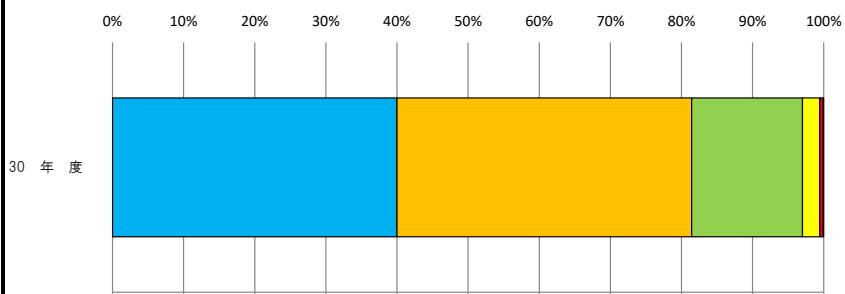


II 授業内容について

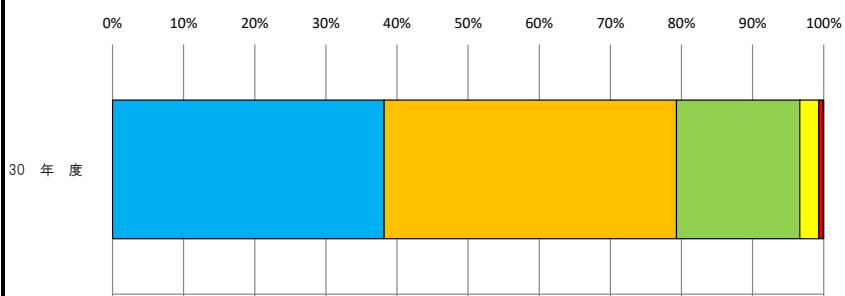
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



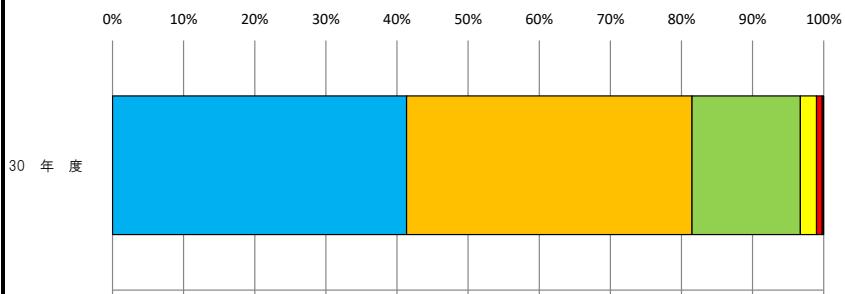
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



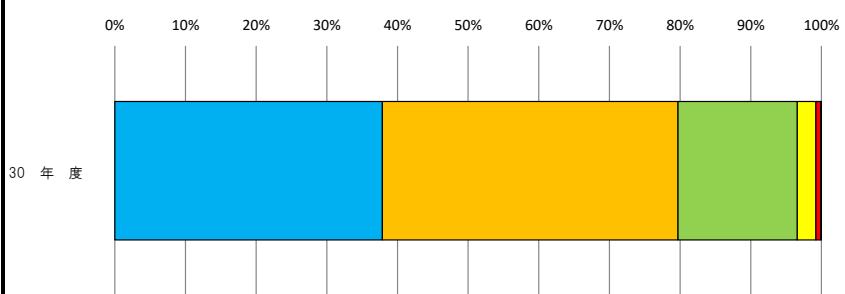
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。

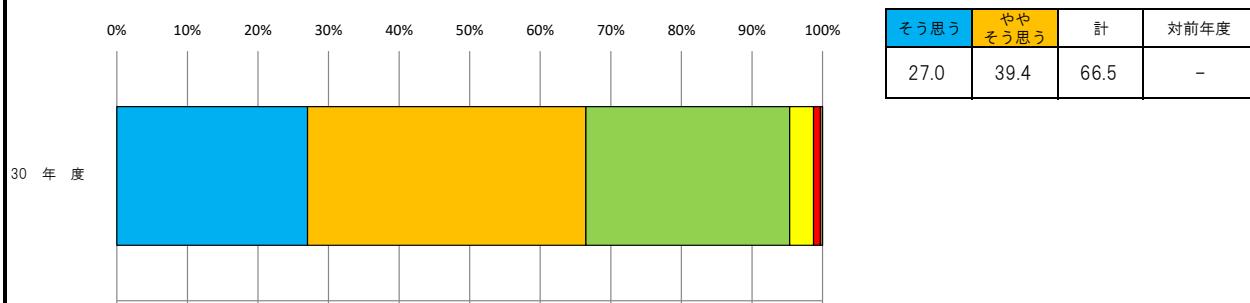


「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))

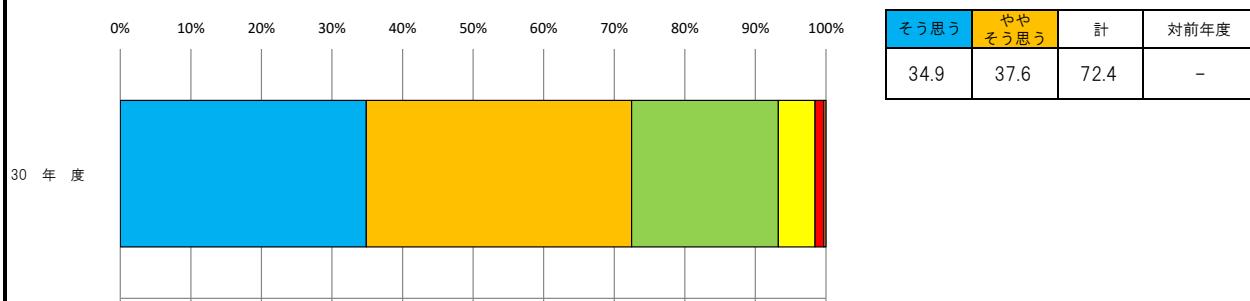


III 教員の考え方・姿勢について

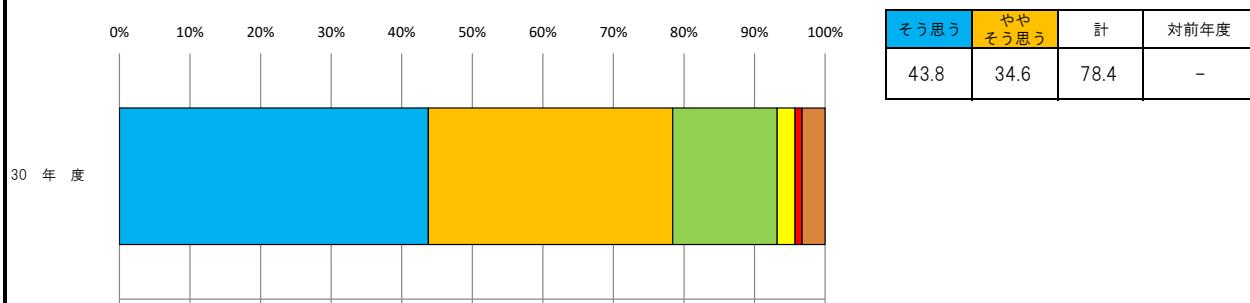
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



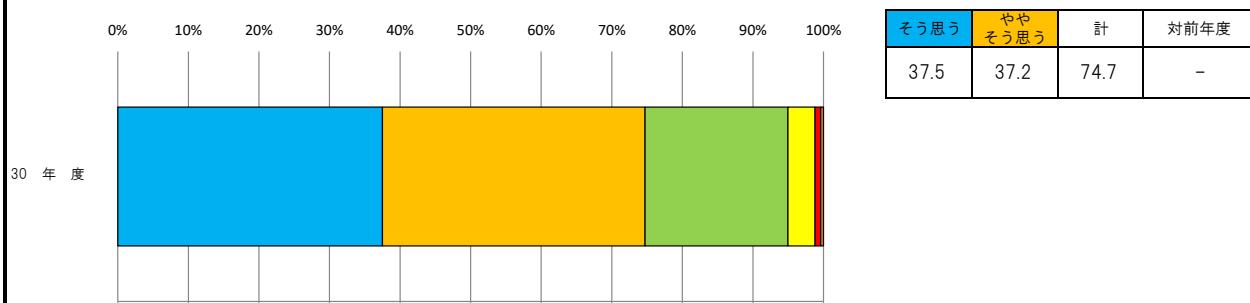
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



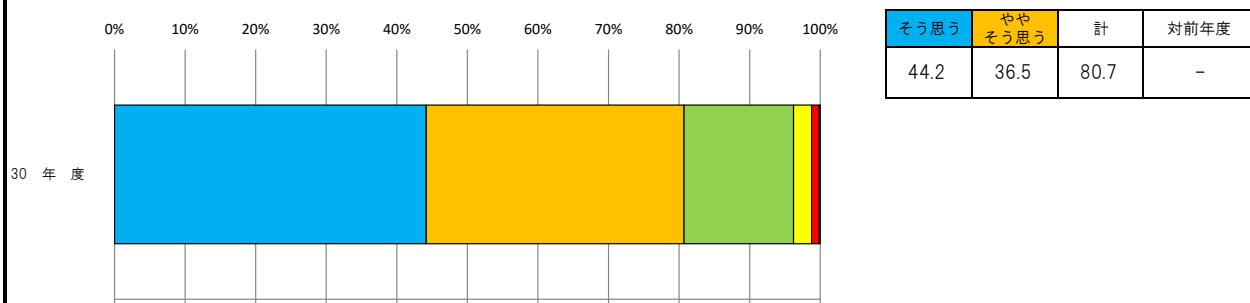
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



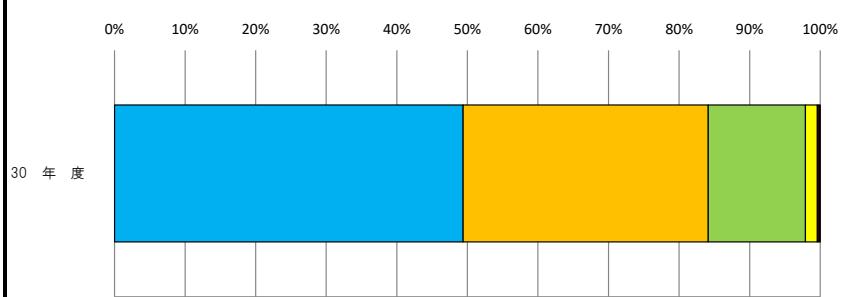
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



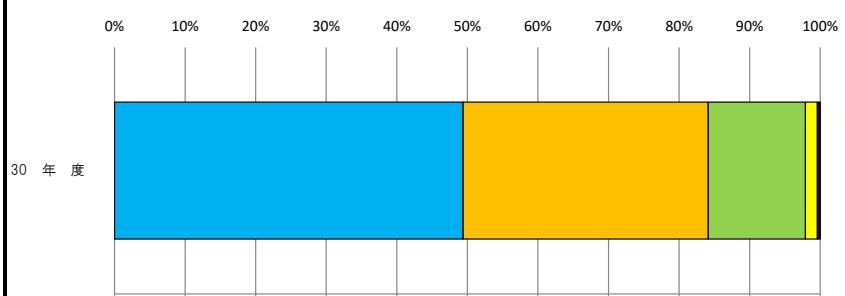
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。



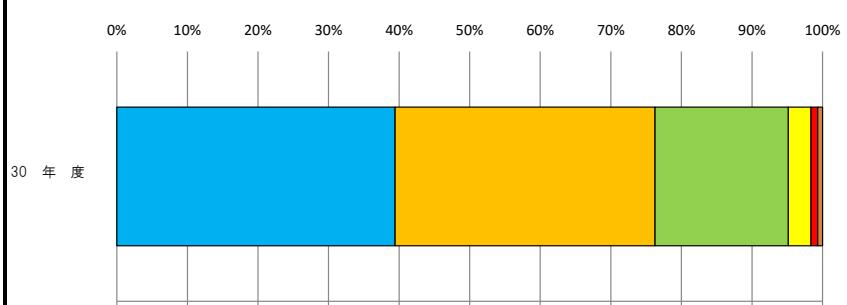
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。

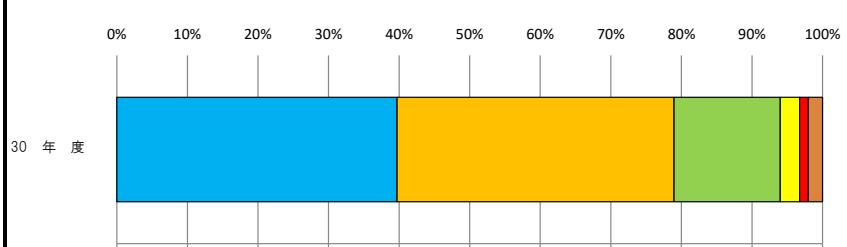


「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))

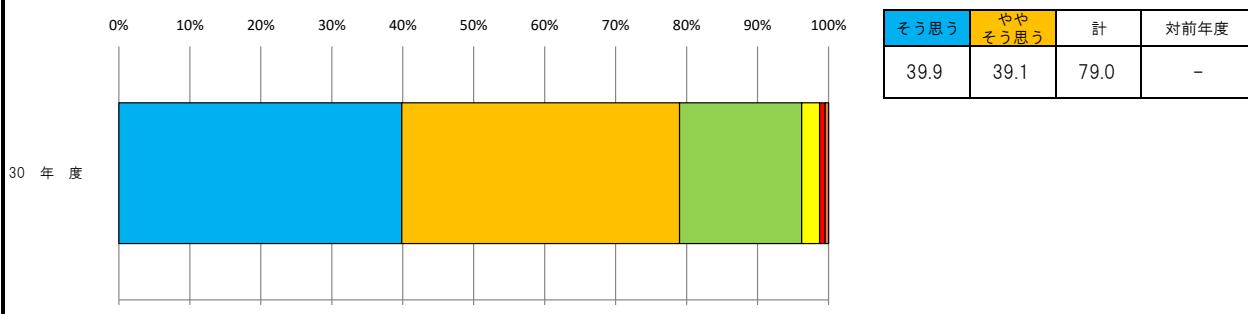


IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



全質問項目の平均



◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度	
授業に対する肯定的評価	(70.9%)	105
授業に対する要望等	(14.2%)	21
施設・設備等に関する要望等	(14.9%)	22
総件数	(100.0%)	148

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	105	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回きちんと、発言した人の話を聞いてくれて発言してもいいかなと思えるようになりました。 ・ビデオがすごくわかりやすかった。 ・自分で解いたり友達と話し合って答えを出したりする授業のやり方、楽しかったです。 ・先生が私たちにわかりやすいように毎回考えててくれていたのが良くわかつて、私はすごく嬉しかったし、わかりやすかったです。ありがとうございました。 ・こういう機会がないと物事を色々な視点でとらえられないと思う。 ・他の先生とは違うオーラ、独特な授業の進め方、とても楽しかったです。生徒達が自ら学びたいと思えるような授業でした。
授業に対する要望等	21	<ul style="list-style-type: none"> ・半分以上演習の時間だったからもっと少人数で受けたかったです。 ・文字のうまいへたは気にしないのですが、読める字で書いてほしいと思ったことがありました。 ・授業開始時間と終了時間は守ってほしい。 ・この授業を受けるには、まだ知識がないので、1年のこの時期にやるのは早いのかなと感じた。 ・なぜ必修ではないのか不思議。 ・板書ではなくプリントを使ってほしかった。
施設・設備等に関する要望等	22	<ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボードってなんか見づらい。 ・黒板の下の方が見えなかつたので、テレビなどに黒板をうつしてもらえるとありがたいです。 ・体育館が寒い。
計	148	

平成30年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 千葉看護学部

○講義・演習科目数 44科目 ○調査対象者数 3134人(延人数)
○総回答数 3038枚(回答率 96.9%)

◆ 質問項目別集計結果

	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	36.5	46.2	16.2	0.7	0.3	0.1	100
2. 積極的に出席したと思うか。	53.7	33.8	11.6	0.7	0.2	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	40.6	42.5	15.8	0.7	0.3	0.1	100
計	43.6	40.8	14.5	0.7	0.3	0.1	100
II 授業内容について							
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	31.9	44.7	19.4	3.1	0.8	0.1	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	40.0	41.4	15.6	2.4	0.5	0.1	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	38.2	41.1	17.3	2.7	0.6	0.1	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	41.3	40.2	15.2	2.3	0.6	0.4	100
計	37.9	41.8	16.9	2.6	0.6	0.2	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	27.0	39.4	28.9	3.4	1.0	0.3	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	34.9	37.6	20.8	5.2	1.2	0.3	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	43.8	34.6	14.8	2.5	1.0	3.3	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	27.0	35.4	22.1	7.9	3.4	4.2	100
11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	43.9	36.2	15.2	2.1	0.6	2.0	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	37.5	37.2	20.2	3.9	0.8	0.4	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	44.2	36.5	15.5	2.6	1.1	0.1	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	49.4	34.7	13.8	1.7	0.2	0.2	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	39.3	37.7	18.1	3.2	1.4	0.3	100
計	38.6	36.6	18.8	3.6	1.2	1.2	100
IV 総合評価							
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	39.7	39.3	15.0	2.8	1.2	2.0	100
全質問項目の平均	39.4	38.7	17.4	2.8	0.9	0.8	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

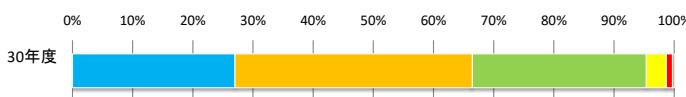
	30年度
全科目数	44科目
調査対象者数	3134人
総回答数（回答率）	3038枚 (96.9%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

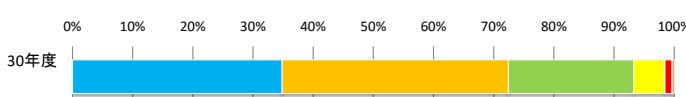


III 教員の考え方・姿勢について

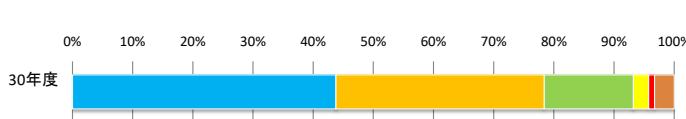
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



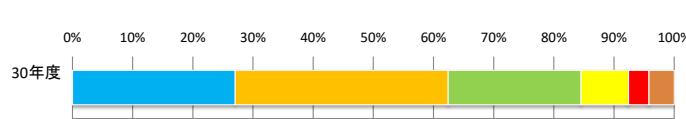
9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



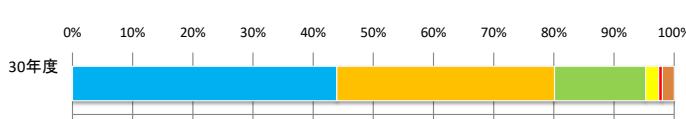
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



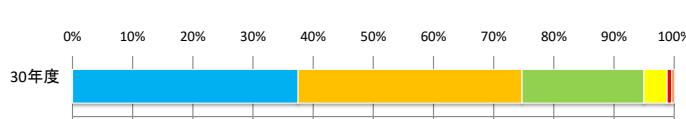
11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



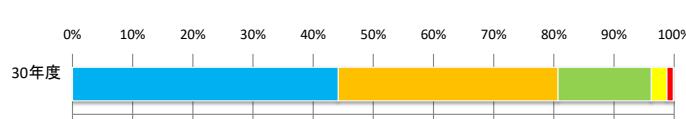
11. パワーポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



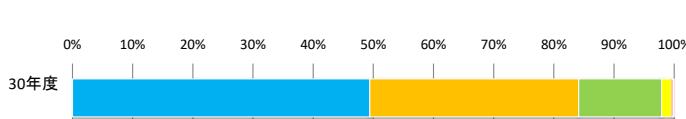
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



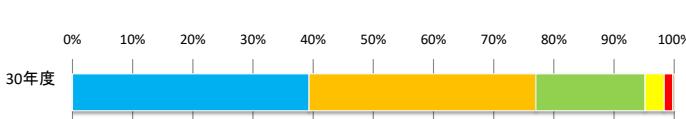
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



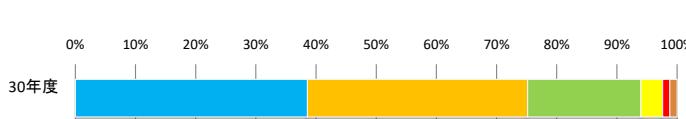
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。

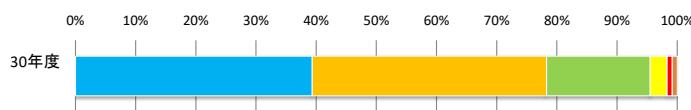


「計」(質問項目 8 ~ 15)



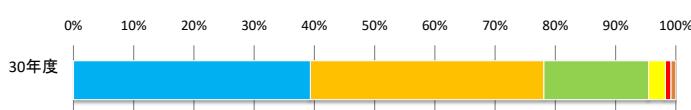
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
39.7	39.3	79.0	—

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.4	38.7	78.1	—

◆ VII この授業を受けて良かったと思うことがありますか。 【総数 323枚】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	看護学概論 【1年次前期】	7	初めて看護学生として実習に行き、ナース視点で病院を知ることができた点はよかったです。 看護についての基本的なことを知ることができて良かったです。
	機能看護学 I 【1年次前期】	13	自分自身のことを知れたり、色々な人（グループメンバーなど）との関わりから新しいことを得られた点で自分の成長につながったと思う。 グループワークを通して自分の思っていることを口にすることが大切であると実感できました。
	体の仕組みと働き演習 【1年次後期】	7	前期にわからなかったところがわかった。実践的だったところ前期の復習になった。 ユーモア溢れる授業でした。
	基礎看護援助実習 I 【1年次後期】	3	特に清潔ケアの実践力が高まったように感じた。 授業だけではわからなかったことを知ることができた。

◆ VIII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。 【総数 119枚】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	機能看護学 I 【1年次前期】	4	先生が質問に適切に答えてくれないときがあった。 一番最初は、グループワークの進め方が分からなかった。
	体の仕組みと働き I 【1年次前期】	30	授業が早いです。もう少しゆっくりやってほしいです。 後の席の人は黒板が見えないと思う。パワーポイントにするか、後ろの人にも見える教室で授業してほしい。
	体の仕組みと働き演習 【1年次後期】	2	スライドの書き込む字が小さくて見えないときがありました。 レジュメの図と図の間隔がせまかった。
	公衆衛生看護援助論 I 【1年次後期】	11	時間を守って授業をすすめてほしい。 先生に質問行ったが、3人でおっしゃる意見が違った。どの先生に聞いて良いかわからなくて、とても困った。

平成 30 年度 和歌山看護学部看護学科の授業評価結果に対する考察

副学長・和歌山看護学部長
八島 妙子

1. 授業評価の結果について

- 全体集計では、77%が「そう思う」「ややそう思う」であり、90%の学生が授業に積極的に出席していました。最も低かったのは、シラバスが学修する上で役立ったと回答したのが 60%弱であったことです。シラバス内容を確認して学修をするという学生の習慣ができていないことに加え、教員にとっても就任前に準備した内容であるために微修正が必要など十分な活用に至らなかったのかもしれません。次に、学生の質問や意見が述べられる配慮が 73%でやや低い結果でした。100 人を対象とした講義では学生個々に対応するには様々な手法や工夫を考えいく必要があります。講義・演習科目では、学生の授業態度の合計が 83%で高く、教員の熱意も 83%と高い評価でした。しかし、わかりやすい板書という項目が 30%であり、ホワイトボードの文字が見えにくいという教室環境が要因の一つと考えます。
- 先輩がいないことや周囲に看護系の大学が 1 校しかなく、大学の授業や看護学を学ぶ特性についての情報がない中、専門科目の講義やグループワークを取り入れた授業が多く、課題も多い状況でした。学生から時間不足との指摘がありましたが、学生は概ね真面目に授業や課題に取り組みました。特に、グループワークや参加型学習は学生同士が互いに学ぶ機会にもなり、学生自身の達成感や充実感につながったようです。しかし、講義内容で専門的な用語の使用、抽象的な内容、情報量が多いなどから理解が困難な科目もあり、「学生の理解度を確認しながら授業を行うこと」に課題があると思いました。また、学外講師からは、学生の関心や志向がわからない、学生個々の学習スキルの差に対する指摘があり、効果的な学修につなげるための工夫が必要と感じました。
- いくつかの学内講義はオムニバスの形態をとっていますが、教員個々の持てる能力をお互いに十分把握できていない中でのスタートなので、授業スキルの向上と共に科目の組み立てや担当項目の設定、教授法の工夫をしていく課題があります。FD により、カリキュラムの理解や授業スキルの向上に努めています。
また、技術演習・試験に際しては複数の教員で行うために教員間の差があると感じた学生がいることから、改善をしていく必要があると考えます。
- シラバスの活用に低い評価の科目がみられることから、シラバス内容の充実と、学生のシラバス活用を習慣化していくように仕向ける必要を感じました。

2. 授業において工夫した点について

- 複数教員のかかわるグループワーク等学生参加型の授業では教員同士の授業の振り返り、講義形式の授業においてはリアクションペーパー内容から形成的評価を適宜行い授業内容の修正をし、学生の学びを促進する工夫をしていました。

小テストには学生個々にコメントを返すなど1対1のコミュニケーションに心がけていました。

- 教員個々の専門性や教育経験、学生の学力レベルやモチベーション等の見当がつかない状況において、シラバスにある到達目標を意識して、4年後のディプロマポリシーに結び付けられるよう最大限の工夫を行っていました。具体的にはできるだけ身近な出来事や実践での具体例を紹介する、教材使用や動画を視聴する、演習を取り入れるなどです。教室環境において、教員から学生個人が見えにくいために、興味を引くための工夫が必要との外部講師からの指摘を受けました。
- 実習については入念な実習施設との打ち合わせを行い、教員側の指導体制も複数体制で行うようにしました。
- 看護技術学習については、試験で実力の出し切れなかつた学生に対して課外で教員が再確認する時間を設けて学生の自主学習を促していました。また、グループでの共同学習を取り入れるなどの工夫をしていました。

3. 今後の授業への生かし方について

- 予習のためにシラバスを活用できるようにして、より専門化していく学修を自律して学べるようにしたいと思います。各科目の課題が学生の対応能力を超えないよう科目間での調整をしていきます。
- 外部講師の講義内容、特に医学的知識など看護実践に必要な内容については、外部講師との綿密な内容の調整と共に看護実践能力を高める分野において講義内容と看護実践とのつながりを説明し、積み上げていくことで理解が深まるのではないかと考えています。
- 技術演習を行う科目では学生によっては不公平感が感じられました。学生の理解度を把握して対応する、技術試験評価表の見直し、学生への評価視点の説明の強化、教員間で密な打ち合わせで対応していきたいと思います。
- 外部講師からは 100 人規模のクラスで参加型授業の工夫や各自が復習して理解を深める工夫の必要性や、授業態度、特に私語への対応などの課題に対して検討が必要との内容があげられました。講義進行や学生への対応について話し合いが必要と感じています。

4. その他

- 授業評価を次年度の授業が始まる前に返却していただきたいという意見が多く寄せられました。
- 外部講師からなじみのない授業題目で学生に縁遠いものに感じられたのではないかという意見が出され、科目名についても一考する必要があることがわかりました。教養科目を担当する外部講師から、学生の基礎知識の水準の幅が大きいのでなんらかの措置が必要との意見が出されました。

教養科目では本学の入試科目上、幅があることが予想されます。専門科目を学ぶ上で、基盤となる知識内容も含まれるために、入学前または入学後にある程度の基礎知識がつくような仕組みを考えていく必要があると思われます。

- 外部講師から縦長の教室が改善されたという評価も見られましたが、さらに教室の改善を求められたことから、引き続き検討が必要と思いました。

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学 和歌山看護学部

○全科目数 51科目 ○調査対象者数 3,511人（延人数）
 ○総回答数 3,256枚（回答率 92.7%）

◆ 講義・演習科目及び実習・実験科目における共通質問項目別集計結果 〈質問項目番号の()は実習・実験科目における質問項目の番号である。〉

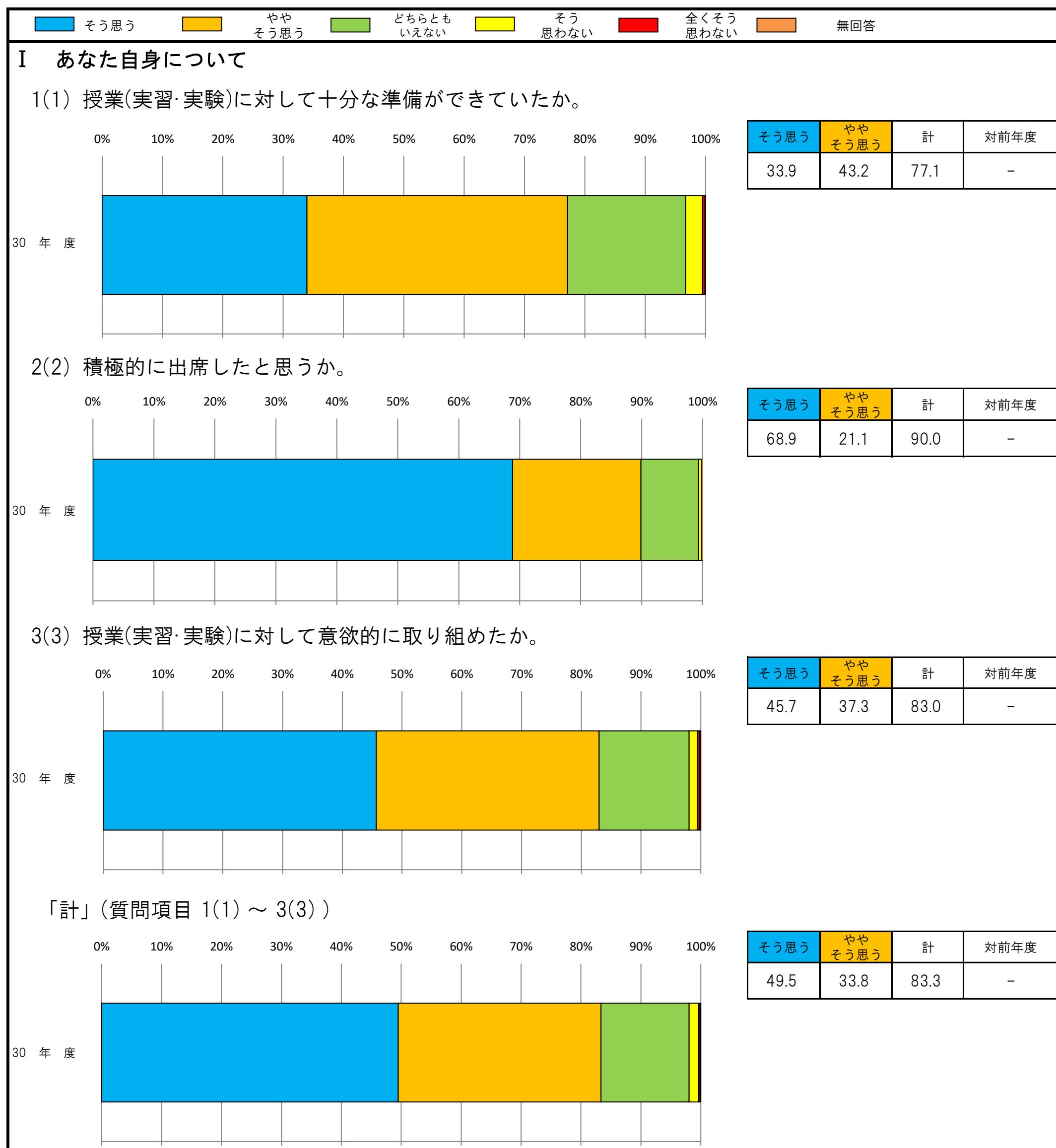
質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全く そう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1(1) 授業(実習・実験)に対して十分な準備ができていたか。	33.9	43.2	19.6	2.8	0.4	0.1	100
2(2) 積極的に出席したと思うか。	68.9	21.1	9.4	0.5	0.1	0.0	100
3(3) 授業(実習・実験)に対して意欲的に取り組めたか。	45.7	37.3	15.1	1.4	0.3	0.2	100
計	49.5	33.8	14.7	1.6	0.3	0.1	100
II 授業内容について							
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。	31.0	42.5	20.6	4.8	0.9	0.2	100
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。	40.8	38.8	17.1	2.6	0.6	0.1	100
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	37.3	39.1	20.0	2.9	0.5	0.2	100
7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。	42.3	37.5	16.9	2.2	0.6	0.5	100
計	37.8	39.5	18.6	3.1	0.6	0.3	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	23.3	35.2	32.7	6.7	1.6	0.5	100
9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	41.8	36.4	17.9	3.1	0.6	0.2	100
10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	45.0	31.9	15.8	3.9	1.1	2.3	100
12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	38.3	34.6	19.6	5.4	1.8	0.3	100
13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。	45.5	32.5	17.1	3.7	1.1	0.1	100
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	50.5	32.3	14.2	2.2	0.7	0.1	100
15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。	36.3	34.9	21.3	5.3	2.1	0.1	100
計	40.1	34.0	19.8	4.3	1.3	0.5	100
IV 総合評価							
16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。	38.0	36.7	17.8	3.6	1.3	2.6	100
全質問項目の平均	41.2	35.6	18.4	3.4	0.9	0.5	100

授業評価アンケート集計結果 年度別比較

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果

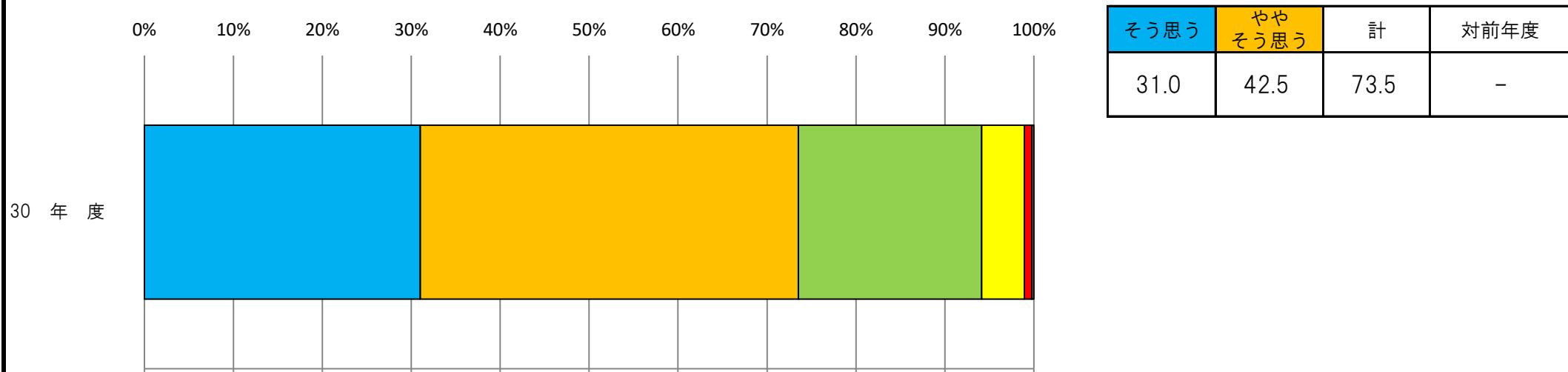
	30年度
全科目数	51科目
調査対象者数	3,511人
総回答数(回答率)	3,256枚 (92.7%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

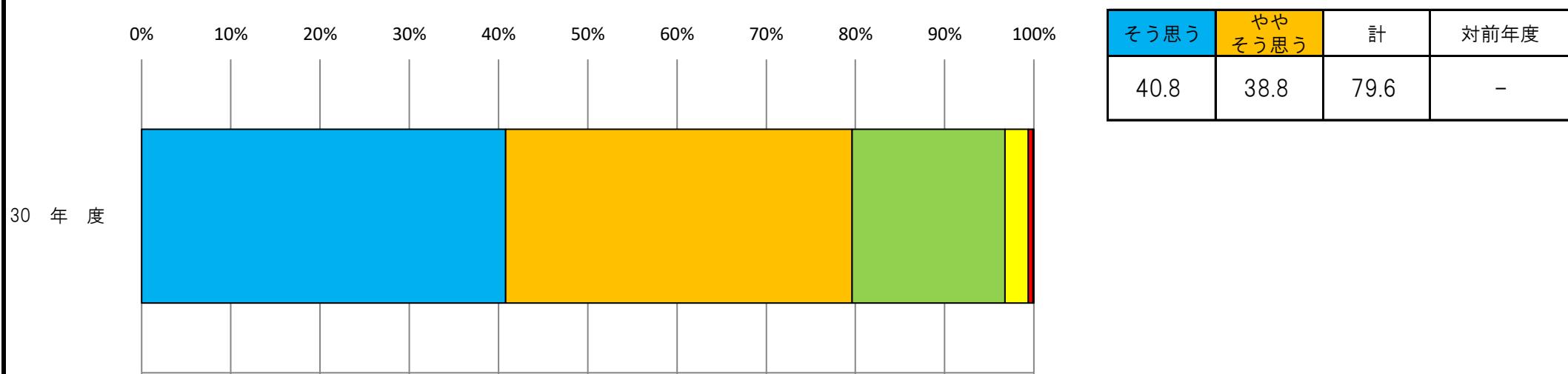


II 授業内容について

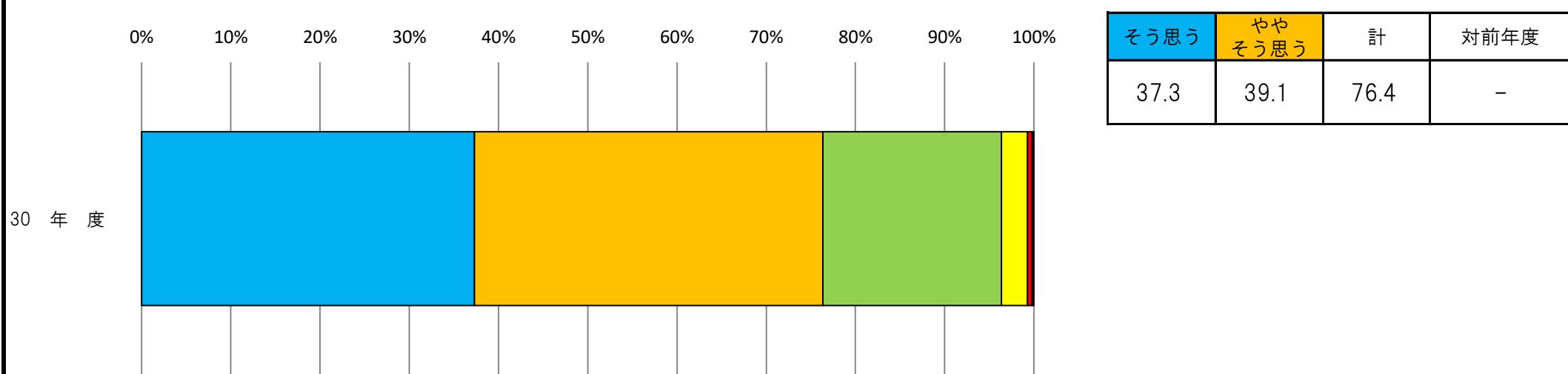
4(4) 授業(実習・実験)内容をよく理解できたと思うか。



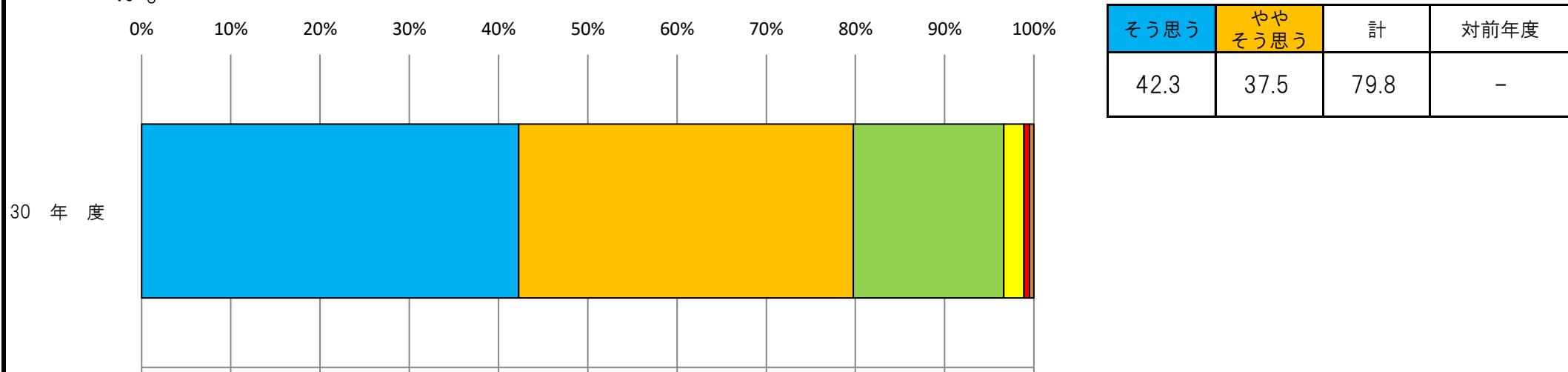
5(5) 基本的な専門知識が得られたと思うか。



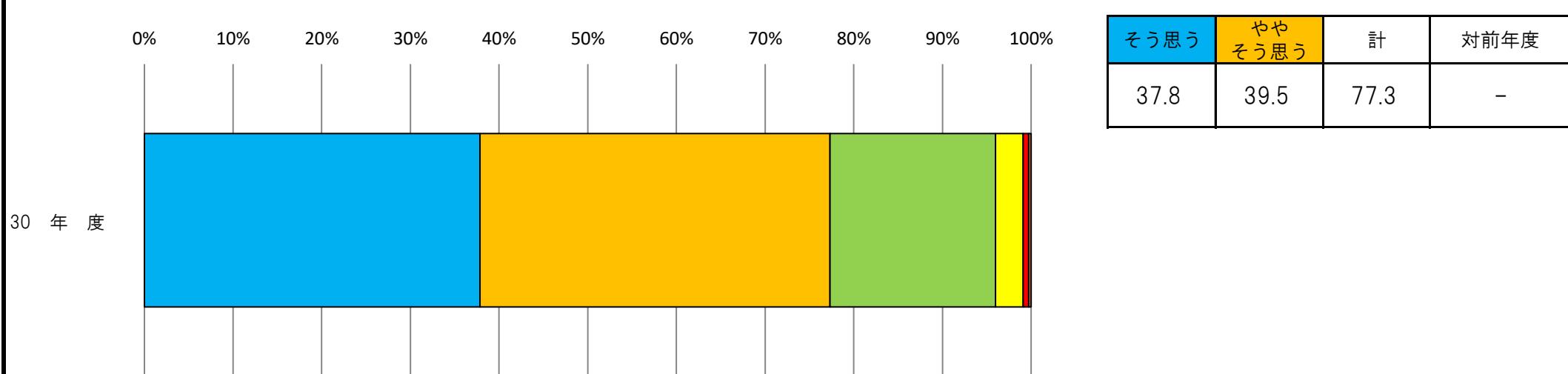
6(6) 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



7(7) この授業(実習・実験)は発展的な学びにつながる内容と思うか。

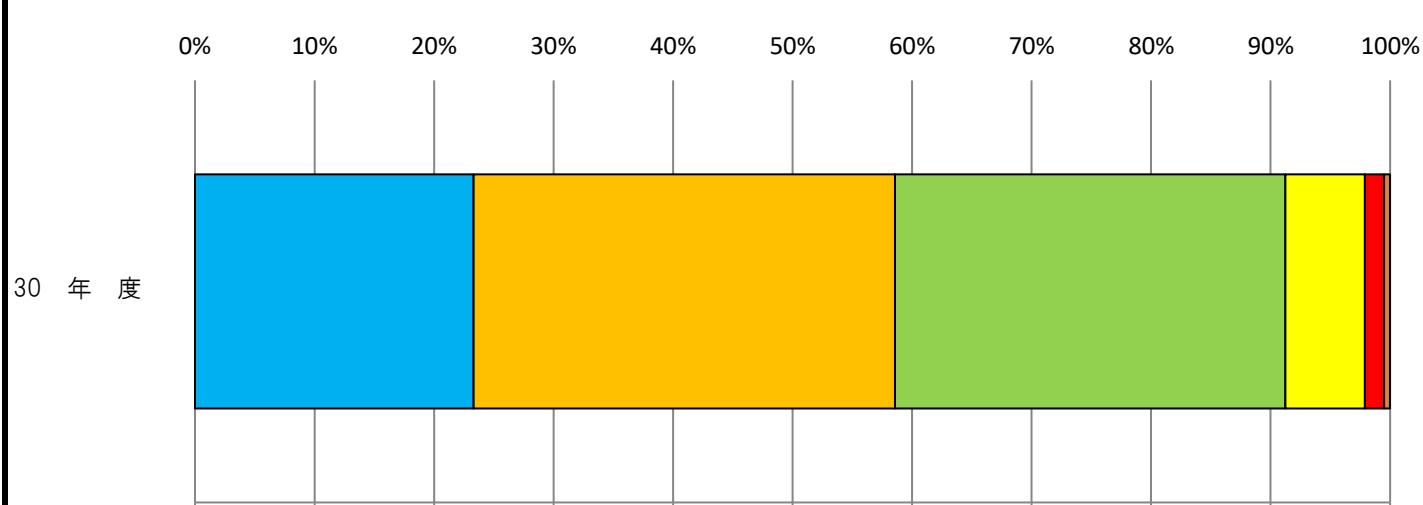


「計」(質問項目 4(4) ~ 7(7))



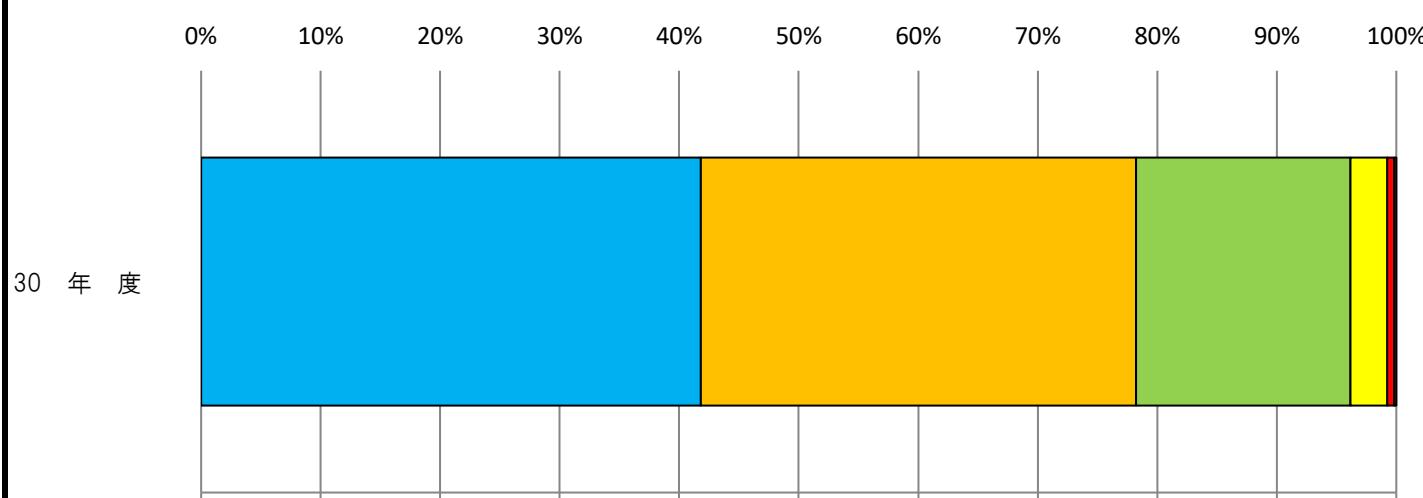
III 教員の考え方・姿勢について

8(8) シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



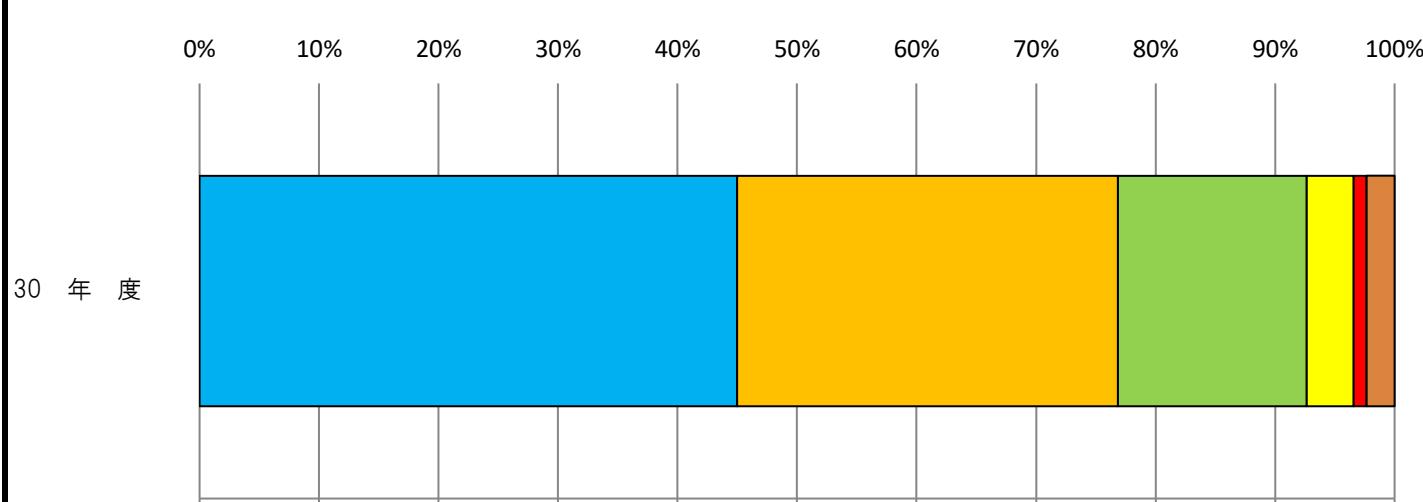
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23.3	35.2	58.5	-

9(9) 学習しやすい授業(実習・実験)環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



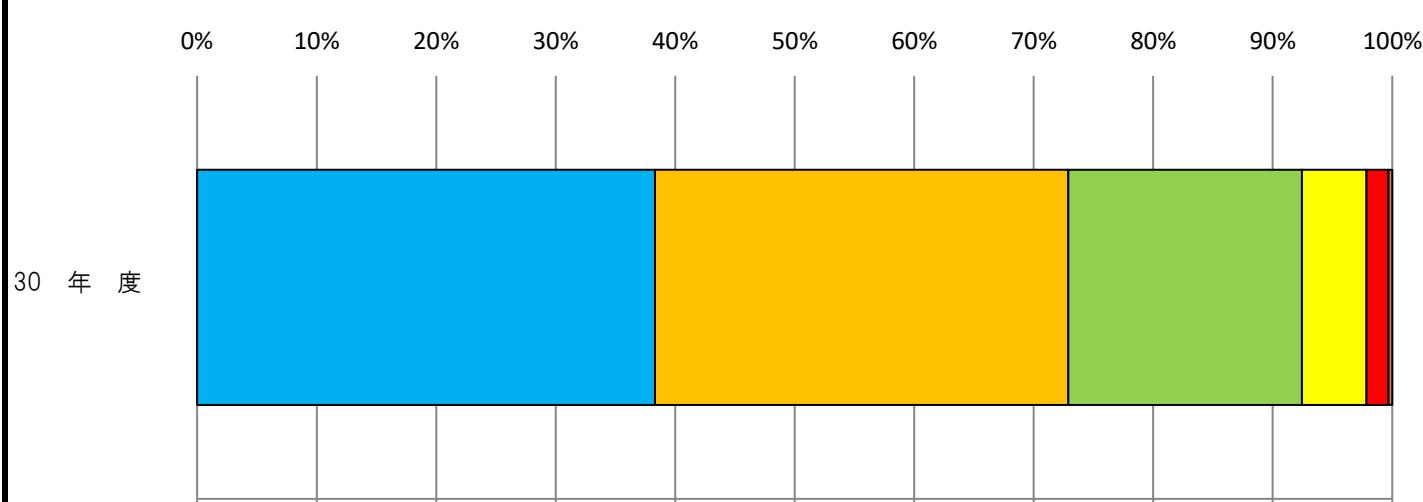
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.8	36.4	78.2	-

10(10) 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



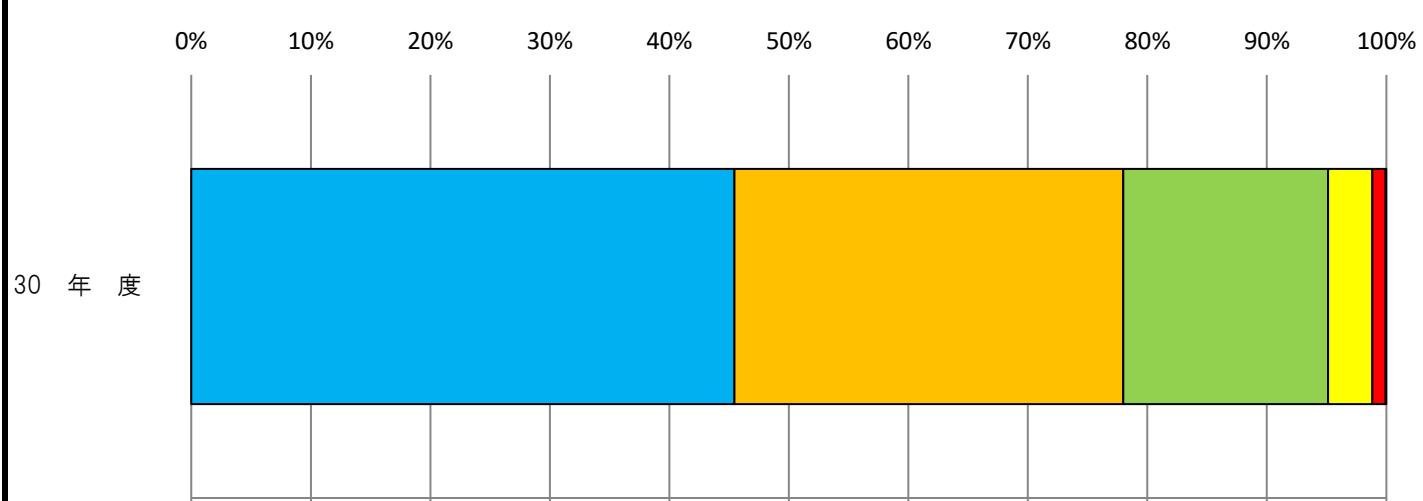
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.0	31.9	76.9	-

12(11) 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



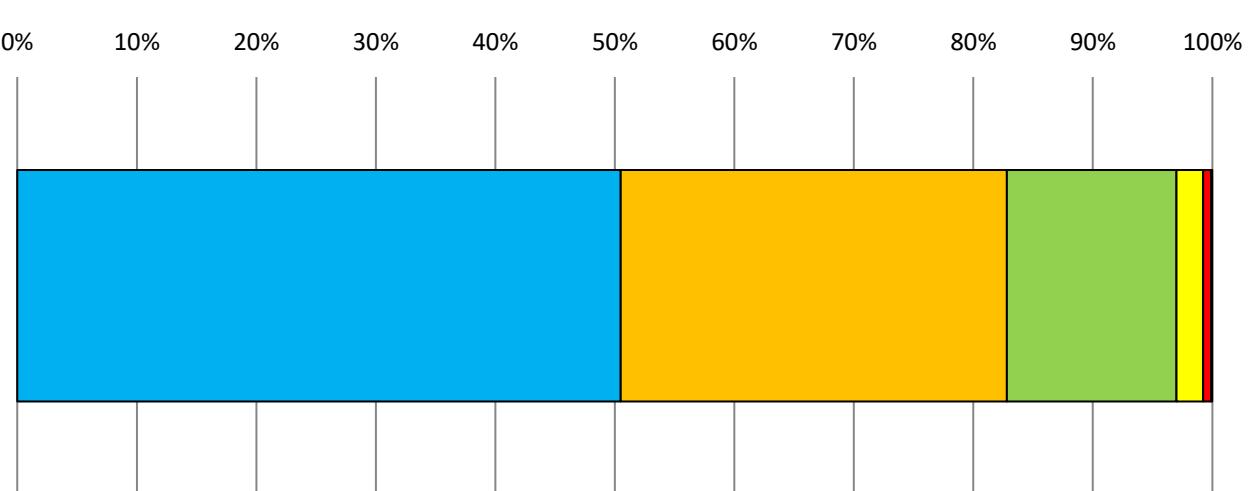
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.3	34.6	72.9	-

13(12) 教員は限られた授業(実習・実験)時間を適切に活用したと思うか。

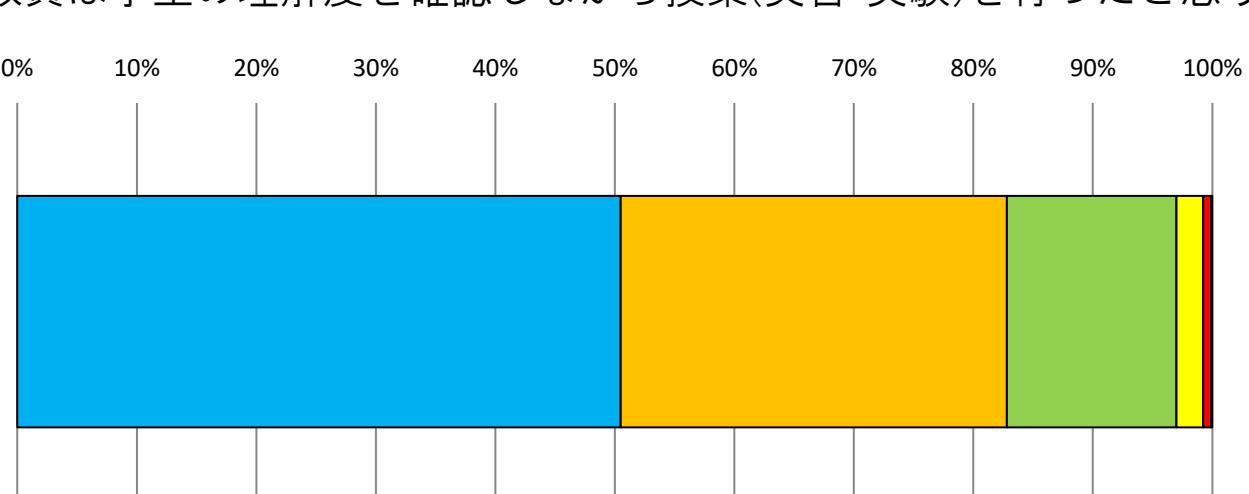


そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.5	32.5	78.0	-

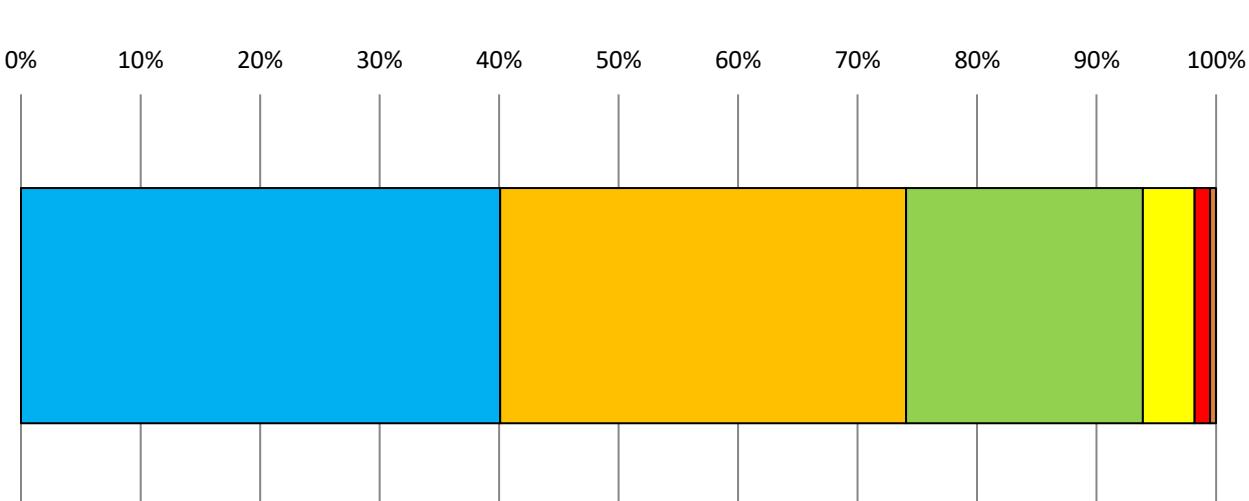
14(13) 教員は授業(実習・実験)に熱意を持って取り組んでいたと思うか。



15(14) 教員は学生の理解度を確認しながら授業(実習・実験)を行ったと思うか。

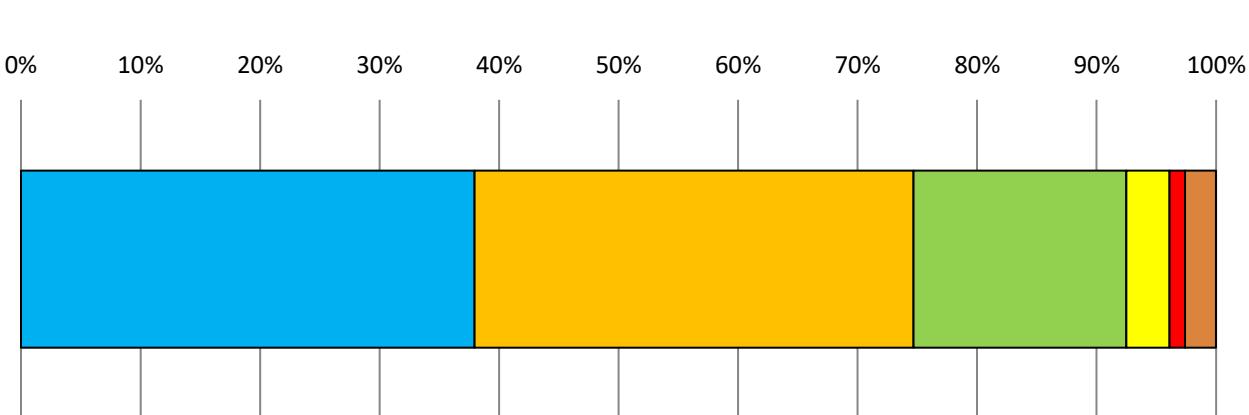


「計」(質問項目 8(8) ~ 15(14))

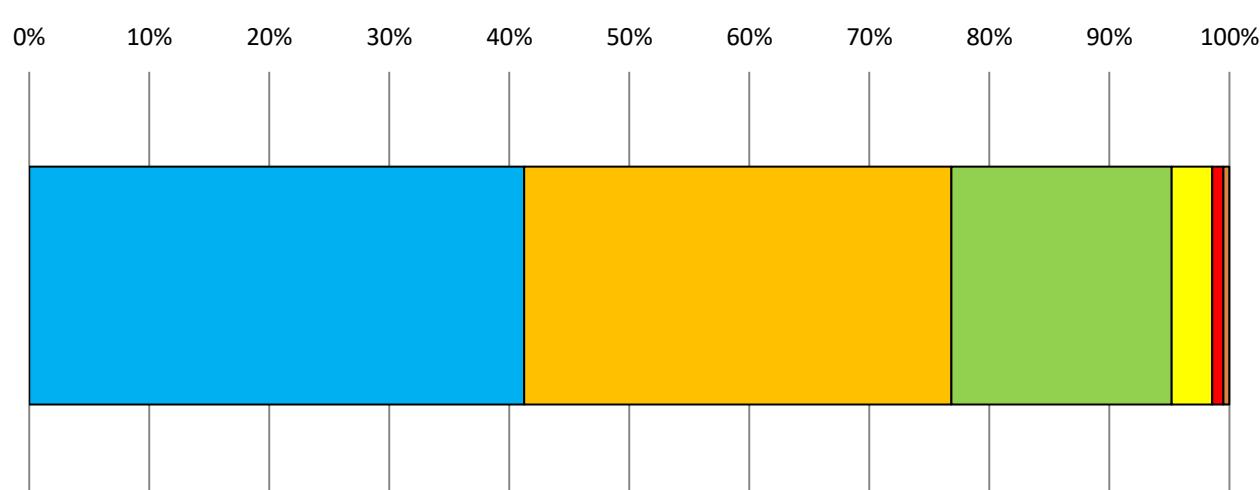


IV 総合評価

16(15) この授業(実習・実験)は総合的に満足できたと思うか。



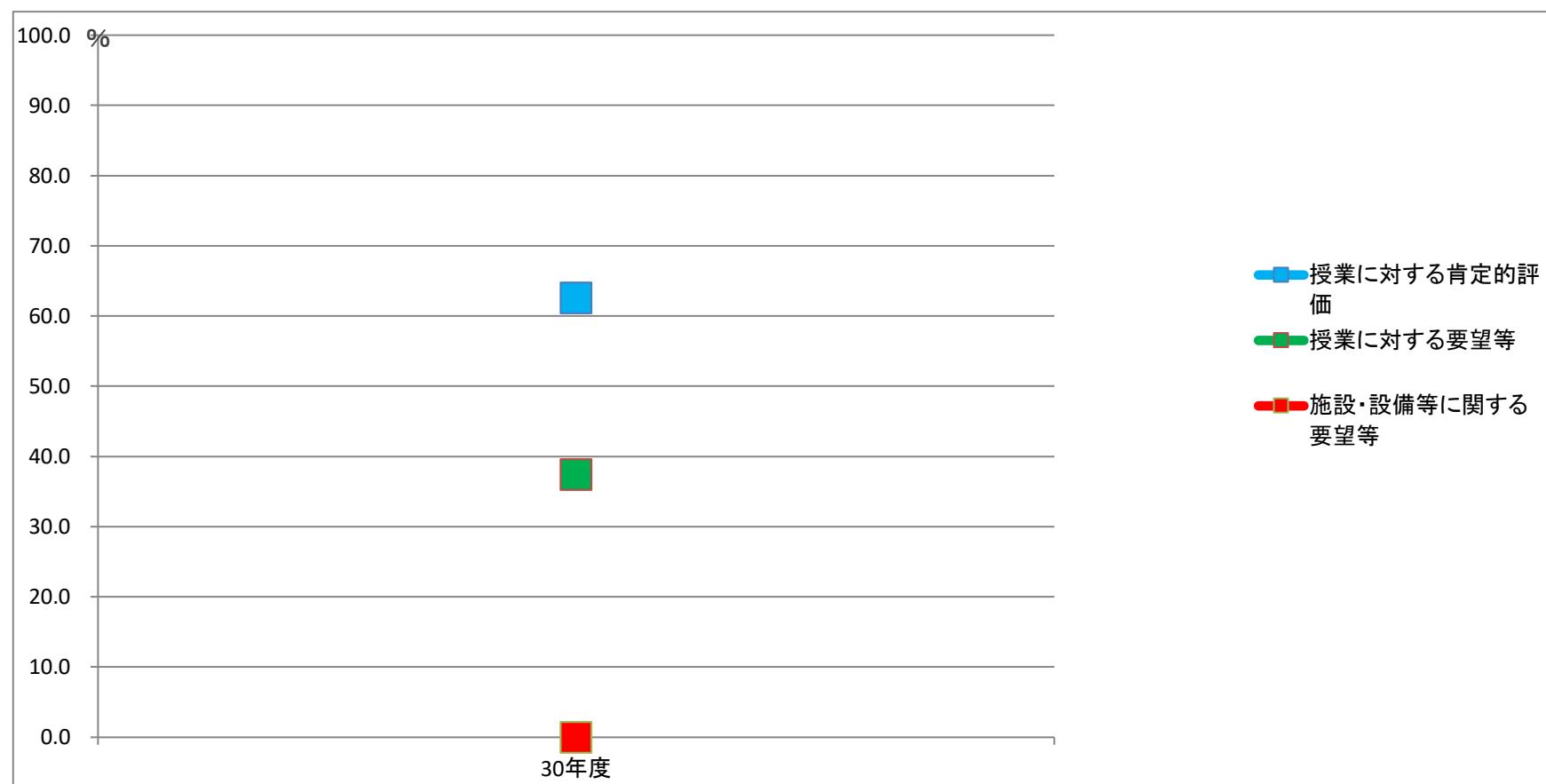
全質問項目の平均



◆ 年度別 自由記述集計結果

分類項目／年度	30年度	
授業に対する肯定的評価	(62.6%)	270
授業に対する要望等	(37.4%)	161
施設・設備等に関する要望等	(0.0%)	0
総件数	(100.0%)	431

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	270	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークだったので、他者の意見を沢山聴けておもしろかったです。 ・技術テスト前に先生達が一人一人の技術をチェックしてくれ、指導してくれたところがよかったです。 ・自分達で考えながら専門知識を学べ、とても勉強になった。 ・授業の内容や説明の仕方は分かりやすかったです。声もききとりやすかったです。 ・楽しかった。分かりやすく、よく理解できました！！ ・皆が分かるように、優しく教えてくれた。 ・教え方がとても丁寧で私たちの学習度に合わせて解説してくれたのでとてもよかったです。苦手な数学も理解できた。 ・ボランティア活動に参加する良い機会になった。発表会により、活動を振り返ることができた。 ・難しいと思っていたけど身近な例等を使って教えてくれたので分かりやすかったです。楽しかったです。 ・命の大切さや問題点などもよく考えることができた。
授業に対する要望等	161	<ul style="list-style-type: none"> ・前期のボランティア概論と内容が重複していることがあった。活動報告の発表会の時間調整をしっかりして持ち時間を平等にしてほしい。 ・カメラでとのを不可にしてほしい。シャッター音がうるさい。 ・偏見が多く、少し傷付いた点がありました。 ・進行が早く皆ついていけない事が多い。どこまで表を作るのか分からない。 ・要点が分からない。毎回テストに向けて要点言ってほしい。テスト対策の立てようがない。 ・講師がホワイトボードに何かをかくとき、文字が見えにくく、絵も何をかいてるかわからない ・もう少しあわざりやすく教科書に沿って授業をしてほしかったです。 ・パワーポイントの時が小さくてみにくかったです。
施設・設備等に関する要望等	0	
計	431	

平成30年度 授業評価集計結果(講義・演習科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部

○講義・演習科目数 50科目

○調査対象者数 3,409人(延人数)

○総回答数 3,154枚(回答率 92.5%)

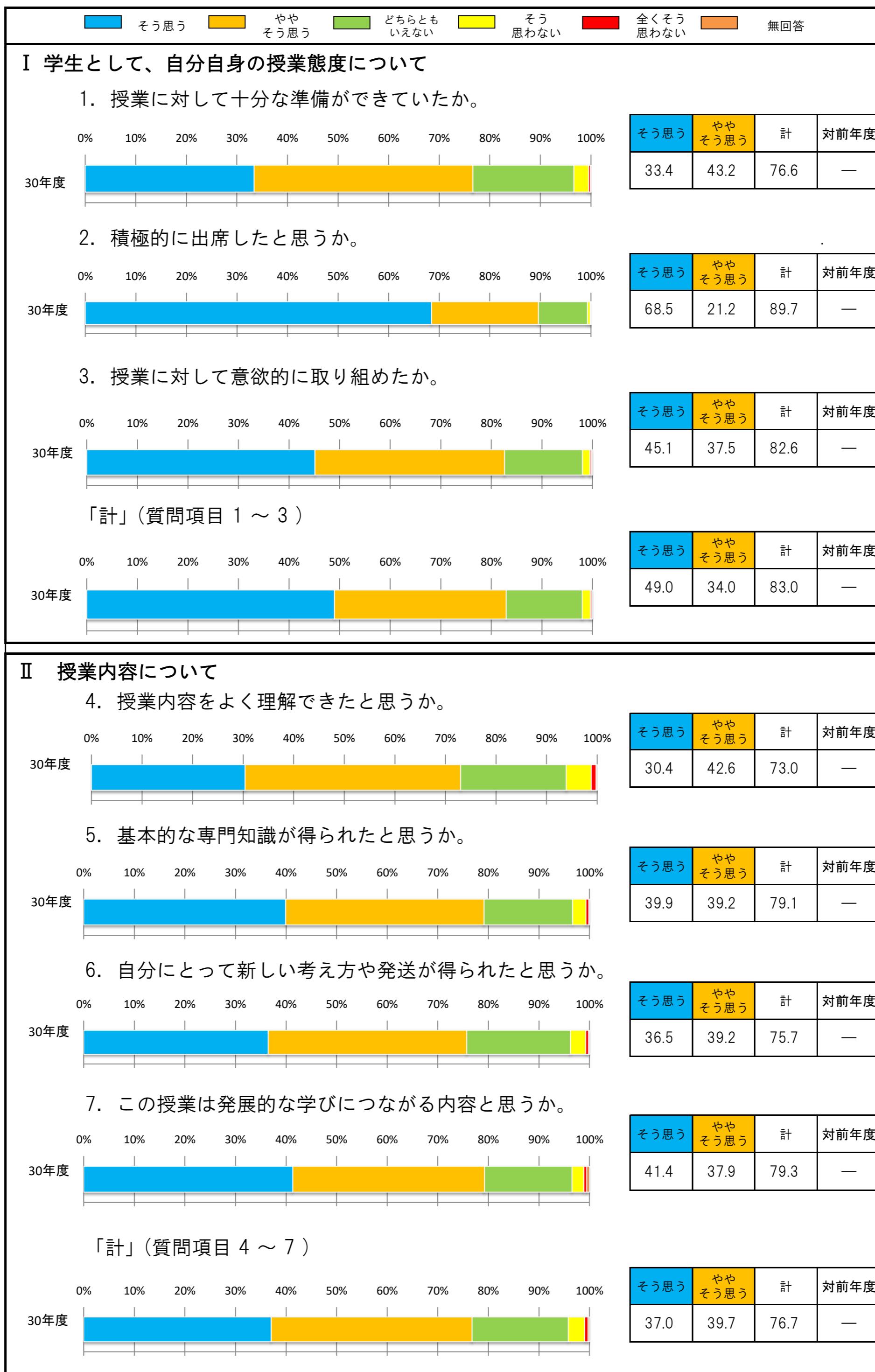
◆ 質問項目別集計結果

	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 授業に対して十分な準備ができていたか。	33.4	43.2	20.0	2.9	0.4	0.1	100
2. 積極的に出席したと思うか。	68.5	21.2	9.7	0.5	0.1	0.0	100
3. 授業に対して意欲的に取り組めたか。	45.1	37.5	15.4	1.5	0.3	0.2	100
計	49.0	34.0	15.0	1.6	0.3	0.1	100
II 授業内容について							
4. 授業内容をよく理解できたと思うか。	30.4	42.6	20.9	4.9	1.0	0.2	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	39.9	39.2	17.5	2.7	0.6	0.1	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	36.5	39.2	20.5	3.0	0.6	0.2	100
7. この授業は発展的な学びにつながる内容と思うか。	41.4	37.9	17.3	2.3	0.6	0.5	100
計	37.0	39.7	19.1	3.2	0.7	0.3	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	23.2	34.9	33.0	6.8	1.6	0.5	100
9. 学習しやすい授業環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	41.8	36.4	17.9	3.1	0.6	0.2	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	45.0	31.5	16.0	3.9	1.1	2.5	100
11. 主として板書による授業が行われた場合には、 -1 わかりやすい板書であったと思うか。	34.9	34.4	21.0	6.0	2.1	1.6	100
11. ハワ-ホワントやその他の資料等を使用した場合には、 -2 その実施内容はわかりやすかったと思うか。	39.5	36.1	17.9	4.7	1.1	0.7	100
12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	38.6	34.1	19.8	5.4	1.8	0.3	100
13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。	45.7	32.6	17.1	3.6	0.9	0.1	100
14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか。	50.5	32.4	14.1	2.2	0.7	0.1	100
15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。	36.3	34.7	21.3	5.4	2.1	0.2	100
計	39.5	34.1	19.8	4.6	1.3	0.7	100
IV 総合評価							
16. この授業は総合的に満足できたと思うか。	37.8	36.6	18.0	3.7	1.3	2.6	100
全質問項目の平均	40.5	35.5	18.7	3.7	1.0	0.6	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（講義・演習科目）

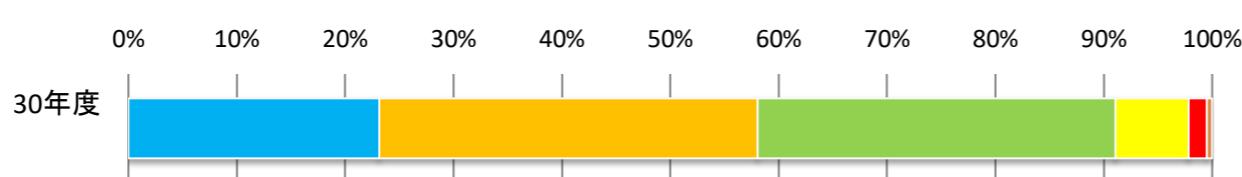
	30年度
全科目数	50科目
調査対象者数	3,409人
総回答数（回答率）	3,154枚 (92.5%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果



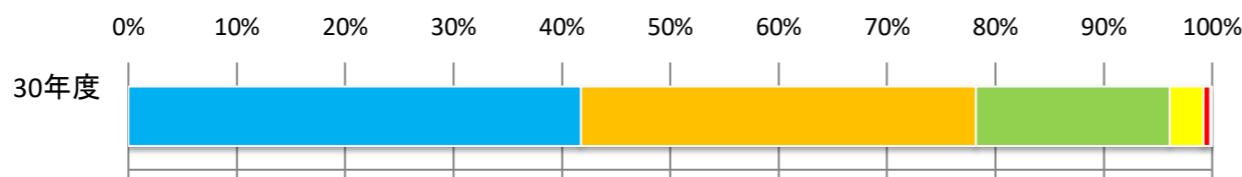
III 教員の考え方・姿勢について

8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



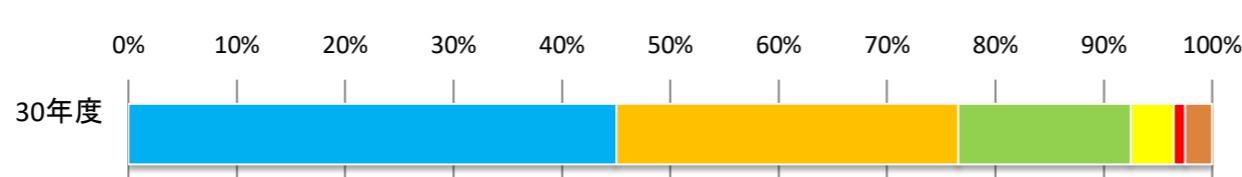
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
23.2	34.9	58.1	—

9. 学習しやすい授業環境（静かな環境等）が保たれていたと思うか。



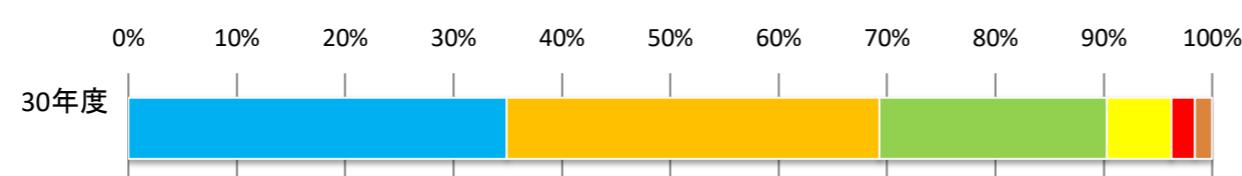
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
41.8	36.4	78.2	—

10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



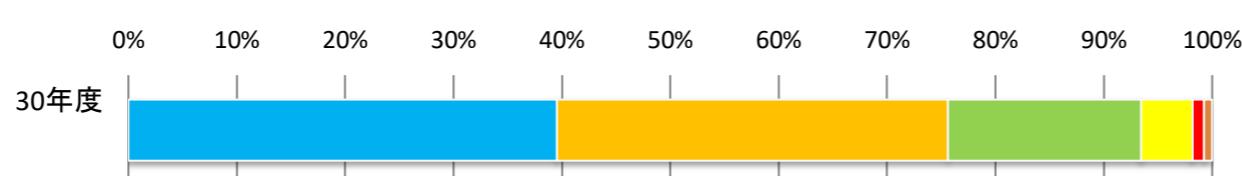
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.0	31.5	76.5	—

11. 主として板書による授業が行われた場合には、わかりやすい
-1 板書であったと思うか。



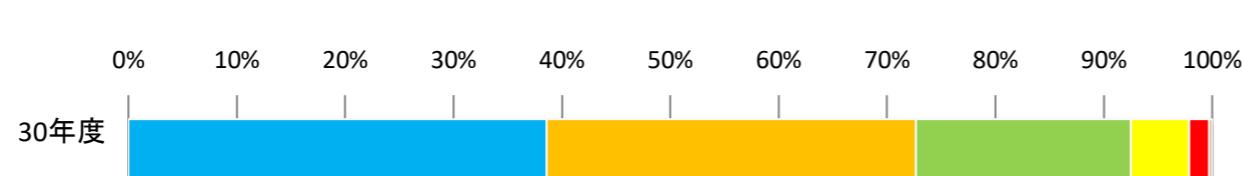
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
34.9	34.4	69.3	—

11. パワ-ポイントやその他の資料等を使用した場合には、その実施内容は
-2 わかりやすかったと思うか。



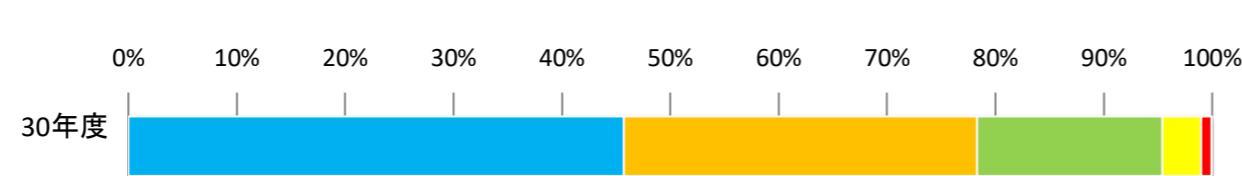
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	36.1	75.6	—

12. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。



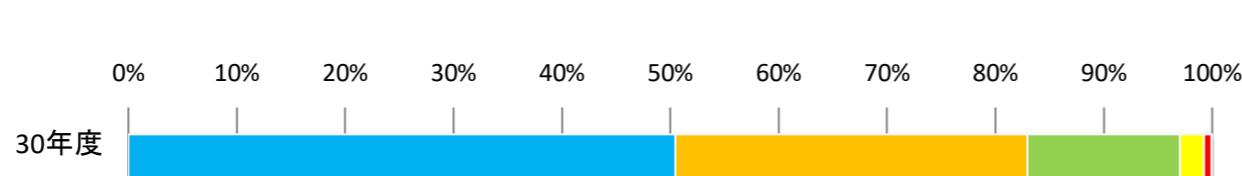
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.6	34.1	72.7	—

13. 教員は限られた授業時間を適切に活用したと思うか。



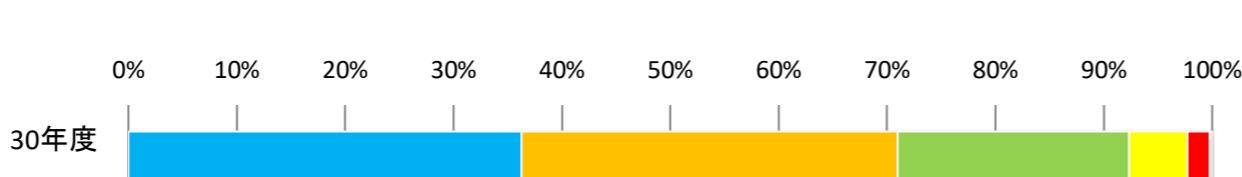
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
45.7	32.6	78.3	—

14. 教員は授業に熱意を持って取り組んでいたと思うか



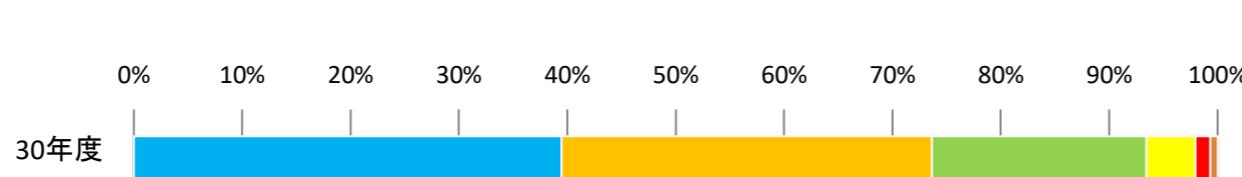
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.5	32.4	82.9	—

15. 教員は学生の理解度を確認しながら授業を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	34.7	71.0	—

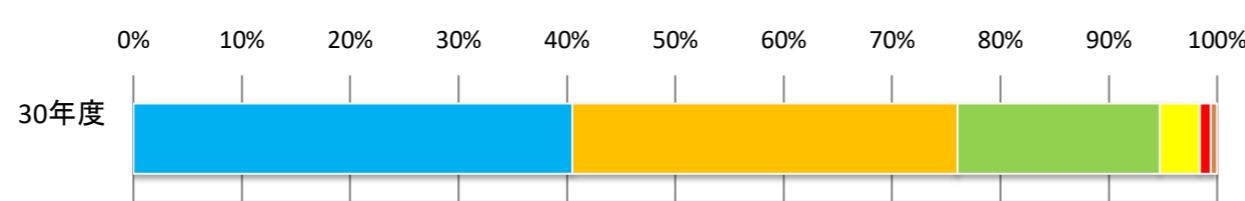
「計」(質問項目 8 ~ 15)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
39.5	34.1	73.6	—

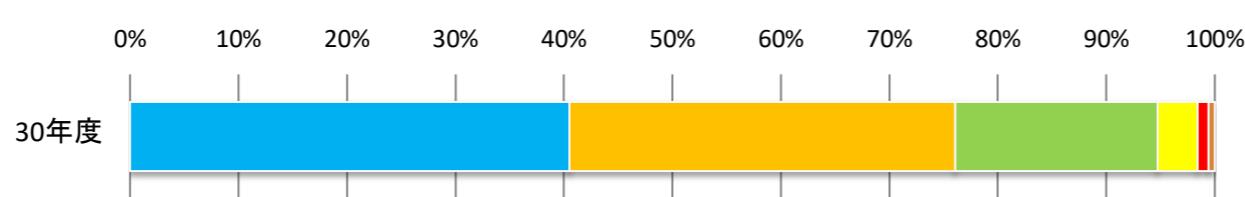
IV 総合評価

16. この授業は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.5	35.5	76.0	—

全質問項目の平均



そう思う	ややそう思う	計	対前年度
40.5	35.5	76.0	—

◆ VII この授業を受けて良かったと思うことがありますか。【総数 97】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	医学・医療概論	18	<ul style="list-style-type: none"> ・時々話してくださるエピソードが興味深かったです。 ・日本の医療のことや普段あまり知る機会がないことを知れてよかったです。
	心理学	9	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学に興味があったので、基本的な専門知識を身につけることができたことが良かったです。 ・人の心理的考え方を学ぶことができた。
	基礎看護援助論ⅡA	3	<ul style="list-style-type: none"> ・技術テスト前に先生達が一人一人の技術をチェックしてくれ、指導してくれたところがよかったです。 ・基本的な専門知識を得られた。
	スポーツ科学	30	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツを通して運動時の筋肉のうごきや、スポーツに関しての専門知識を学べた。 ・健康でいるためにどうすれば良いかがよく分かった。身近なことばかりで役に立った。

◆ VIII この授業の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 71】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	医学・医療概論	27	<ul style="list-style-type: none"> ・特定の人ばかりに質問をしていると感じました。 ・レジュメはなかったので、毎回何をするのかを明らかにしてほしいと思った。
	看護学概論	15	<ul style="list-style-type: none"> ・最初ゆっくりしすぎて、時間がなくなり最後に急いで話されると困ります。ムダ話が多く、結局どこが大事なのかわからない。 ・脱線しすぎて何を話しているかわかりませんでした。もっと教科書に沿って授業を進めてほしい。
	基礎看護援助論ⅡB	3	<ul style="list-style-type: none"> ・分かっていない子を置いてけぼりにしていく。質問しても、短い時間しか教えてもらえない子とずっと見てもらっている子がいる。 ・教員の合格基準を統一するべき。理不尽な理由で不合格にされても納得がいかない。
	基礎看護援助論ⅢA	2	<ul style="list-style-type: none"> ・自分達で担当した所を説明するのはいいが、その後、先生による質問、指摘が欲しかった。資料を配るときパソコンで送信したほうがいいのではないかと思った。 ・自分が正しいと思ってやってきても、後で違うといわれたり、何が正しいかが分からなくて、困ったので、デモンストレーションとともに、場合に応じてほしかったです。
	地域看護学概論	3	<ul style="list-style-type: none"> ・グループワークが多い←課題の期限がはやかったりして、あつまることができない。レジュメに大切なことがなかったりした。 ・冬休み中にグループワークが出たので、地元にかえっている子も多くて、個人ワークのようになってしまったと思う。発表までの期限がみじかすぎて、全員が集まれなかつた。←必修で時間割がフルだった。連絡がすべて遅かつた。
	基礎看護援助論Ⅰ	3	<ul style="list-style-type: none"> ・レポートの説明をもっとくわしくしてほしいです。 ・実習の時、先生がやり方を見せてくれたけど、見にくくて、あまり分からなかつた。
	わかやま学	4	<ul style="list-style-type: none"> ・購入した参考文献は必要あったのか検討してほしい。 ・東京合宿について、もう少し改善してほしい。体力的、精神的にきついものだった。

平成30年度 授業評価集計結果(実習・実験科目)

東京医療保健大学 和歌山看護学部

○実習・実験科目数 1科目

○調査対象者数 102人(延人数)

○総回答数 102枚(回答率 100.0%)

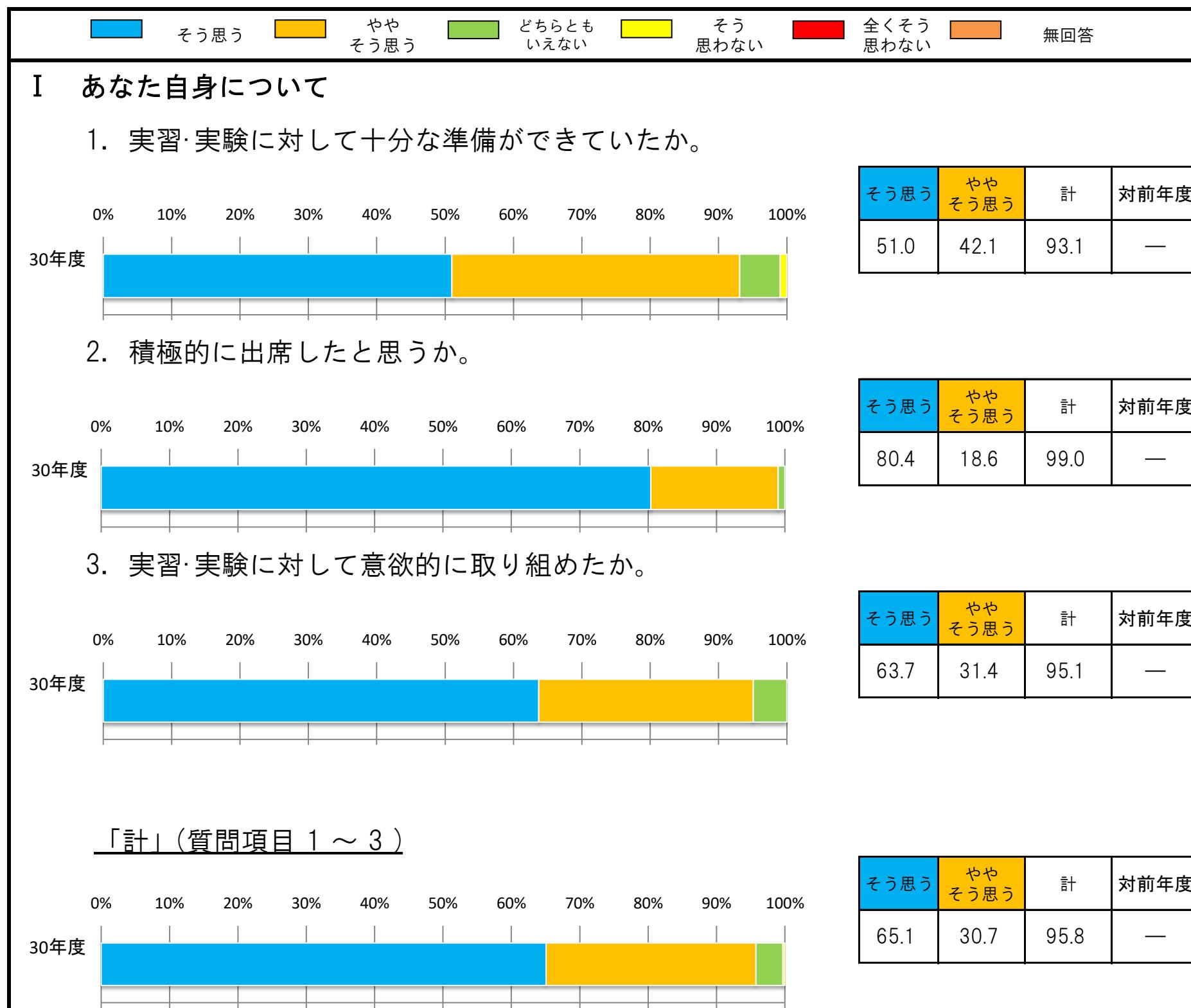
◆ 質問項目別集計結果

質問項目	そう思う (%)	やや そう思う (%)	どちらとも いえない (%)	そう 思わない (%)	全くそう 思わない (%)	無回答 (%)	計 (%)
I あなた自身について							
1. 実習・実験に対して十分な準備ができていたか。	51.0	42.1	5.9	1.0	0.0	0.0	100
2. 積極的に出席したと思うか。	80.4	18.6	1.0	0.0	0.0	0.0	100
3. 実習・実験に対して意欲的に取り組めたか。	63.7	31.4	4.9	0.0	0.0	0.0	100
計	65.1	30.7	3.9	0.3	0.0	0.0	100
II 実習・実験内容について							
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。	50.0	40.2	8.8	1.0	0.0	0.0	100
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。	67.6	27.5	4.9	0.0	0.0	0.0	100
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。	61.8	33.3	4.9	0.0	0.0	0.0	100
7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。	70.6	25.5	2.9	0.0	0.0	1.0	100
計	62.5	31.7	5.4	0.2	0.0	0.2	100
III 教員の考え方・姿勢について							
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。	28.4	45.1	21.6	3.9	1.0	0.0	100
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。	43.1	35.3	19.6	2.0	0.0	0.0	100
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。	43.1	41.2	9.8	3.9	2.0	0.0	100
11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。	29.4	50.0	10.8	6.9	2.9	0.0	100
12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。	37.3	31.4	17.7	6.9	6.9	0.0	100
13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。	50.0	28.4	16.7	2.9	1.0	1.0	100
14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。	36.3	38.3	19.6	2.9	2.9	0.0	100
計	38.2	38.5	16.6	4.2	2.4	0.1	100
IV 総合評価							
15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。	43.1	42.2	9.8	1.0	2.0	2.0	100
全質問項目の平均	50.4	35.4	10.6	2.2	1.3	0.3	100

◆ 年度別 授業評価アンケート集計結果（実習・実験科目）

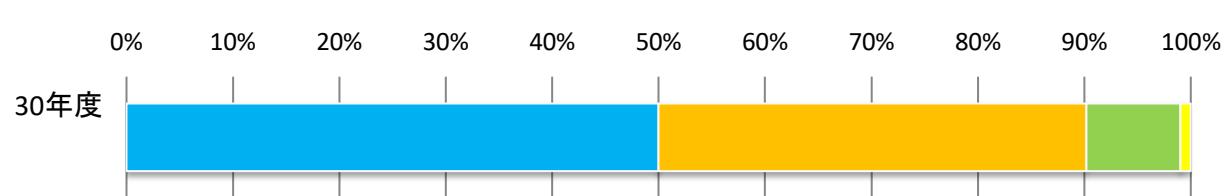
	30年度
全科目数	1科目
調査対象者数	102人
総回答数(回答率)	102枚(100.0%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

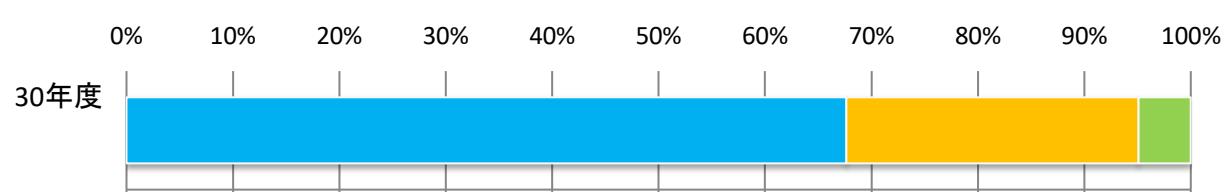


II 実習・実験内容について

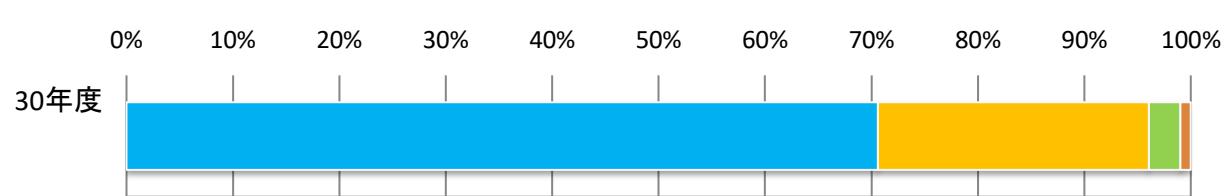
4. 実習・実験内容をよく理解できたと思うか。



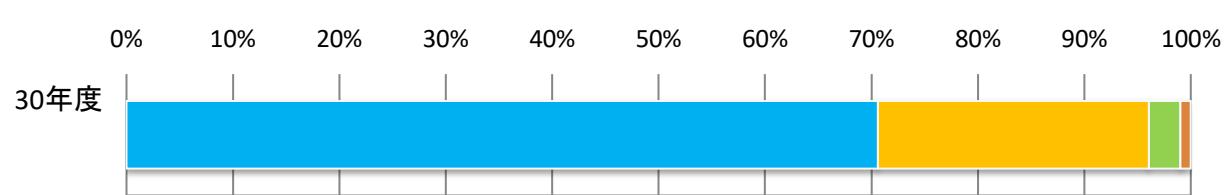
5. 基本的な専門知識が得られたと思うか。



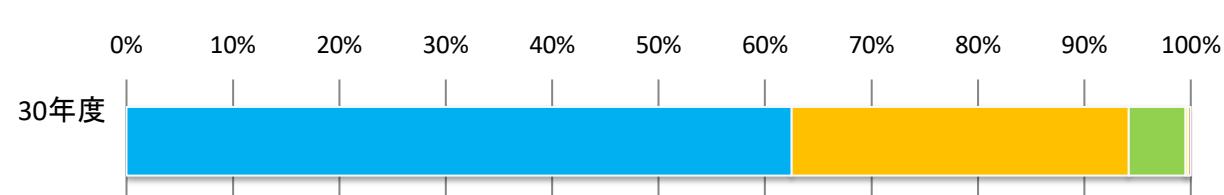
6. 自分にとって新しい考え方や発送が得られたと思うか。



7. この実習・実験は発展的な学びにつながる内容と思うか。

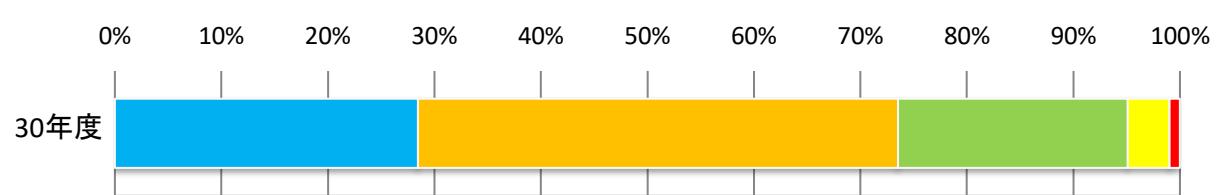


「計」(質問項目 4 ~ 7)

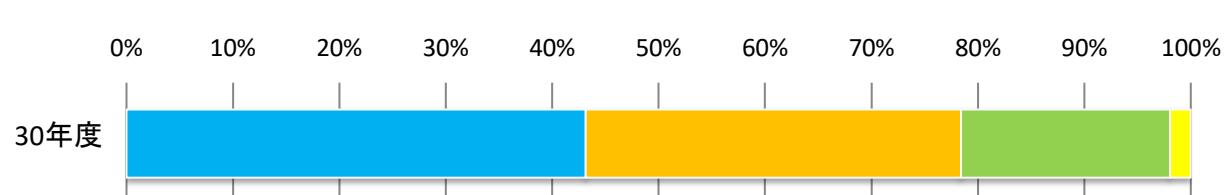


III 教員の考え方・姿勢について

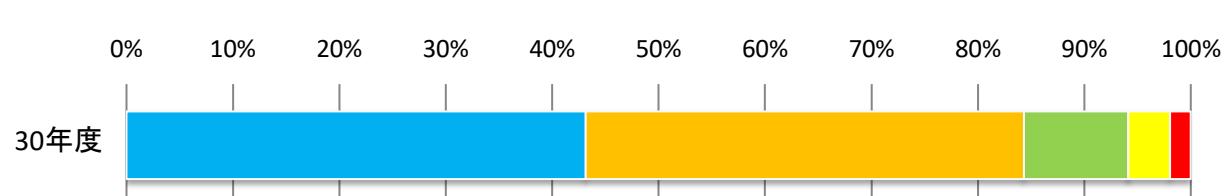
8. シラバスは学修する上で役に立ったと思うか。



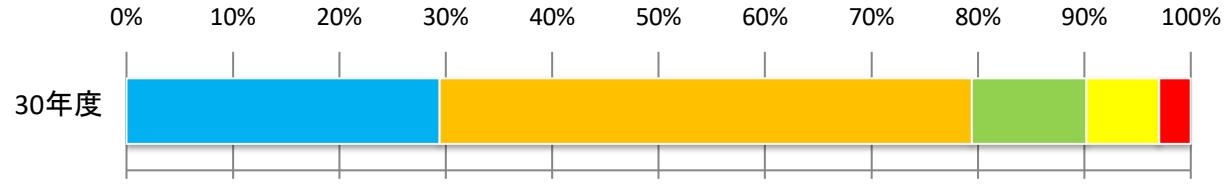
9. 学習しやすい実習・実験環境(静かな環境等)が保たれていたと思うか。



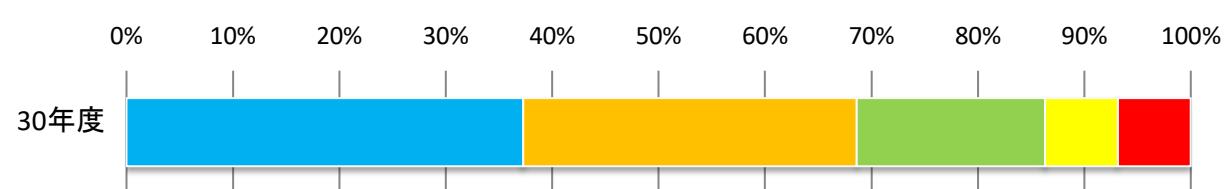
10. 教員の声や言葉は明瞭で聞き取りやすかったと思うか。



11. 教員は学生が質問や意見を述べられるように配慮したと思うか。

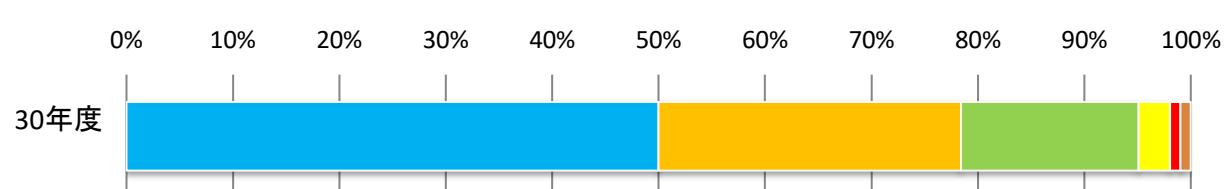


12. 教員は限られた実習・実験時間を適切に活用したと思うか。



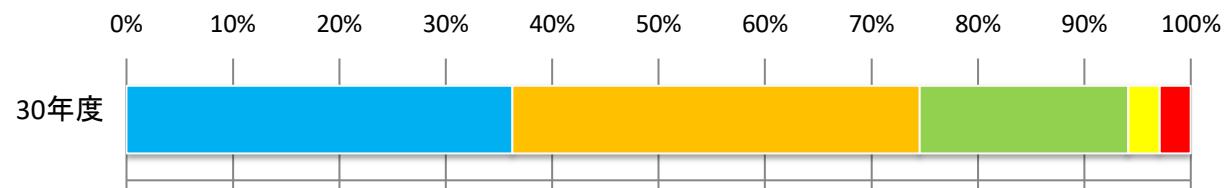
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
37.3	31.4	68.7	—

13. 教員は実習・実験に熱意を持って臨んでいたと思うか。



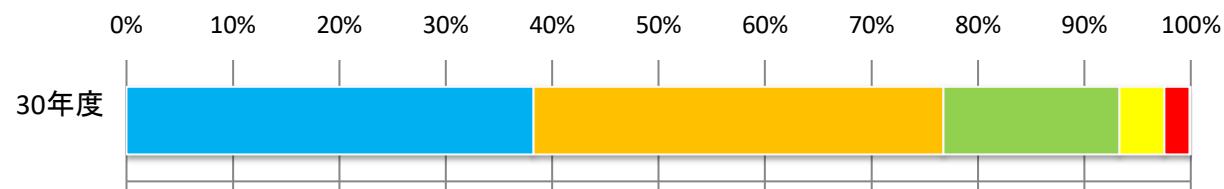
そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.0	28.4	78.4	—

14. 教員は学生の理解度を確認しながら実習・実験を行ったと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
36.3	38.3	74.6	—

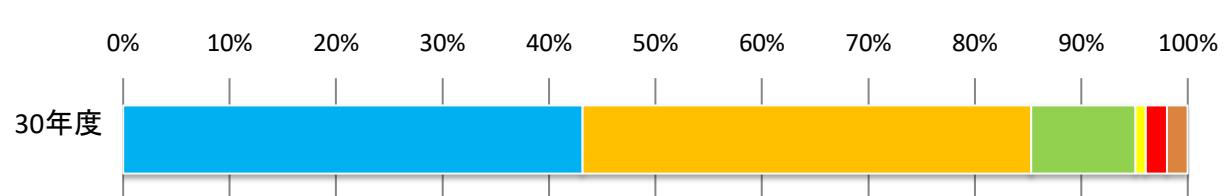
「計」(質問項目 8 ~ 14)



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
38.2	38.5	76.7	—

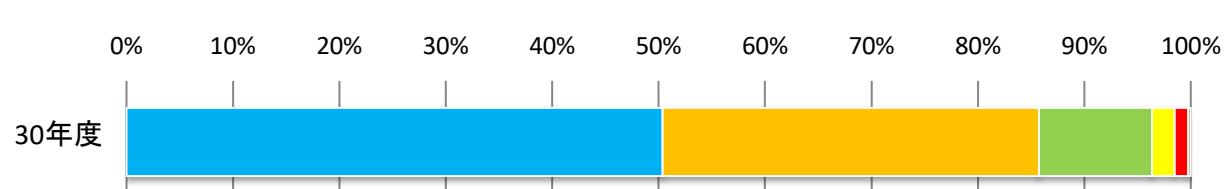
IV 総合評価

15. この実習・実験は総合的に満足できたと思うか。



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
43.1	42.2	85.3	—

全質問項目の平均



そう思う	やや そう思う	計	対前年度
50.4	35.4	85.8	—

◆ VI この実習・実験を受けて良かったと思うことがありますか。【総数 3】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習 I	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題が見つかった。 ・看護師の仕事を近くで見て知らなかつたことを理解することができたこと。

◆ VII この実習・実験の進め方等について改善を図るべき事項はありますか。【総数 8】

学科	主な科目名	件数	主な内容
看護学科	基礎看護援助実習 I	8	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート3枚になぜ設定したのか、その理由を知りたい。 ・どのようなことを主に勉強すればいいか分からなかった。 ・生徒を注意するときに、同じ事を何回も言うときがあるので、1回で理解しているので大丈夫です。 ・用意するものを1回でまとめて教えてほしい。レポートが多い。

平成 30 年度 大学院医療保健学研究科の授業評価結果に対する考察

大学院医療保健学研究科長 坂本 すが

1. 授業評価アンケートについて

- 14 の質問項目全体の授業評価集計結果は、全体的に高評価でした。前年度別の比較では、「そう思う」と「ややそう思う」を含めると平均 90.6%で前年度の 90.3%より 0.3 ポイント上昇しました。
- 14 項目中の 7 項目は 90%以上の評価でしたが、「授業内容を良く理解できたと思うか」が 83.4% (前年度 76.2%) 全項目中の最低でした。また、「この授業は期待していた通りの内容でしたか 87.4% (前年度 88.6%) 」という質問に対しでは前年度より 1.2% 減少していました。
「この授業の進め方は適切であったと思うか 89.3% (前年度 88.5%) 」、
「教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思うか 87.7% (前年 85.7%) 」
でわずかに改善されているとはいえ、90%以下でした。
- 大学院の授業評価は対象となる人数も少ないため、アンケート形式だけでなく面接形式など併用することを検討することも必要ではないかと考えます。
- 大学院の授業は少人数の受講者であり、かえって個々の受講者の学習状況や関心に合わせて講義をすることは、例えば教材などの工夫も難しいと感じます。
- 質問に対する回答は、全体としては肯定的でしたが、授業内容は理解できたか、授業の教材・教具などは適切であったか、期待通りであったかなどの項目が低い傾向が見られました。受講人数が少ないと回答者の背景を考えると、個人の意見であるのか、大学院生の一般的意見として評価につなげてよいのか、授業評価アンケートを再検討すべき点があると考えます。
- 授業評価集計結果から、低下および評価が低めの項目に対しては研究科長会議を開催し、講義方法の改善に努めていきます。今後も大院生が授業に積極的に取り組めるような講義方法を行うなどの工夫が必要であると考えます。
- 次年度においては、新カリキュラムにおける科目調整を行うことにより改善していくきたいと考えています。

2. 授業において工夫した点

- 全領域の教員は、社会人対象で土曜日開校を実施している大学院として、院生が計画的に取り組めるように、最初のガイダンスでスケジュールを提示したり事前課題の出し方など、学生の負担感を考慮した工夫をしています。
- 課題を出す場合は、学習内容が実践と結びつくような内容とし、授業ではディスカッションを積極的に取り入れています。
- 事前課題に取り組む時間と講義内で十分にディスカッションできる時間を確保するよう調整もしています。

- 助産学では医療機器製造工場の見学、助産院や乳児院、沖縄島嶼医療での体験など、ユニークな取り組みを通しての学外学習も行っています。
- 例年の研究報告会などから、研究の視点が乏しい院生が多い印象を受けます。授業の中で、業務における漠然とした疑問が明確なリサーチクエスチョンに繋がること、そして遂行した研究結果が、その後の医療保健の根拠となっていくことを印象づけるよう工夫しています。授業を十分に理解できるように授業中及び授業後に質問を受け、また参考資料をできるだけ配付しています。

3. 授業評価結果を今後の授業にどの様に生かしていくか

- 高い評価が得られた項目は継続して取り組みたいと思います。質問1の「この授業に意欲的に取り組めたと思うか」や質問3の「授業内容をよく理解できたと思うか」が他の項目と比べると低いため、課題や授業内容を履修者の関心やレベルに合せて検討していきます。
シラバス全体の中の担当回の授業であることから、他の担当者の授業内容にも配慮し、授業の位置づけや意義について説明しています。
- 教員からの意向もあり英文抄録を読む演習を取り入れています。一部の院生には負担に感じられていることも承知していますが、修士課程では求められるレベルだと思いますので、今後も続けたいと思います。
- 課題は、こちらの指示するテーマに合った英文論文を探して、概要をまとめるものですが、能力として、求めている論文を pubmed などから探し出せること、英文の論文を読んでそれを概説できることは求めていますが、それが主たる目的ではなく、この科目で学んだポイントを押さえられているかを把握するための課題であり、そのあたりを継続していきたいと思います。
教材に関する項目の評価が低い傾向にあるため、今後は映像なども使用し、さらに分かりやすくイメージしやすい授業を実施していこうと考えています。
- 授業を楽しく理解させるために質問に丁寧に答えるとともに研究に対する姿勢を事前の経験を通じて“努力”なくして、成熟しないことを教えていきたいと思います。

4. その他の記述

- 「わからないことをもっと理解したかった。事前課題の連絡・調整が混乱して困った。課題が複数重なっていたので…」といった自由記載からの意見があり、教員は事前課題など予定できるように工夫をしています。問題には前向きに取り組んでいるため、この辺の調整がさらにできると良いと思います。
しかしながら、教員は大学院生が自ら考え方行動できる能力を培える教育を探求し実行していきたいと考えています。大学院生も積極的に教員とコミュニケーションを取り、多くの本や文献を読み、積極的に授業や演習に取り組み、自信を持って頑張って欲しいと思います。

- 全領域の大学院生が受講することから、講義内容とそのレベルの設定に、毎年悩んでいます。「期待していた通りの内容」かどうかの設問があるが、大学院生が何を期待しているのかを知る必要があり、自由記述にそういったことを書いてもらえるとか、声に出して風通しの良い大学院生活にしていけるようにと願っています。
- 大学院生たちの経歴はそれぞれ違うため、当然感想が同じでないことは理解しています。「院生室の環境の改善、ＰＣ等のバージョンアップや部屋の清掃、備品整備など改善してほしい。」という意見があったので、教室環境の整備について検討していきたいと考えています。

以上

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程

○全科目数 45科目

○調査対象者数

○総回答数

471人（延人数）

300枚（回答率64%）

◆ 質問項目別集計結果

【上段（）は平成29年度集計結果】

(%)

質問項目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	そう思わない	全くそう思わない	無回答	計
1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか	(45.2)	(46.2)	(8.1)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	63.3	30.7	6.0	0.0	0.0	0.0	100.0
2.この授業に興味、関心が持てたと思いますか	(59.0)	(35.7)	(4.8)	(0.5)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	72.0	23.3	4.7	0.0	0.0	0.0	100.0
3.授業内容をよく理解できたと思いますか	(30.5)	(45.7)	(21.4)	(2.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	33.7	49.7	16.0	0.6	0.0	0.0	100.0
4.この授業内容は将来役立つと思いますか	(58.6)	(36.6)	(4.8)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	73.3	21.7	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0
5.この授業は期待していた通りの内容でしたか	(46.2)	(42.4)	(11.4)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	61.7	25.7	10.0	2.3	0.3	0.0	100.0
6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか	(52.9)	(36.7)	(9.5)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	67.0	20.0	10.7	2.0	0.3	0.0	100.0
7.授業はシラバスに沿って行われただと思いますか	(56.2)	(35.7)	(8.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	71.3	21.4	6.3	0.7	0.3	0.0	100.0
8.この授業の進め方は適切だったと思いますか	(55.5)	(33.0)	(10.0)	(1.4)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	66.0	23.3	8.0	2.0	0.7	0.0	100.0
9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか	(49.8)	(37.3)	(12.9)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	63.0	27.4	7.3	2.0	0.3	0.0	100.0
10.教員は質疑応答の機会を適切に作っただと思いますか	(58.1)	(31.4)	(9.5)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	68.3	22.7	7.0	1.0	1.0	0.0	100.0
11.教員は限られた授業時間を適切に活用しただと思いますか	(55.7)	(35.7)	(4.6)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	68.7	22.3	6.3	2.0	0.7	0.0	100.0
12.教員は授業に熱意を持って臨んでいただと思いますか	(67.6)	(27.1)	(4.3)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	76.3	18.0	3.7	0.7	1.3	0.0	100.0
13.教員は学生のレベルを把握して授業を行っただと思いますか	(47.6)	(38.1)	(13.3)	(1.0)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	60.7	27.0	10.0	1.3	1.0	0.0	100.0
14.この授業は総合的に満足出来ただと思いますか	(56.7)	(34.8)	(7.5)	(0.0)	(0.0)	(1.0)	(100.0)
	62.3	28.0	8.3	1.3	0.7	0.0	100.6
全質問項目の平均	平成29年度	(52.8)	(36.9)	(9.5)	(0.7)	(0.0)	(0.1)
	平成30年度	64.8	25.8	7.8	1.1	0.5	0.0
							100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 医療保健学研究科 修士課程

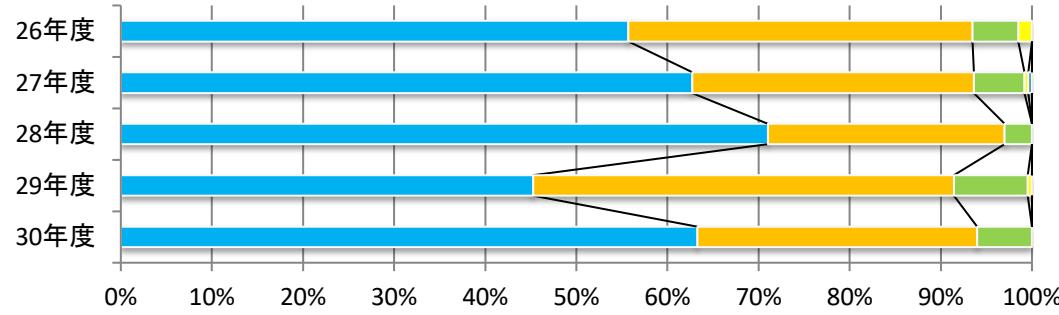
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	48科目	55科目	52科目	52科目	45科目
調査対象者数（延人数）	314人	421人	379人	428人	471人
総回答数（回答率）	202枚 (64%)	269枚 (64%)	212枚 (56%)	210枚 (49%)	300枚 (64%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

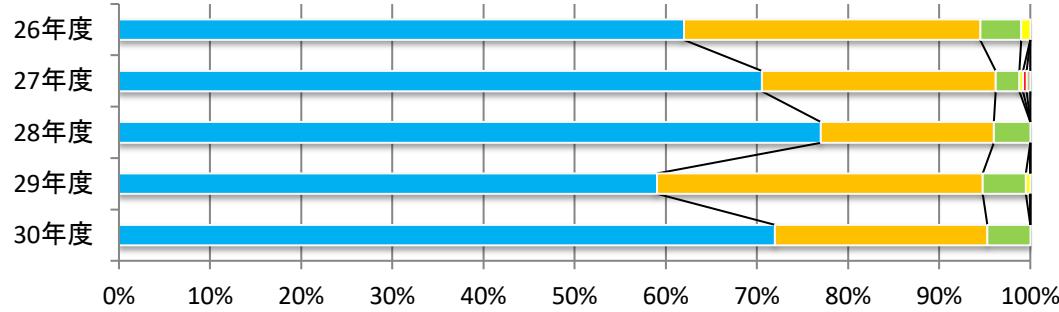
■ そう思う ■ ややそう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか



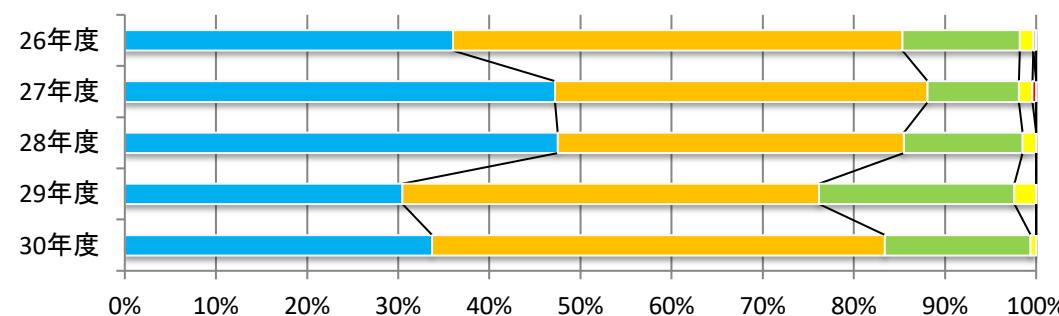
	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
26年度	55.7	37.8	93.5	—
27年度	62.8	30.9	93.7	+0.2
28年度	71.0	26.0	97.0	+3.3
29年度	45.2	46.2	91.4	△ 5.6
30年度	63.3	30.7	94.0	+2.6

Q2.この授業に興味・関心が持てたと思いますか



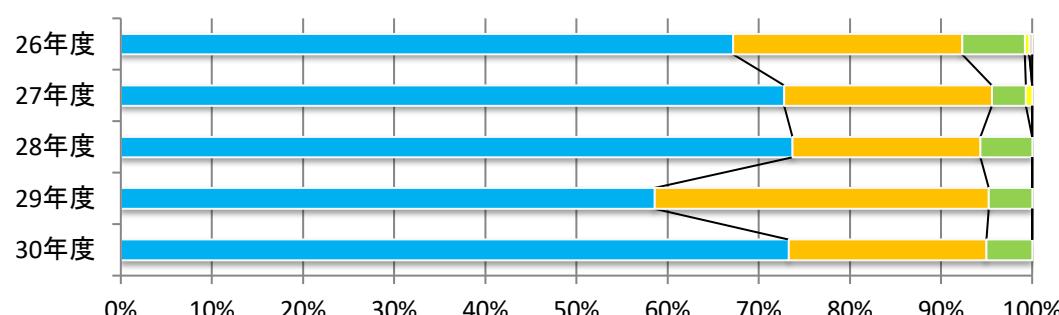
	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
26年度	62.0	32.5	94.5	—
27年度	70.6	25.7	96.3	+1.8
28年度	77.0	19.0	96.0	△ 0.3
29年度	59.0	35.7	94.8	△ 1.2
30年度	72.0	23.3	95.3	+0.5

Q3.授業内容をよく理解できたと思いますか



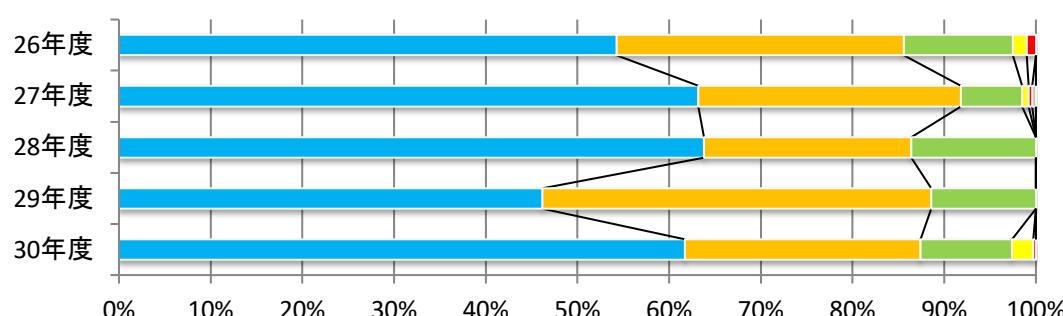
	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
25年度	38.6	46.8	85.4	—
26年度	36.1	49.5	85.6	+0.2
27年度	47.2	40.9	88.1	+2.5
28年度	47.5	38.0	85.5	△ 2.6
30年度	33.7	49.7	83.4	△ 2.1

Q4.この授業は将来役立つと思いますか



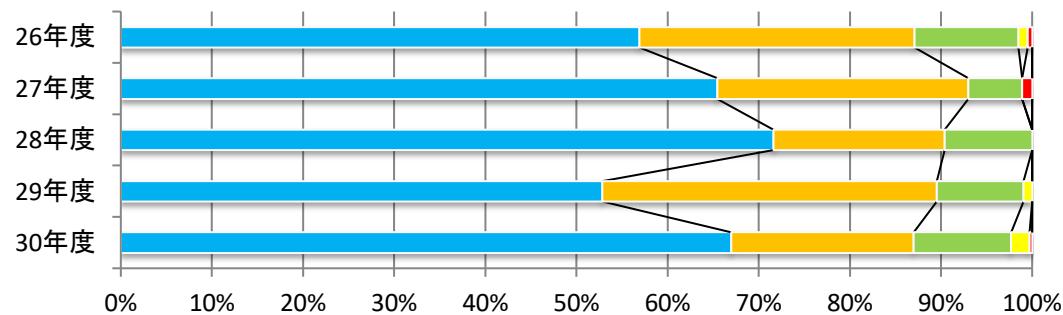
	そう思う	ややそう思う	計	対前年度
26年度	67.4	25.2	92.6	—
27年度	72.5	22.7	95.2	+2.6
28年度	73.7	20.6	94.3	△ 0.9
29年度	58.6	36.7	95.2	+0.9
30年度	73.3	21.7	95.0	△ 0.2

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか



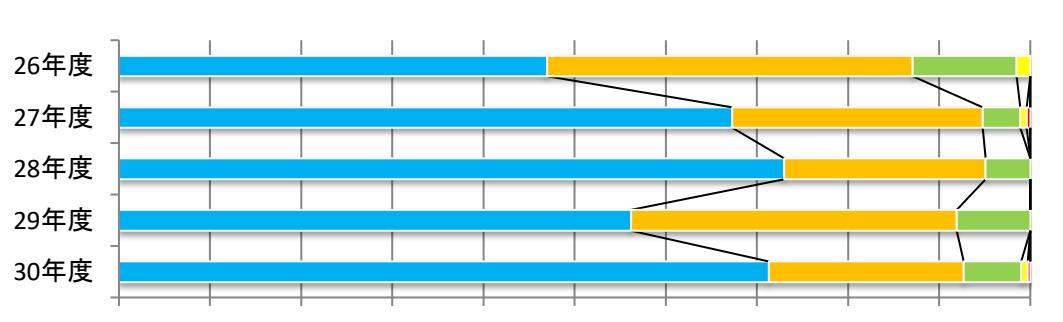
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	54.3	31.3	85.6	—
27年度	63.2	28.6	91.8	+6.2
28年度	63.8	22.6	86.4	△ 5.4
29年度	46.2	42.4	88.6	+2.2
30年度	61.7	25.7	87.4	△ 1.2

Q6.この授業を、ほかの人にも勧めたいと思いますか



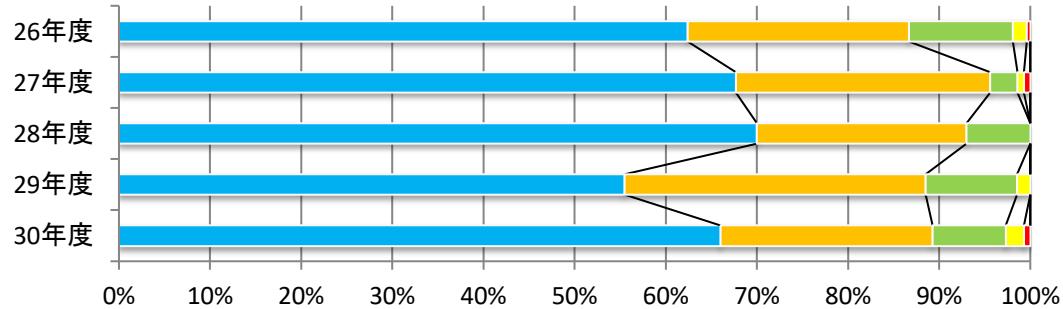
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	56.9	30.2	87.1	—
27年度	65.4	27.5	92.9	+5.8
28年度	71.6	18.8	90.4	△ 2.5
29年度	52.9	36.7	89.5	△ 0.9
30年度	67.0	20.0	87.0	△ 2.5

Q7.授業はシラバスに沿って行われたと思いますか



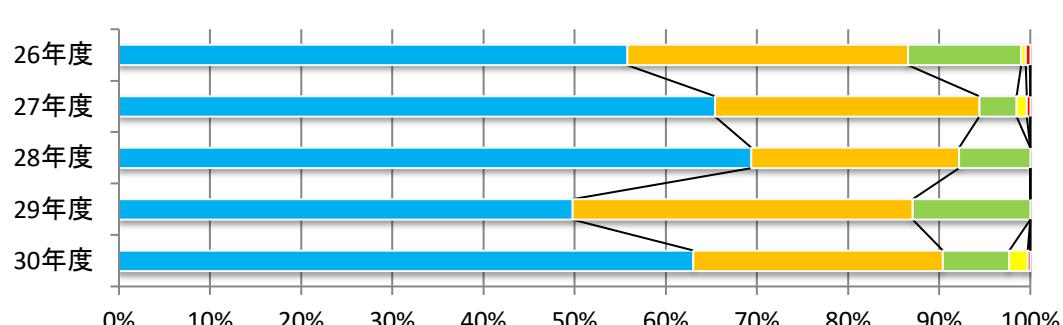
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	47.0	40.1	87.1	—
27年度	67.3	27.5	94.8	+7.7
28年度	73.0	22.1	95.1	+0.3
29年度	56.2	35.7	91.9	△ 3.2
30年度	71.3	21.4	92.7	+0.8

Q8.この授業の進め方は適切だったと思いますか



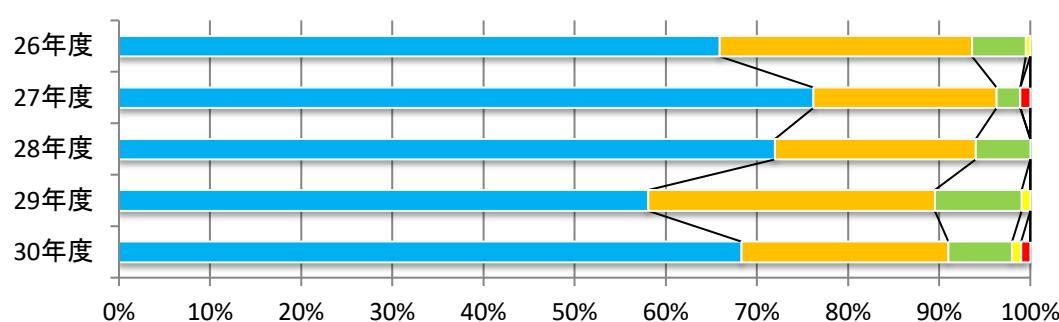
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	62.4	24.3	86.7	—
27年度	67.7	27.9	95.6	+8.9
28年度	70.0	23.0	93.0	△ 2.6
29年度	55.5	33.0	88.5	△ 4.5
30年度	66.0	23.3	89.3	+0.8

Q9.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか



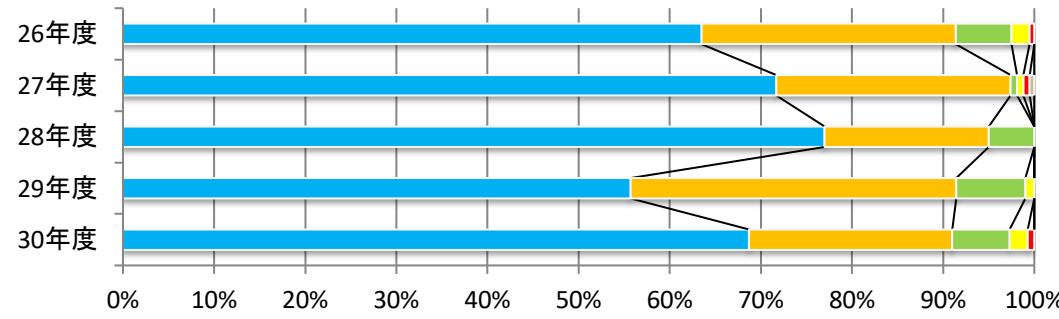
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	55.8	30.8	86.6	—
27年度	65.4	29.0	94.4	+7.8
28年度	69.4	22.8	92.2	△ 2.2
29年度	49.8	37.3	87.1	△ 5.1
30年度	63.0	27.4	90.4	+3.3

Q10.教員は質疑応答の機会を適切に作ったと思いますか



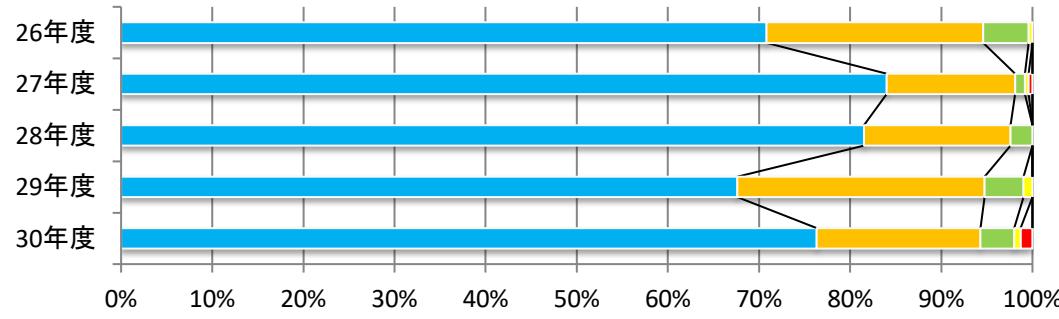
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	65.9	27.7	93.6	—
27年度	76.2	20.1	96.3	+2.7
28年度	72.0	22.0	94.0	△ 2.3
29年度	58.1	31.4	89.5	△ 4.5
30年度	68.3	22.7	91.0	+1.5

Q11.教員は限られた授業時間を適切に活用したと思いますか



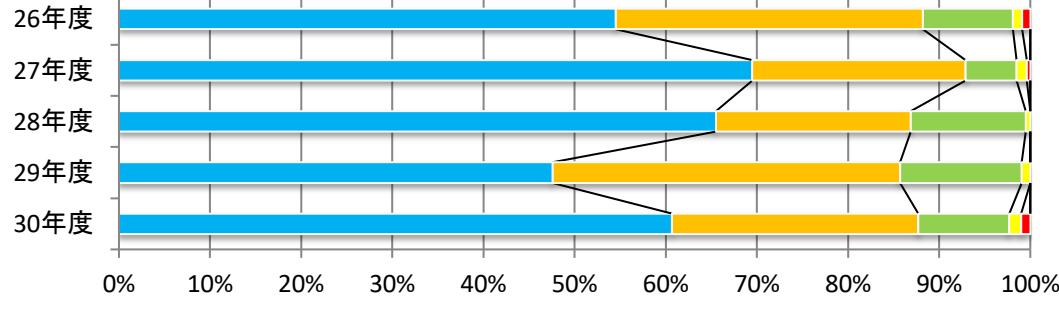
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	63.5	27.9	91.4	—
27年度	71.7	25.7	97.4	+6.0
28年度	77.0	18.0	95.0	△ 2.4
29年度	55.7	35.7	91.4	△ 3.6
30年度	68.7	22.3	91.0	△ 0.4

Q12.教員は授業に熱意を持って臨んでいたと思いますか



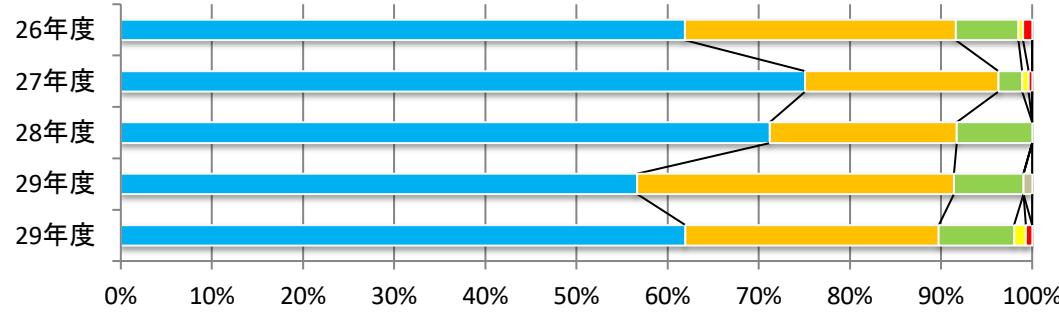
	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	70.8	23.8	94.6	—
27年度	84.0	14.1	98.1	+3.5
28年度	81.5	16.1	97.6	△ 0.5
29年度	67.6	27.1	94.8	△ 2.8
30年度	76.3	18.0	94.3	△ 0.5

Q13.教員は学生のレベルを把握して授業を行ったと思いますか
(24年度新規質問項目)



	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	54.5	33.7	88.2	—
27年度	69.5	23.4	92.9	+4.7
28年度	65.5	21.4	86.9	△ 6.0
29年度	47.6	38.1	85.7	△ 1.2
30年度	60.7	27.0	87.7	+2.0

Q14.この授業は総合的に満足出来たと思いますか

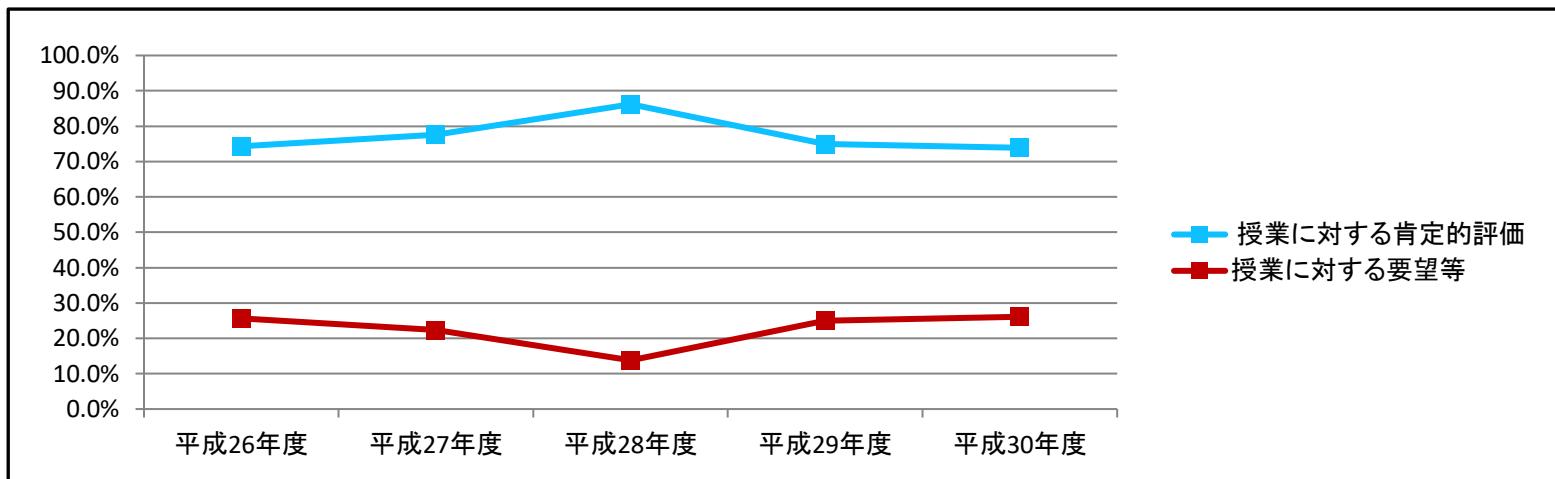


	そう思う	やや そう思う	計	対前年度
26年度	61.9	29.7	91.6	—
27年度	75.1	21.2	96.3	+4.7
28年度	71.2	20.5	91.7	△ 4.6
29年度	56.7	34.8	91.4	△ 0.3
30年度	62.3	28.0	90.3	△ 1.1

◆ 年度別 自由記述集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
授業に対する肯定的評価	(77.6%) 59	(86.2%) 75	(75.0%) 48	(75.4%) 49	(74.0%) 108
授業に対する要望等	(22.4%) 17	(13.8%) 12	(25.0%) 16	(24.6%) 16	(26.0%) 38
総件数	(100.0%) 76	(100.0%) 87	(100.0%) 64	(100.0%) 65	(100.0%) 146

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す



◆ 自由記述の主な内容（平成30年度）

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	108	<p>自分の視野の狭さが改めてわかり、多くの人、先生方の考え方や、視点が聞けて、とても参考になった。これからは、もっと視野を広くもち、先を見て考えられるよう、意識しようと思った。</p> <p>英語の論文は、ハードルが高かったのですが、先生が授業の中で読むトレーニングとして、時間を十分にとって下さり、とにかく読むための努力をすること、トライすることの大切さがわかりました。栄養学は量的に結果を、データとして抽出して何がわかったかという論文が多く、看護の量的研究とは違った、論文を読む機会となって、知識が増えて良かったです。</p> <p>倫理審査の申請書の作成方法が具体的で参考になりました。 食中毒の知識の復習が出来ました。安全に対する分析方法が具体的で職場の問題解決に活かしたいと思います。</p> <p>これまでデータ収集を伴う研究を行ったことがなく量的研究のデータの見方もよくわからず苦手意識があった。しかし、今回の講義によって、少しだけだが自分でも実施できるような気持ちになれた。統計に興味がもてた。</p> <p>医療経営については、今までよく考える機会がなかったが、あらかじめ自分でも勉強してから、講義にのぞめたことで興味をもってより多くの学びができた。先生方も多方面から話が聞け、とても満足いく内容でした。</p> <p>統計学を今まで学んだことがなかったので、とても難しく感じましたが、講義や著書の内容が分かりやすく振り返ることができました。ですが例題は解説があつて初めて分かったりすることが多かったので、理解に辿りつくまでもう少し復習をしっかりやらなければいけないと感じました。</p> <p>自由に思ったことが言える授業の雰囲気がとてもよかったです。「学習する組織」の理解はまだ不十分ですが、部署の課題の解決の糸口となりました。ありがとうございました。</p> <p>大学院での授業がどのように行われ、どのように進んでいくのかが分かっていなかったので、初めはとても戸惑ったが、先生が進行してくださったので授業を進めることができた。自分の学習を人へどう伝えるか。自分の考えを話す事がまだうまくできないが、この授業で学んだことによって少しずつ理解しているところです。</p>
授業に対する要望等	38	<p>英語論文の翻訳をあてられるため、英語の意味を調べることに集中してしまい、講義内容がなかなか聞けなかった。</p> <p>わからない所をもっと理解したかった。プリントが少なかった。</p> <p>事前課題の連絡、調整が混乱するような形でしたので、少し困りました。</p>
計	146	

平成 30 年度 大学院看護学研究科の授業評価結果に対する考察

副学長・研究科長

草間 朋子

授業評価の対象科目数は、それぞれ高度実践看護コース 20 科目、高度実践助産コース 28 科目、看護科学コース 16 科目であり、授業評価に回答した大学院生は、各コース延べ 210 名（回答率：90.1%）、152 名（72.4%）、19 名（100%）であり、高度実践助産コースの回答率が他の 2 つのコースに比べて低く、また同コースの授業評価の回答率は年度による差が大きいという状況です。授業評価の結果は、カリキュラム編成、シラバス、教育方法等の改善に活用しているので安定した回答率が得られるよう学生に働きかけをしていく必要があります。

高度実践看護、高度実践助産、看護科学コースの全授業評価対象科目についての総合的な満足度は、「非常にそう思う」「そう思う」の回答が、それぞれ 95.7%、78.3%、94.7% であり、高度実践看護、看護科学の両コースでは例年に比べ 20% 以上高く、平成 30 年度は 9 割以上の学生が授業に対して、大方満足しているとの結果が得られました。授業に対する満足度が高いことは、自由記述の意見からも明らかであり、例年は授業に対する否定的な意見が約 40% を占めていましたが、本年度は肯定的な意見が高度実践看護、看護科学コースでそれぞれ 75%、78% を占め、担当教員への感謝の気持ちが自由記述された意見の行間から読み取ることができました。昨年の授業評価の結果などを参考に、各担当教員が学生のニーズを的確に把握し、学生のレベルに合わせた授業展開を行った結果であると考えています。

授業に対する満足度が高いことは、学生自身の授業態度に対する自己評価の結果にも表れており、「授業に意欲的に取り組めたか」の質問に対して、高度実践看護コース、看護科学コースの学生は、それぞれ 99.1%、100% が「非常にそう思う」または「そう思う」と肯定的な回答をしています。「よく自己学習をしたか」の質問に関しても、高度実践看護コース、看護科学コースの学生のそれぞれ 82.3%（平成 29 年度は 55.5%）は、89.5%（平成 29 年度は 64.3%）が肯定的な回答をしています。学生が満足する授業の展開をすることが、学生の学修意欲を高めることにつながることが授業評価の結果からも明らかです。一方、高度実践助産コースの学生に関しては、「授業に意欲的に取り組めたか」「よく自己学習をしたか」の質問に対する肯定的な回答は、それぞれ 81.5%、72.8% であり、他の 2 つのコースに比べて、授業への取り組み姿勢・意欲が低いことが明らかになっています。高度実践看護コースの学生は、5 年以上の看護師としての臨床経験を経た後に大半が休退職し大学院生として昼夜学習しており、看護科学コースの学生は、就労しながら 18 時以降に開講される夜間の授業に通っているのに対し、高度実践助産コースの学生の大半は、学部学生から引き続いて大学院生として就学しているという背景が、学生の就学のモチベーションに関係していると推測することができます。高度実践助産コースの学生の授業評価の結果は学部学生の傾向と類似しています（定量的な結果及び自由記述の意見の記載がほとんどないこと等）。担当教員は、助産師に対する社会的な期待等を学生自身に認識させ、学生の学習意欲を引き出していく必要があります。

平成 30 年度の授業評価の結果は、高度実践看護コースおよび看護科学コースに関しては学生自身の授業態度、授業内容ともに、例年なく高い評価結果が得られ、安堵しています。

授業評価は、大学院教育全体のアウトカム評価の一部でしかないが、今後も学生からの高い評価を得られる努力をしていきます。

大学院課程の教育全体のアウトカム評価を、どのような方法で行うかを計画し、その結果を社会に公表していくことが重要であると考えます。当面のアウトカム評価の一つとして、「高度実践看護コース」の学生に対しては日本 NP 教育大学院協議会の実施する「NP 資格試験」、「高度実践助産コース」に対しては「助産師国家試験」の合格率が挙げられますので、いずれも 100% であり本大学院の到達目標を達成しています。また、助産師教育に関しては「助産師に求められる実践能力と卒業時の到達目標」として厚労省が提示しているレベルに到達しているかどうかの評価の導入を検討して、助産師教育が大学院教育、学部教育、専攻科教育等多様化している現状の中で、本学が大学院教育で助産師を育成しているメリットを社会にアピールしていく必要があると考えています。

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

○全科目数 64科目

○調査対象者数 462人（延人数）

○総回答数 381枚（回答率82.5%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成29年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(22.5)	(57.4)	(17.3)	(2.7)	(0.2)	(100.0)
	43.7	48.4	7.4	0.5	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(10.5)	(60.5)	(25.8)	(3.2)	(0.0)	(100.0)
	28.7	57.9	12.4	1.1	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	14.9	44.8	32.4	7.4	0.5	100.0
	30.3	48.5	17.2	4.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(36.9)	(47.7)	(14.0)	(1.4)	(0.0)	(100.0)
	51.1	40.8	7.4	0.8	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(18.3)	(49.1)	(27.3)	(5.0)	(0.2)	(100.0)
	37.9	49.7	11.1	1.3	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(15.0)	(50.6)	(28.5)	(5.9)	(0.0)	(100.0)
	36.1	50.3	12.1	1.6	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(14.4)	(48.9)	(32.7)	(4.0)	(0.0)	(100.0)
	37.6	49.7	11.3	1.3	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(18.3)	(55.9)	(22.8)	(2.9)	(0.0)	(100.0)
	40.5	49.5	8.9	1.1	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成29年度	(18.8)	(51.9)	(25.1)	(4.1)	(0.1)
	平成30年度	38.2	49.4	11.0	1.4	0.0
						100.0

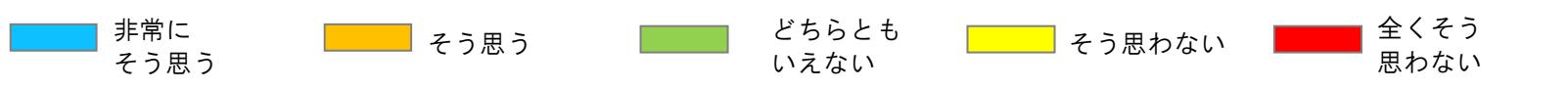
授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程

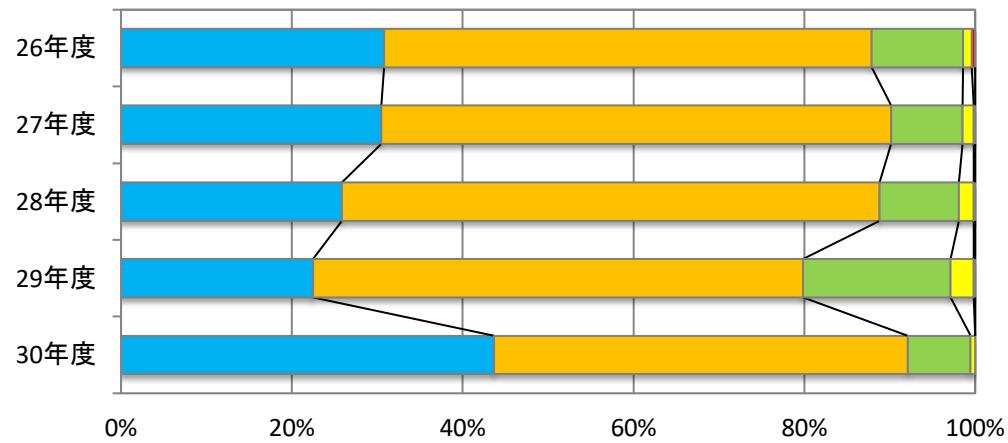
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	63科目	67科目	66科目	59科目	64科目
調査対象者数（延人数）	584人	608人	621人	632人	462人
総回答数（回答率）	497枚 (85.1%)	549枚 (90.3%)	572枚 (92.1%)	557枚 (88.1%)	381枚 (82.7%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

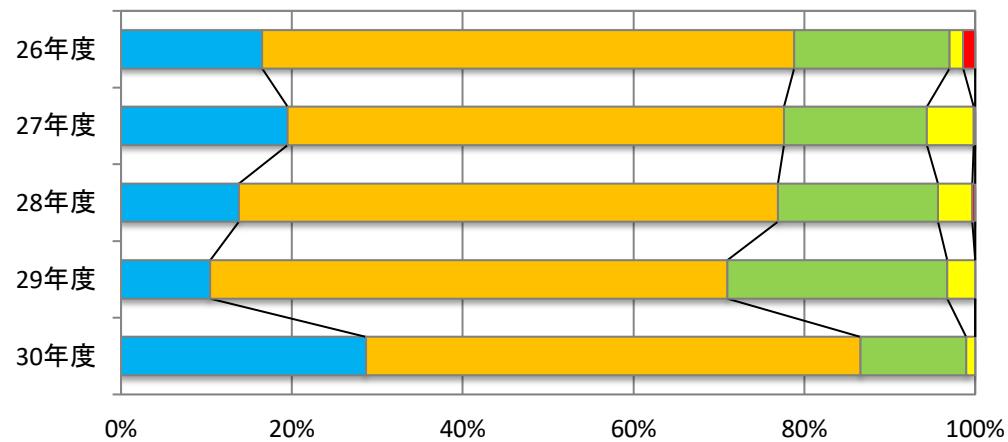


Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



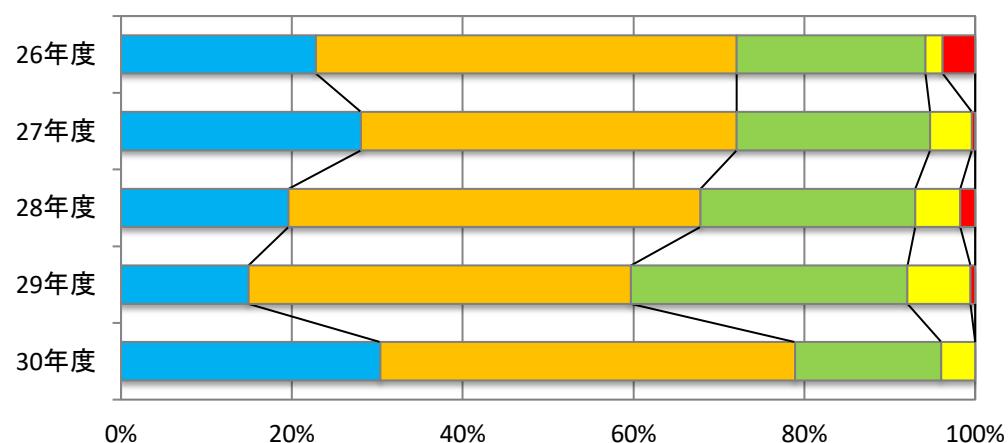
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	30.8	57.1	87.9	—
27年度	30.5	59.7	90.1	+2.2
28年度	25.9	62.9	88.8	△ 1.3
29年度	22.5	57.4	79.9	△ 9.0
30年度	43.7	48.4	92.1	+12.2

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



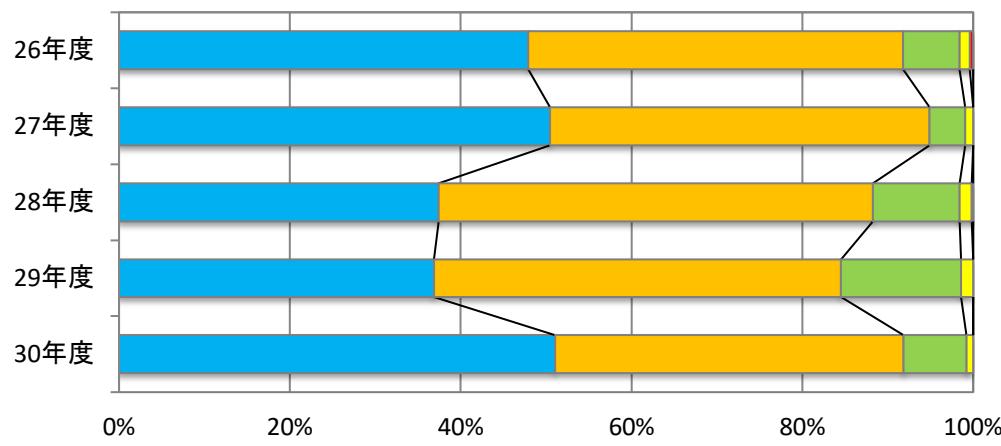
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	16.5	62.3	78.8	—
27年度	19.5	58.1	77.6	△ 1.2
28年度	13.8	63.1	76.9	△ 0.7
29年度	10.5	60.5	71.0	△ 5.9
30年度	28.7	57.9	86.6	+15.6

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



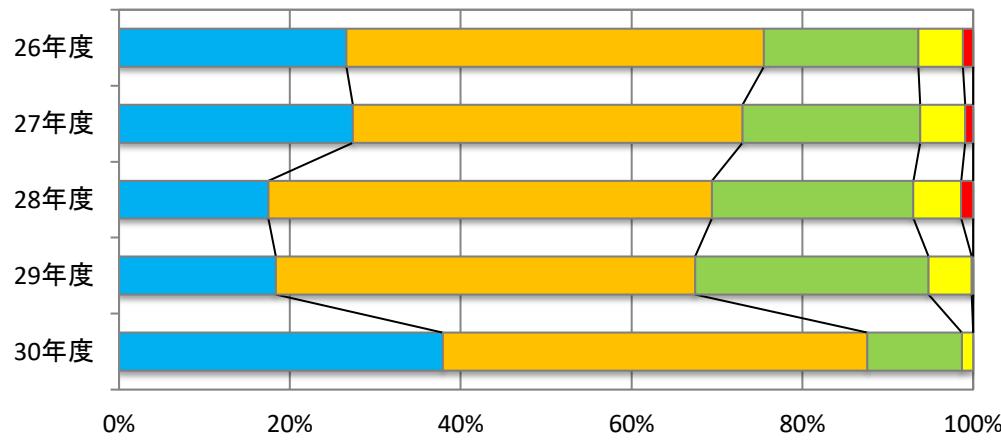
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	22.8	49.3	72.1	—
27年度	28.1	44.0	72.1	0.0
28年度	19.6	48.3	67.9	△ 4.2
29年度	14.9	44.8	59.7	△ 8.2
30年度	30.3	48.5	78.9	+19.2

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



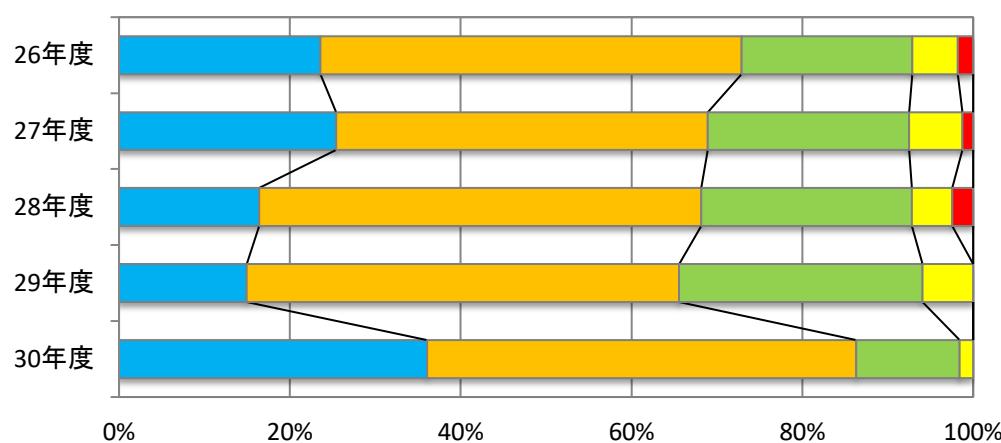
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	47.9	43.9	91.8	—
27年度	50.5	44.4	94.9	+3.1
28年度	37.4	50.9	88.3	△ 6.6
29年度	36.9	47.7	84.5	△ 3.8
30年度	51.1	40.8	91.8	+7.3

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



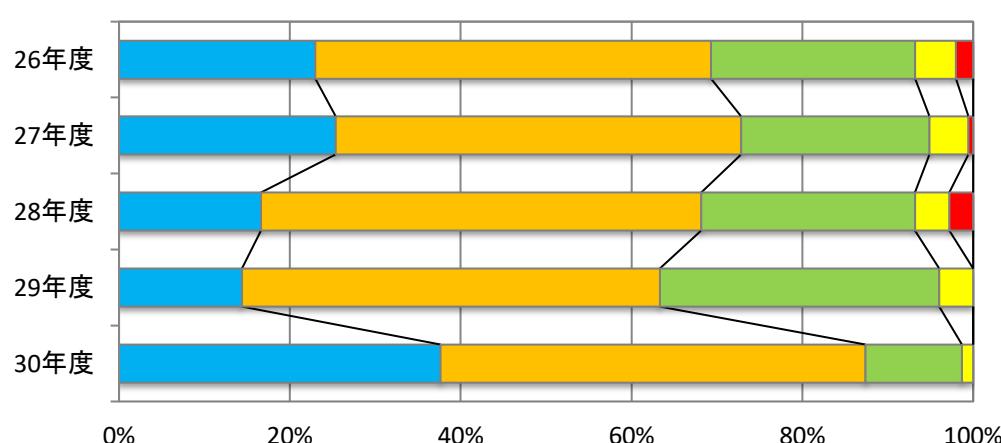
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	26.6	48.9	75.5	—
27年度	27.4	45.6	73.0	△ 2.5
28年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.6
29年度	18.3	49.1	67.4	△ 2.0
30年度	37.9	49.7	87.6	+20.2

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



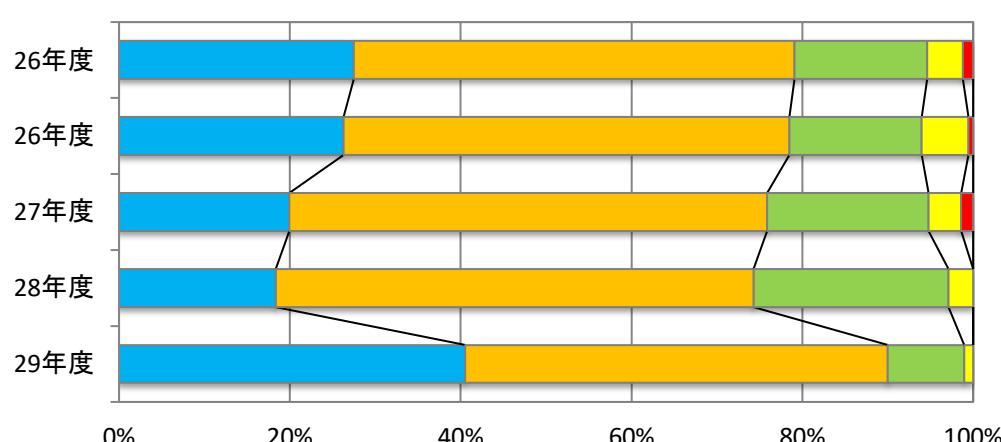
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	23.6	49.3	72.9	—
27年度	25.4	43.5	68.9	△ 4.0
28年度	16.4	51.7	68.1	△ 0.8
29年度	15.0	50.6	65.6	△ 2.5
30年度	36.1	50.3	86.3	+20.7

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	23.0	46.3	69.3	—
27年度	25.4	47.4	72.8	+3.5
28年度	16.6	51.6	68.2	△ 4.6
29年度	14.4	48.9	63.3	△ 4.9
30年度	37.6	49.7	87.4	+24.1

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	27.5	51.6	79.1	—
27年度	26.3	52.2	78.5	△ 0.6
28年度	19.9	55.9	75.8	△ 2.7
29年度	18.3	55.9	74.3	△ 1.5
30年度	40.5	49.5	90.0	+15.7

◆ 年度別 自由記述集計結果

高度実践看護コース

	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
授業に対する肯定的評価	(58.0%)	145	(59.6%)	124	(59.3%)	169	(59.2%)	184	(75.5%)	123
授業に対する要望等	(42.0%)	105	(40.4%)	84	(40.7%)	116	(40.8%)	127	(24.5%)	40
計	(100.0%)	250	(100.0%)	208	(100.0%)	285	(100.0%)	311	(100.0%)	163

高度実践助産コース

	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
授業に対する肯定的評価	(57.4%)	35	(59.8%)	67	(42.1%)	16	(42.0%)	21	(48.6%)	18
授業に対する要望等	(42.6%)	26	(40.2%)	45	(57.9%)	22	(58.0%)	29	(51.4%)	19
計	(100.0%)	61	(100.0%)	112	(100.0%)	38	(100.0%)	50	(100.0%)	37

看護科学コース

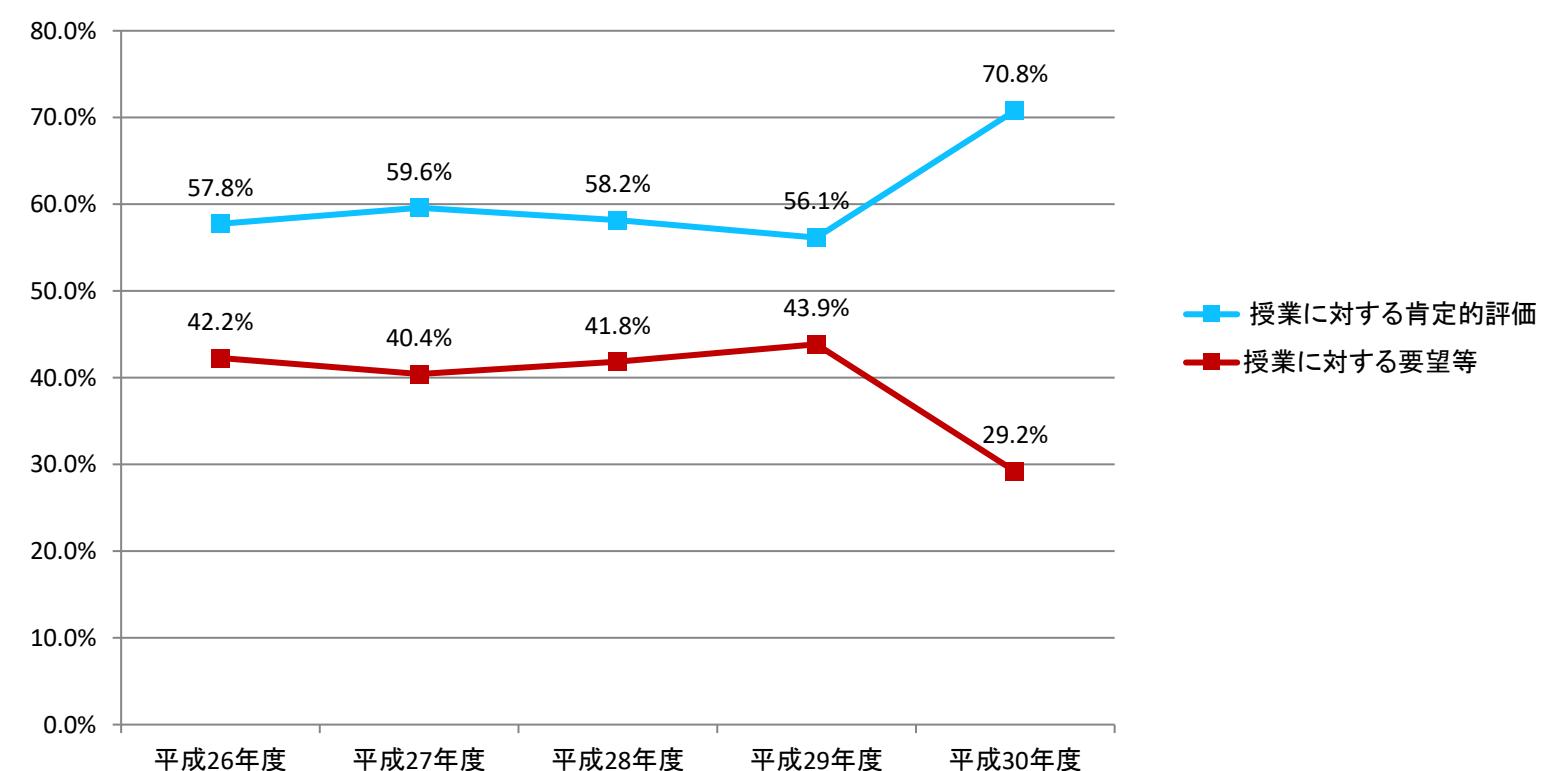
	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
授業に対する肯定的評価	(55.6%)	10	(55.6%)	5	(69.2%)	18	(38.5%)	5	(77.8%)	7
授業に対する要望等	(44.4%)	8	(44.4%)	4	(30.8%)	8	(61.5%)	8	(22.2%)	2
計	(100.0%)	18	(100.0%)	9	(100.0%)	26	(100.0%)	13	(100.0%)	9

3コースの合計

	26年度		27年度		28年度		29年度		30年度	
授業に対する肯定的評価	(57.8%)	190	(59.6%)	196	(58.2%)	203	(56.1%)	210	(70.8%)	148
授業に対する要望等	(42.2%)	139	(40.4%)	133	(41.8%)	146	(43.9%)	164	(29.2%)	61
合計	(100.0%)	329	(100.0%)	329	(100.0%)	349	(100.0%)	374	(100.0%)	209

※ () 内のパーセント表示は、総件数に対する項目比率を表す

自由記述集計結果(合計)



◆ 自由記述の主な内容（平成30年度）

高度実践看護コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	123	実践に沿った内容で、臨床をイメージしやすかった。
		今まで学ぶ機会がなかった分野の貴重な講義であった。
		大学院修了後も自らアンテナを張っていなければならないことを学べた。
		他職種の方の話が聴けて大変よかったです。
授業に対する要望等	40	もう少しエコーの実技時間がほしかった。
		IABPやPCPSは実際に触れながら演習したかった。
		自分の知識不足のため、更に自己学習をしなければと感じた。
計	163	

高度実践助産コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	18	乳房の超音波検査見学は非常に勉強になりました。
		はじめてラットの解剖を見学し、とても興味深かったです。
		一人ひとりの研究のためにとても重要な講義だと感じた。
		韓国の産後ケアについて学べたことはとてもよかったです。
授業に対する要望等	19	助産学生にとって重要な科目だと思うので、コマ数が少なく感じた。
		実習時、待機時間がもったいなかった。
		共通科目で他コースの教室に移動する際、席が確保しづらかった。
計	37	

看護科学コース

	件数	主な内容
授業に対する肯定的評価	7	修士の研究、今後の研究に役立つことを学ぶ。
		実践的視点しか持てていなかったことも、裏付けや理論を含め学ぶ機会をいただいた。
授業に対する要望等	2	量的にやや重い。
計	9	

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース

○全科目数 20科目

○調査対象者数 233人（延人数）

○総回答数 210枚（回答率90.1%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成29年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(24.8)	(54.6)	(17.5)	(2.8)	(0.3)	(100.0)
	52.2	46.9	0.5	0.5	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(9.5)	(57.1)	(30.4)	(3.1)	(0.0)	(100.0)
	27.8	64.1	7.7	0.5	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(13.2)	(42.3)	(36.2)	(8.0)	(0.3)	(100.0)
	29.7	52.6	14.8	2.9	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(44.8)	(38.7)	(15.3)	(1.2)	(0.0)	(100.0)
	58.4	41.1	0.5	0.0	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(17.5)	(45.7)	(31.3)	(5.2)	(0.3)	(100.0)
	40.2	53.1	5.7	1.0	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(14.7)	(46.3)	(31.9)	(7.1)	(0.0)	(100.0)
	37.3	54.1	7.2	1.4	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(14.1)	(42.0)	(39.9)	(4.0)	(0.0)	(100.0)
	39.7	52.2	7.2	1.0	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(17.5)	(55.5)	(24.8)	(2.1)	(0.0)	(100.0)
	43.1	52.6	3.8	0.5	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成29年度	(19.5)	(47.8)	(28.4)	(4.2)	(0.1)
	平成30年度	41.0	52.1	5.9	1.0	0.0
						100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践看護コース

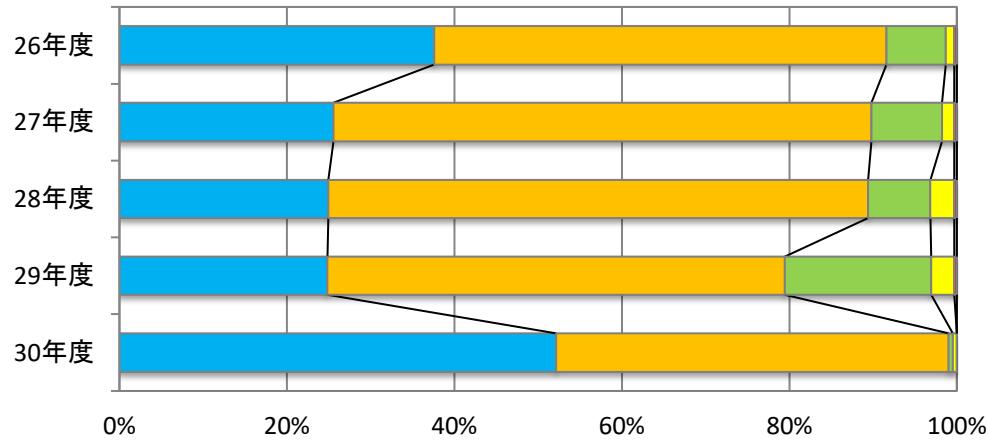
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	20科目	22科目	21科目	22科目	20科目
調査対象者数（延人数）	343人	388人	362人	371人	233人
総回答数（回答率）	322枚 (93.9%)	345枚 (88.9%)	349枚 (96.4%)	326枚 (87.9%)	210枚 (90.1%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

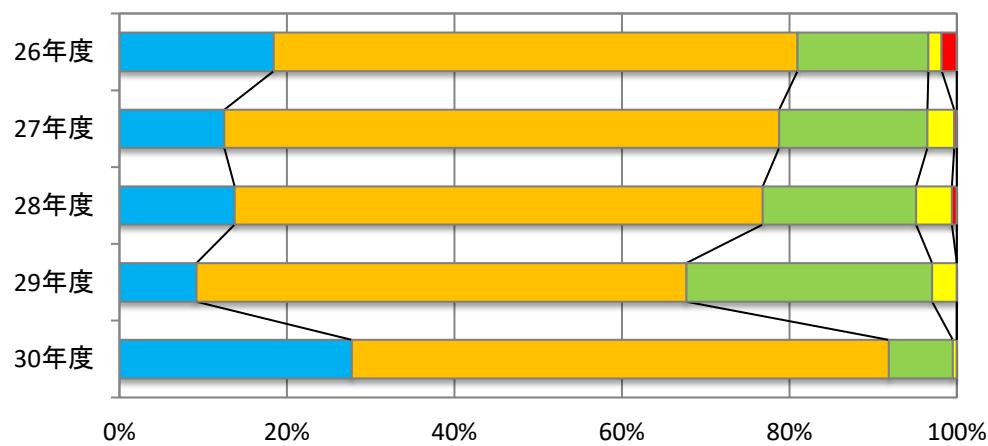
■ 非常にそう思う ■ そう思う ■ どちらともいえない ■ そう思わない ■ 全くそう思わない

Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



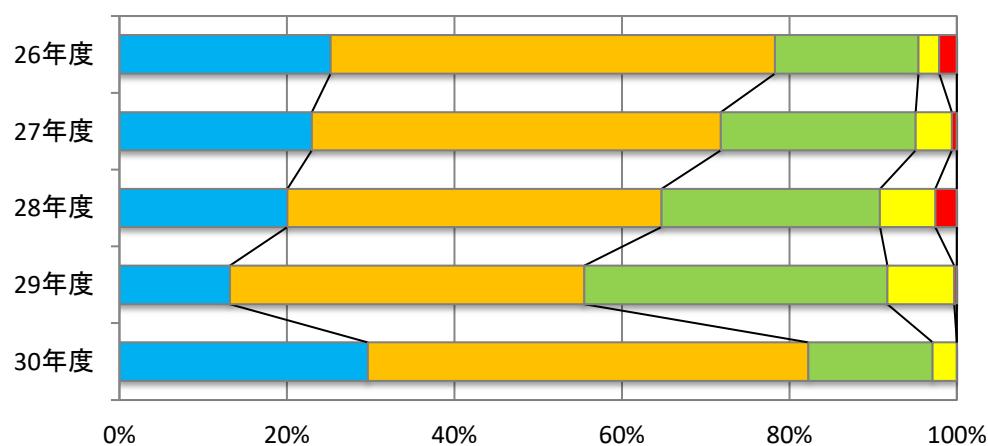
年度	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	37.6	54.0	91.6	—
27年度	25.6	64.2	89.8	△ 1.8
28年度	24.9	64.5	89.4	△ 0.4
29年度	24.8	54.6	79.4	△ 10.0
30年度	52.2	46.9	99.0	+19.6

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



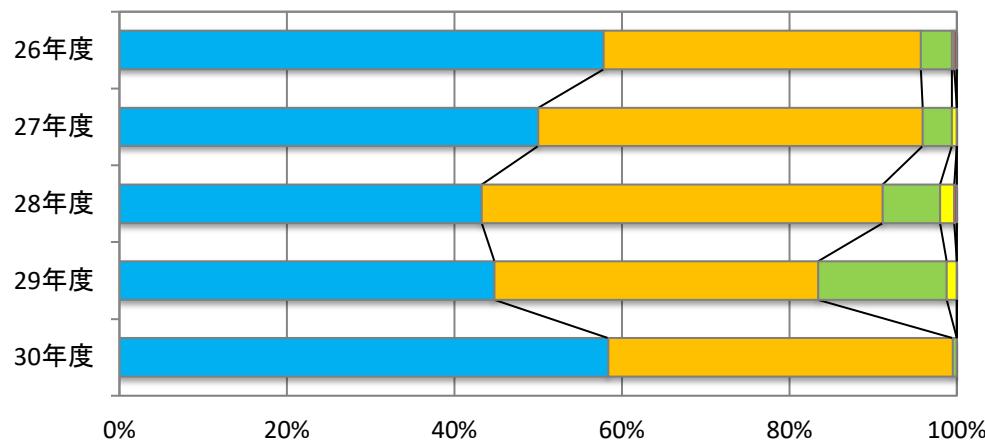
年度	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	18.4	62.6	81.0	—
27年度	12.5	66.3	78.8	△ 2.2
28年度	13.8	63.0	76.8	△ 2.0
29年度	9.5	57.1	66.6	△ 10.2
30年度	27.8	64.1	91.9	+25.3

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



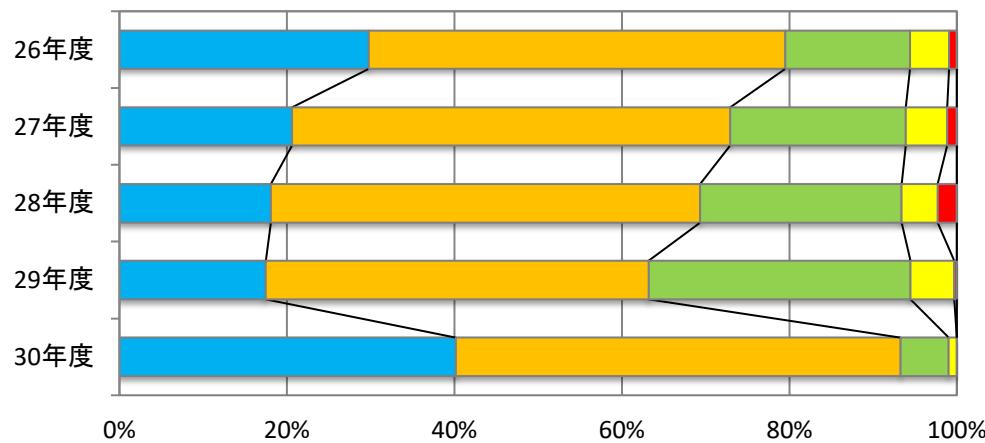
年度	非常にそう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.2	53.1	78.3	—
27年度	23.0	48.8	71.8	△ 6.5
28年度	20.1	44.7	64.8	△ 7.0
29年度	13.2	42.3	55.5	△ 9.2
30年度	29.7	52.6	82.3	+26.8

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



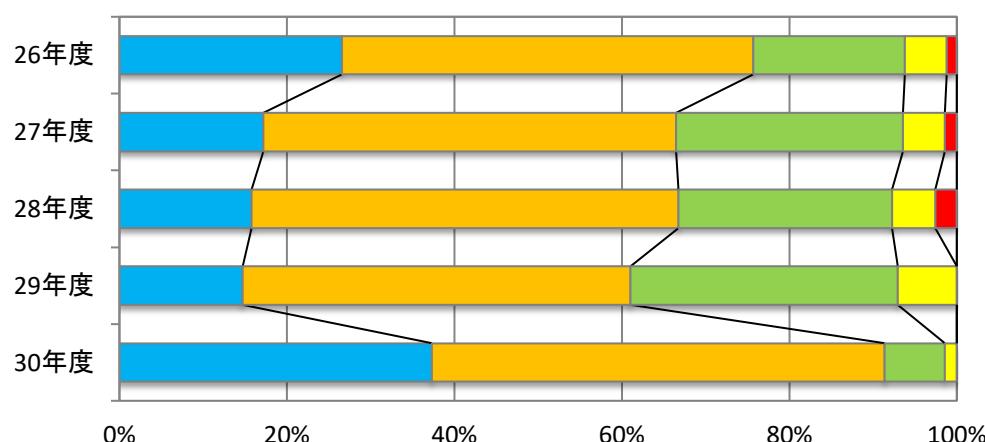
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	57.8	37.9	95.7	—
27年度	50.0	45.9	95.9	+0.2
28年度	43.3	47.9	91.2	△ 4.7
29年度	44.8	38.7	83.4	△ 7.8
30年度	58.4	41.1	99.5	+16.1

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



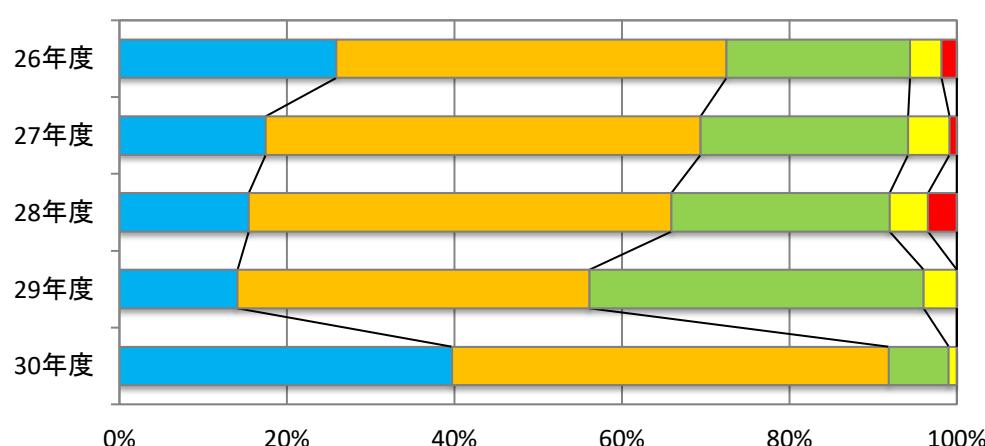
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	29.8	49.7	79.5	—
27年度	20.6	52.3	73.0	△ 6.5
28年度	18.1	51.3	69.4	△ 3.6
29年度	17.5	45.7	63.2	△ 6.2
30年度	40.2	53.1	93.3	+30.1

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



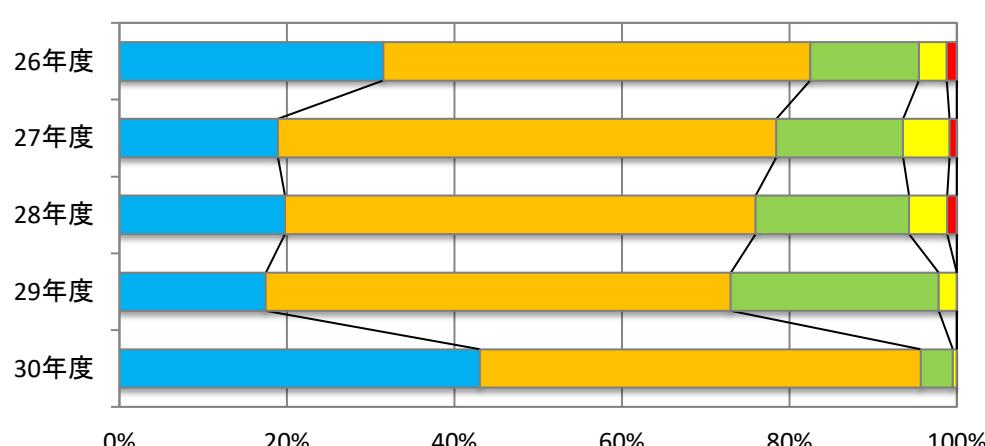
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	26.6	49.1	75.7	—
27年度	17.2	49.3	66.5	△ 9.2
28年度	15.8	51.0	66.8	+0.3
29年度	14.7	46.3	61.0	△ 5.7
30年度	37.3	54.1	91.4	+30.3

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.9	46.6	72.5	—
27年度	17.5	51.9	69.4	△ 3.1
28年度	15.5	50.4	65.9	△ 3.5
29年度	14.1	42.0	56.1	△ 9.8
30年度	39.7	52.2	91.9	+35.7

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	31.5	51.0	82.5	—
27年度	19.0	59.5	78.4	△ 4.1
28年度	19.8	56.2	76.0	△ 2.4
29年度	17.5	55.5	73.0	△ 3.0
30年度	43.1	52.6	95.7	+22.7

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

○全科目数 28科目

○調査対象者数 210人（延人数）

○総回答数 152枚（回答率72.4%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成29年度集計結果】

(%)

質問項目	非常に そう思う 5	そう思う 4	どちらとも 言えない 3	そう 思わない 2	全くそう 思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(19.0)	(60.6)	(18.1)	(2.3)	(0.0)	(100.0)
	32.2	49.3	17.8	0.7	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(12.6)	(64.2)	(20.0)	(3.3)	(0.0)	(100.0)
	29.6	50.0	18.4	2.0	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(17.1)	(48.6)	(27.8)	(5.6)	(0.9)	(100.0)
	29.8	43.0	21.2	6.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(24.5)	(61.6)	(12.0)	(1.9)	(0.0)	(100.0)
	36.8	43.4	17.8	2.0	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(19.9)	(54.6)	(20.4)	(5.1)	(0.0)	(100.0)
	32.2	46.7	19.1	2.0	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(15.8)	(57.2)	(23.7)	(3.3)	(0.0)	(100.0)
	30.9	47.4	19.7	2.0	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(15.3)	(59.3)	(22.2)	(3.2)	(0.0)	(100.0)
	33.6	48.0	16.4	2.0	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(19.9)	(56.5)	(19.9)	(3.7)	(0.0)	(100.0)
	31.6	46.7	19.7	2.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成29年度	(18.0)	(57.8)	(20.5)	(3.5)	(0.1)
	平成30年度	32.1	46.8	18.8	2.3	0.0
						100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
高度実践助産コース

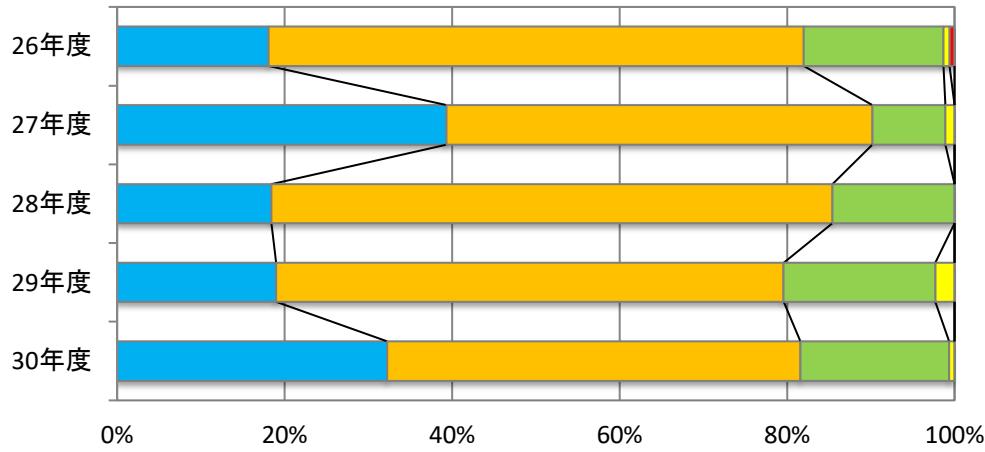
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	31科目	33科目	31科目	30科目	28科目
調査対象者数（延人数）	205人	198人	221人	242人	210人
総回答数（回答率）	144枚 (70.2%)	183枚 (92.4%)	185枚 (83.7%)	217枚 (89.7%)	152枚(72.4%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

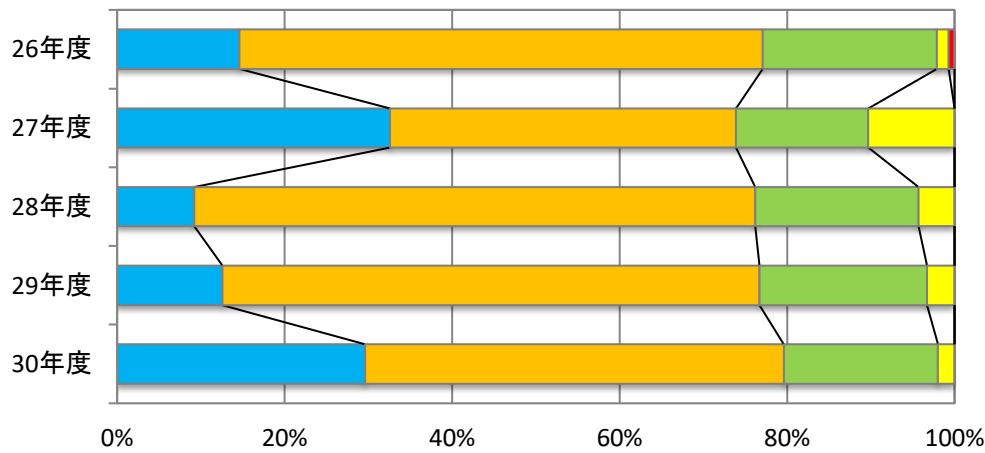


Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



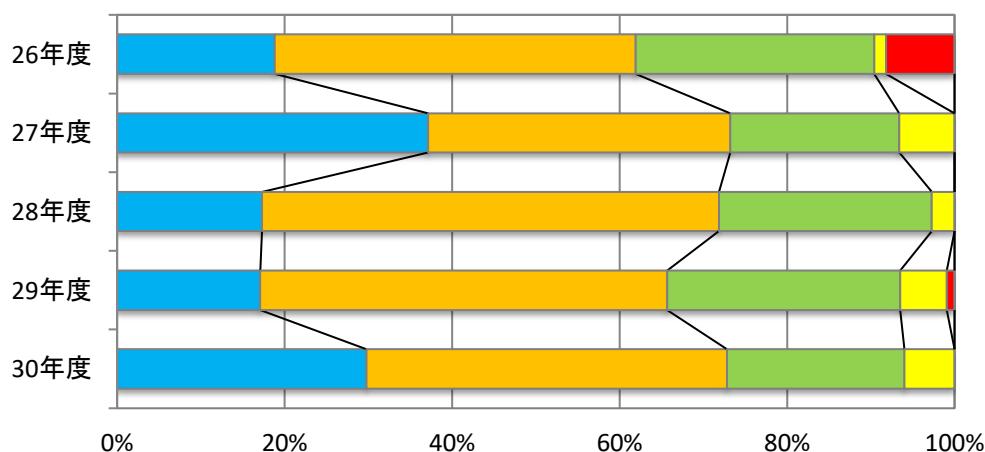
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	18.1	63.9	82.0	—
27年度	39.3	50.8	90.1	+8.1
28年度	18.4	67.0	85.4	△ 4.7
29年度	19.0	60.6	79.6	△ 5.8
30年度	32.2	49.3	81.5	+1.9

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



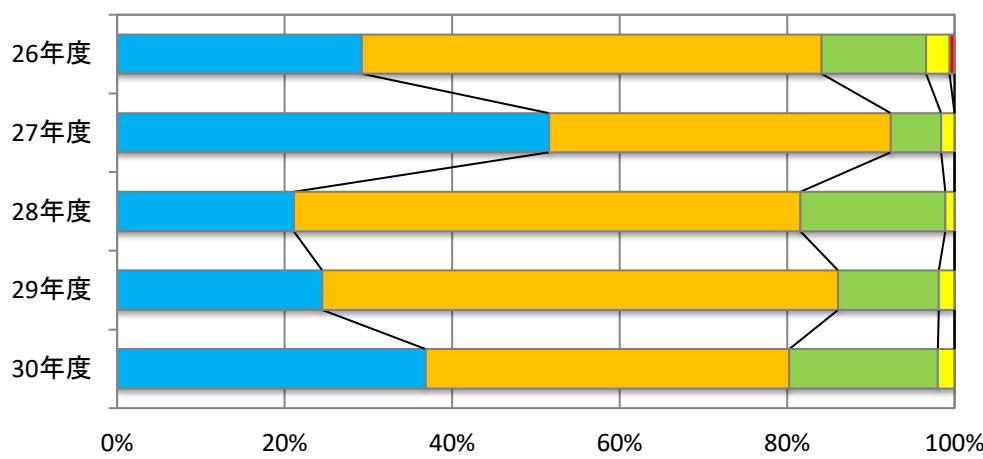
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	14.6	62.5	77.1	—
27年度	32.6	41.3	73.9	△ 3.2
28年度	9.2	67.0	76.2	+2.3
29年度	12.6	64.2	76.8	+0.6
30年度	29.6	50.0	79.6	+2.8

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



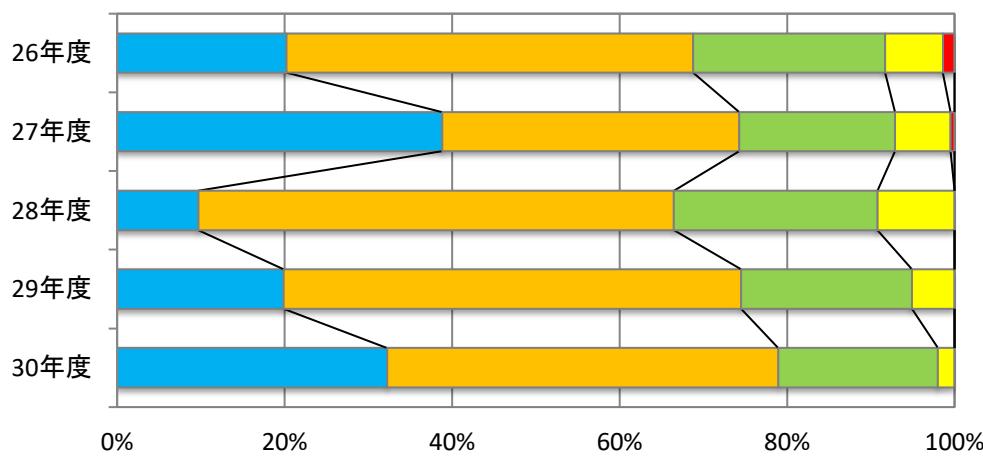
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	18.8	43.1	61.9	—
27年度	37.2	36.1	73.3	+11.4
28年度	17.3	54.6	71.9	△ 1.4
29年度	17.1	48.6	65.7	△ 6.2
30年度	29.8	43.0	72.8	+7.1

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



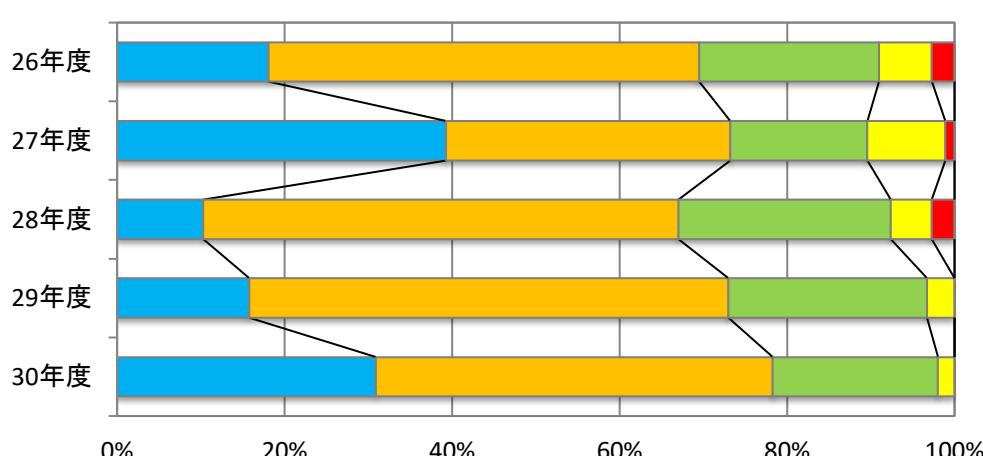
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	29.2	54.9	84.1	—
27年度	51.6	40.8	92.4	+8.3
28年度	21.1	60.5	81.6	△ 10.8
29年度	24.5	61.6	86.1	+4.5
30年度	36.8	43.4	80.2	△ 5.9

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



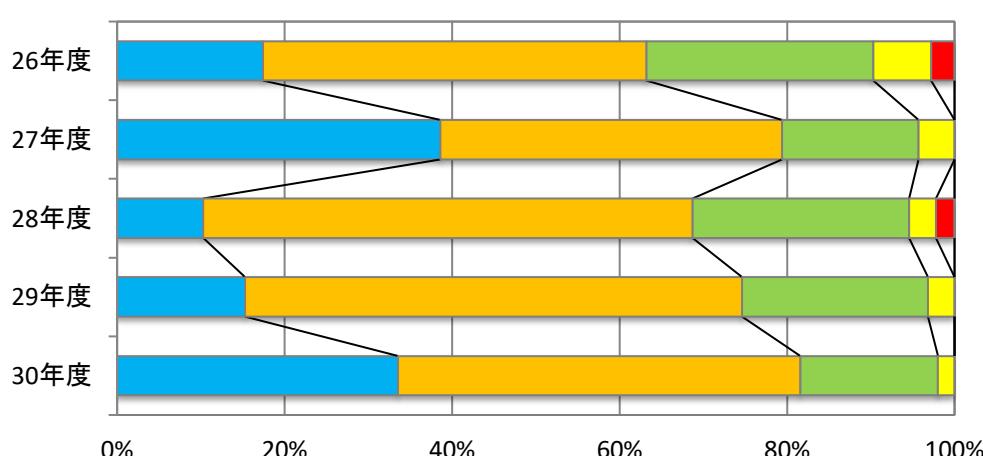
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	20.2	48.6	68.8	—
27年度	38.8	35.5	74.3	+5.5
28年度	9.7	56.8	66.5	△ 7.8
29年度	19.9	54.6	74.5	+8.0
30年度	32.2	46.7	78.9	+4.4

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



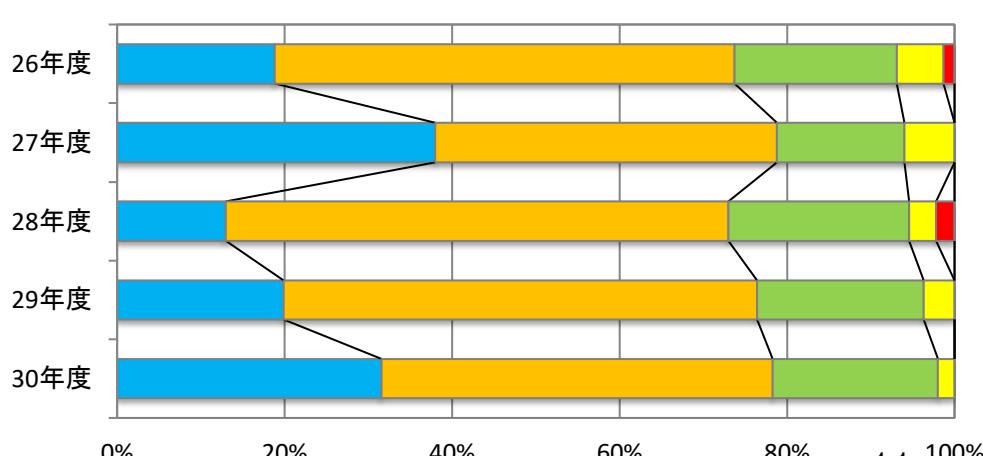
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	18.1	51.4	69.5	—
27年度	39.3	33.9	73.2	+3.7
28年度	10.3	56.8	67.1	△ 6.1
29年度	15.8	57.2	73.0	+5.9
30年度	30.9	47.4	78.3	+5.3

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	17.4	45.8	63.2	—
27年度	38.6	40.8	79.4	+16.2
28年度	10.3	58.4	68.7	△ 10.7
29年度	15.3	59.3	74.6	+5.9
30年度	33.6	48.0	81.6	+7.0

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	18.8	54.9	73.7	—
27年度	38.0	40.8	78.8	+5.1
28年度	13.0	60.0	73.0	△ 5.8
29年度	19.9	56.5	76.4	+3.4
30年度	31.6	46.7	78.3	+1.9

平成30年度 授業評価集計結果

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
看護科学コース

○全科目数 16科目

○調査対象者数 19人（延人数）

○総回答数

19枚（回答率100.0%）

◆ 質問項目別集計結果 【上段（）は平成29年度集計結果】

(%)

質問項目	非常にそう思う 5	そう思う 4	どちらとも言えない 3	そう思わない 2	全くそう思わない 1	計
1. この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。	(21.4)	(71.4)	(0.0)	(7.1)	(0.0)	(100.0)
	42.1	57.9	0.0	0.0	0.0	100.0
2. 授業内容をよく理解できたと思いますか。	(0.0)	(85.7)	(7.1)	(7.1)	(0.0)	(100.0)
	31.6	52.6	15.8	0.0	0.0	100.0
3. 授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。	(21.4)	(42.9)	(14.3)	(21.4)	(0.0)	(100.0)
	42.1	47.4	10.5	0.0	0.0	100.0
4. この授業内容は将来役に立つと思いますか。	(42.9)	(42.9)	(14.3)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	84.2	15.8	0.0	0.0	0.0	100.0
5. この授業は期待していた通りの内容でしたか。	(14.3)	(42.9)	(42.9)	(0.0)	(0.0)	(100.0)
	57.9	36.8	5.3	0.0	0.0	100.0
6. この授業の進め方は適切だったと思いますか。	(7.1)	(50.0)	(21.4)	(21.4)	(0.0)	(100.0)
	63.2	31.6	5.3	0.0	0.0	100.0
7. この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。	(7.1)	(50.0)	(28.6)	(14.3)	(0.0)	(100.0)
	47.4	36.8	15.8	0.0	0.0	100.0
8. この授業は総合的に満足できたと思いますか。	(14.3)	(57.1)	(21.4)	(7.1)	(0.0)	(100.0)
	68.4	26.3	5.3	0.0	0.0	100.0
全質問項目の平均	平成29年度	(16.1)	(55.4)	(18.8)	(9.8)	(0.0)
	平成30年度	54.6	38.2	7.2	0.0	100.0

授業評価集計結果 年度別比較

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 修士課程
看護科学コース

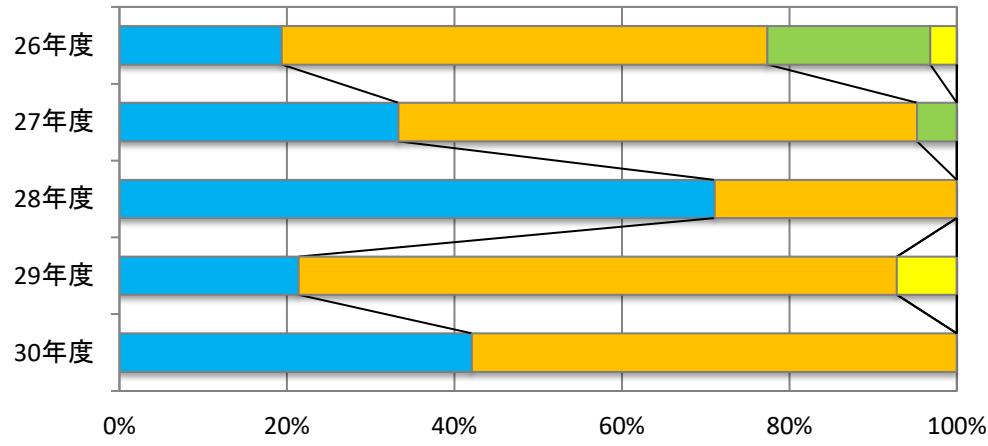
◆ 年度別 授業評価集計結果

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
全科目数	12科目	12科目	14科目	7科目	16科目
調査対象者数（延人数）	36人	22人	38人	19人	19人
総回答数（回答率）	31枚 (86.1%)	21枚 (95.5%)	38枚 (100.0%)	14枚 (73.7%)	19枚 (100.0%)

◆ 年度別・質問項目別 集計結果

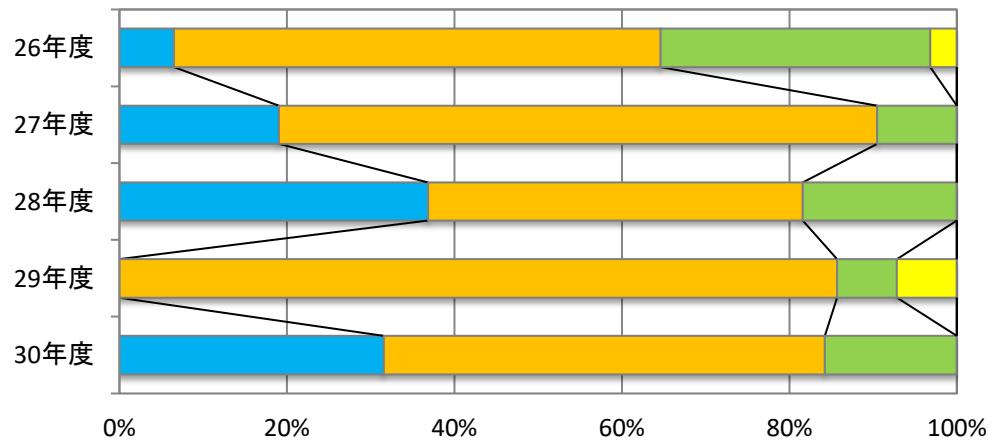


Q1.この授業に意欲的に取り組めたと思いますか。



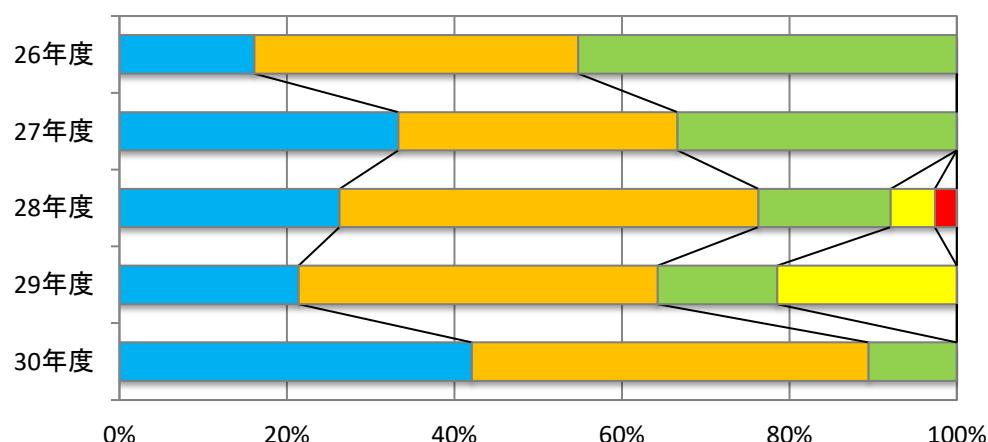
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	58.0	77.4	—
27年度	33.3	61.9	95.2	+17.8
28年度	71.1	28.9	100.0	+4.8
29年度	21.4	71.4	92.9	△ 7.1
30年度	42.1	57.9	100.0	+7.1

Q2.授業内容をよく理解できたと思いますか。



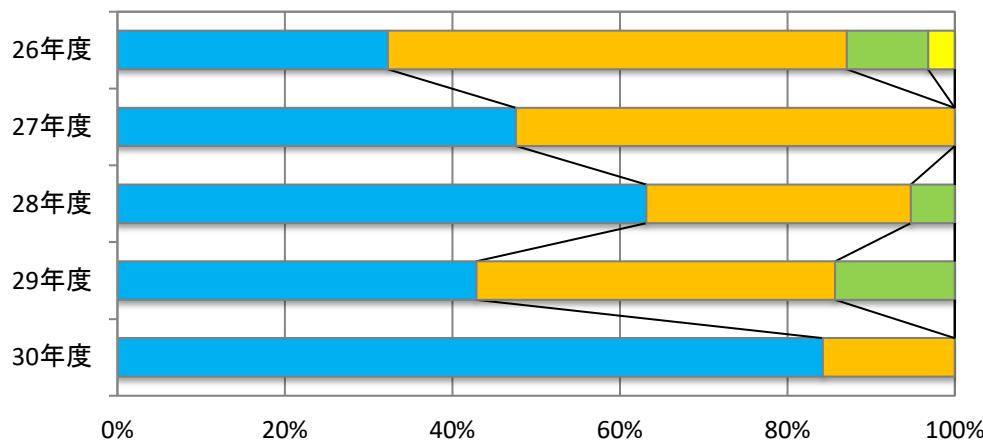
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	6.5	58.1	64.6	—
27年度	19.0	71.4	90.5	+25.9
28年度	36.8	44.7	81.6	△ 8.9
29年度	0.0	85.7	85.7	+4.1
30年度	31.6	52.6	84.2	△ 1.5

Q3.授業時間以外に、よく自己学習をしたと思いますか。



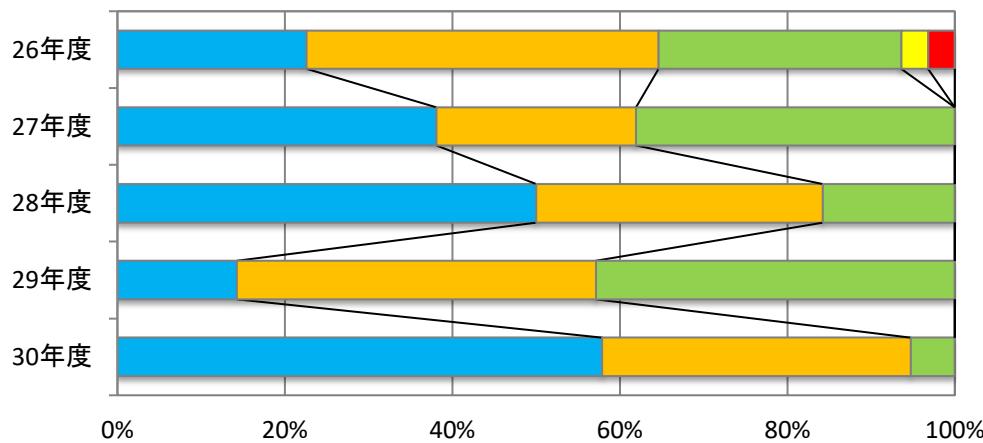
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	16.1	38.7	54.8	—
27年度	33.3	33.3	66.7	+11.9
28年度	26.3	50.0	76.3	+9.6
29年度	21.4	42.9	64.3	△ 12.0
30年度	42.1	47.4	89.5	+25.2

Q4.この授業内容は将来役に立つと思いますか。



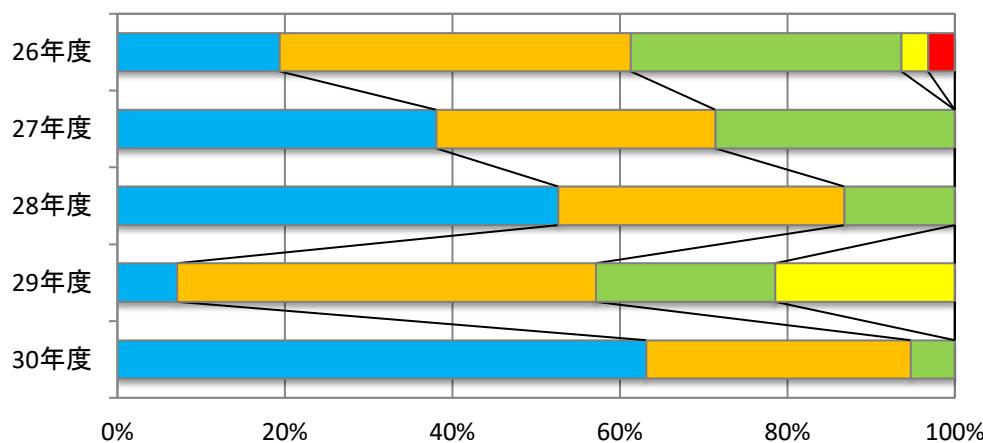
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	32.3	54.8	87.1	—
27年度	47.6	52.4	100.0	+12.9
28年度	63.2	31.6	94.7	△ 5.3
29年度	42.9	42.9	85.7	△ 9.0
30年度	84.2	15.8	100.0	+14.3

Q5.この授業は期待していた通りの内容でしたか。



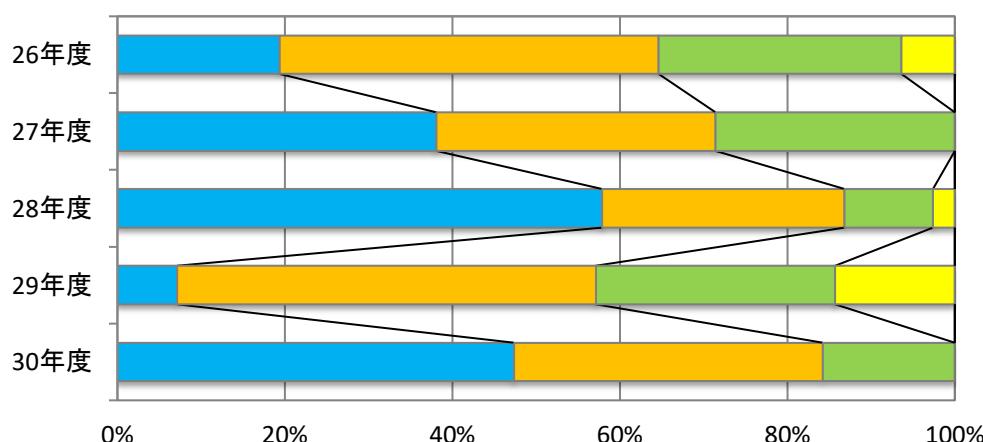
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	22.6	42.0	64.6	—
27年度	38.1	23.8	61.9	△ 2.7
28年度	50.0	34.2	84.2	+22.3
29年度	14.3	42.9	57.1	△ 27.1
30年度	57.9	36.8	94.7	+37.6

Q6.この授業の進め方は適切だったと思いますか。



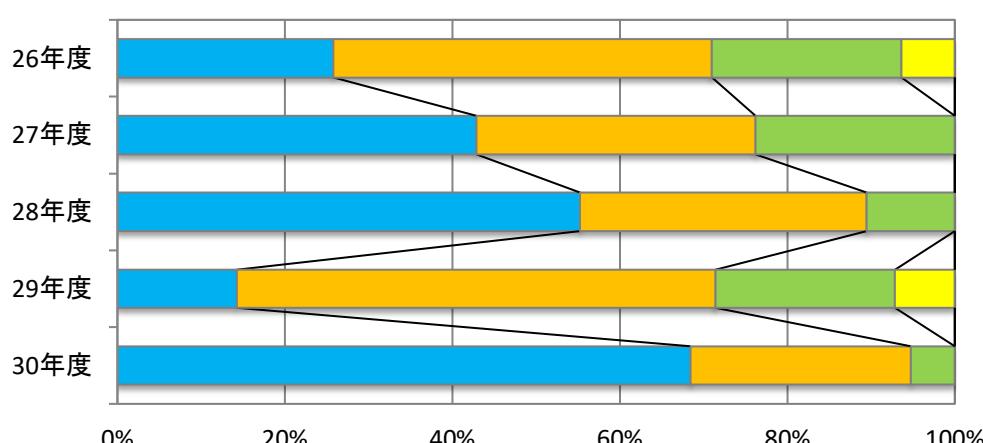
	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	41.9	61.3	—
27年度	38.1	33.3	71.4	+10.1
28年度	52.6	34.2	86.8	+15.4
29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7
30年度	63.2	31.6	94.7	+37.6

Q7.この授業の教材・教具等は適切だったと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	19.4	45.2	64.6	—
27年度	38.1	33.3	71.4	+6.8
28年度	57.9	28.9	86.8	+15.4
29年度	7.1	50.0	57.1	△ 29.7
30年度	47.4	36.8	84.2	+27.1

Q8.この授業は総合的に満足できたと思いますか。



	非常に そう思う	そう思う	計	対前年度
26年度	25.8	45.2	71.0	—
27年度	42.9	33.3	76.2	+5.2
28年度	55.3	34.2	89.5	+13.3
29年度	14.3	57.1	71.4	△ 18.0
30年度	68.4	26.3	94.7	+23.3